

白岡市
市民意識調査結果報告書

令和8年3月

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
II 回答結果	2
1. あなた御自身のことについて.....	2
2. 住みやすさと定住意向について.....	4
3. 医療・福祉について.....	16
4. 防災・防犯について.....	32
5. 子育て・教育について.....	36
6. 日常生活について.....	42
7. 白岡市について	59
8. 市民との協働のまちづくりについて.....	83
9. 市の取組に対する満足度・重要度について.....	93
10. 自由意見	95

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は市民の現在の生活環境や将来のまちづくりへの考えなどを伺い、「第6次白岡市総合振興計画後期基本計画」を策定するための基礎資料として活用するために実施しました。

2. 調査の方法

- ①調査対象 市内在住の16歳以上の市民1,500人
(令和7年8月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出)
- ②調査方法 郵送による配布・回収及びインターネットによる回答を併用
- ③調査期間 令和7年9月14日～令和7年9月29日

3. 回収結果

- ①調査票配布数 1,500票
- ②有効回収数 677票(紙回答349票、Web回答328票)
- ③有効回収率 45.1%(紙回答23.3%、Web回答21.9%)

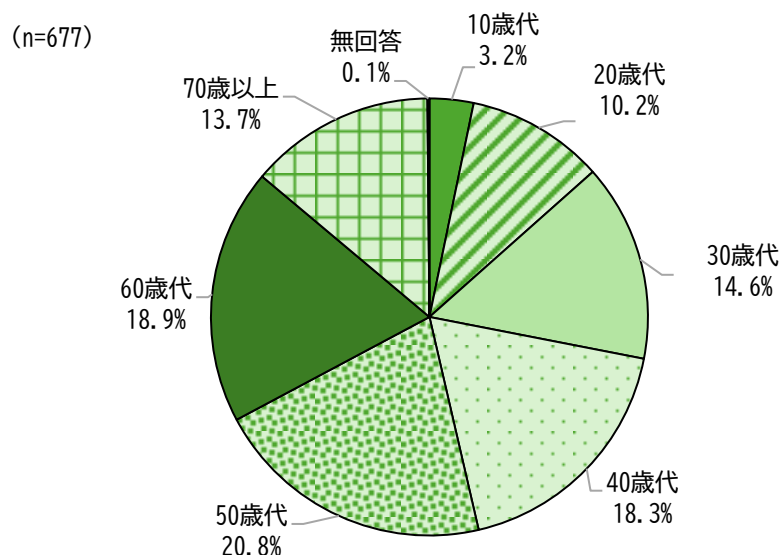
4. 報告書の見方

- ①図表中の「n」(=number)は、設問に対する回答者数を表します。
- ②集計比率は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。
- ③複数回答形式の設問については、設問に対する回答者数を母数として比率(%)を算出しているため、合計が100%を超えることがあります。

II 回答結果

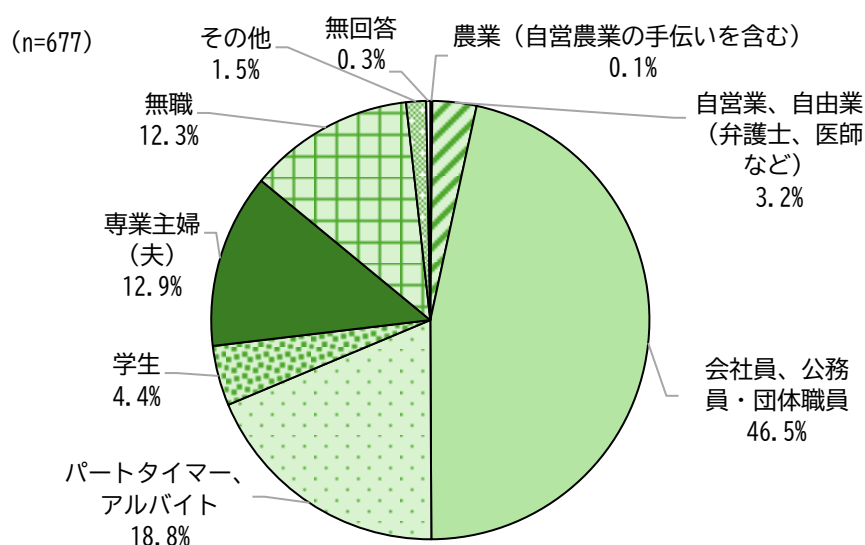
1. あなた御自身のことについて

問1 あなたの年齢は次のうちどれですか（1つに○）。



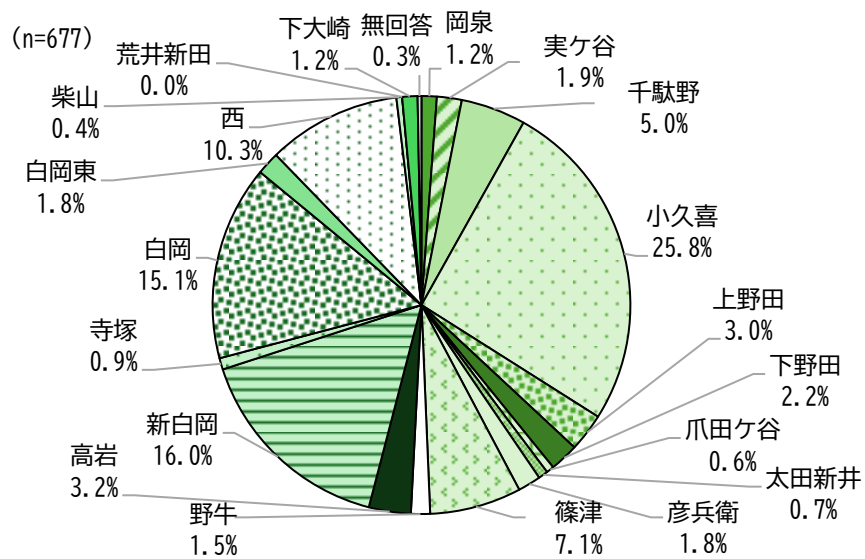
回答者の年齢は、「50歳代」以上（53.4%）が半数を超えており、「30歳代」と「40歳代」の合計が約3割、「10歳代」と「20歳代」の合計が約1割となっている。

問2 あなたの職業は次のうちどれですか【兼業の方は主な職業を選んでください】（1つに○）。



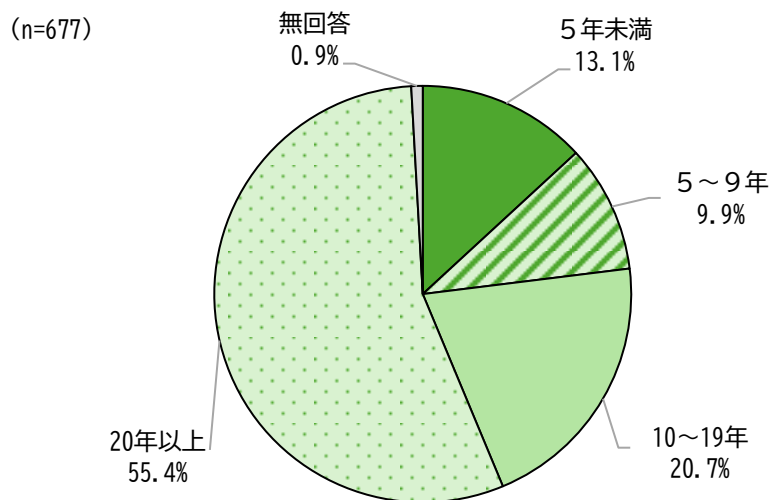
回答者の職業は、「会社員、公務員・団体職員」（46.5%）が半数近くを占めており、次いで、「パートタイマー、アルバイト」（18.8%）、「専業主婦（夫）」（12.9%）、「無職」（12.3%）が多くなっている。

問3 あなたのお住まいの地区はどこですか（1つに○）。



回答者の居住地区は、「小久喜」（25.8%）が最も多く、次いで、「新白岡」（16.0%）、「白岡」（15.1%）となっている。

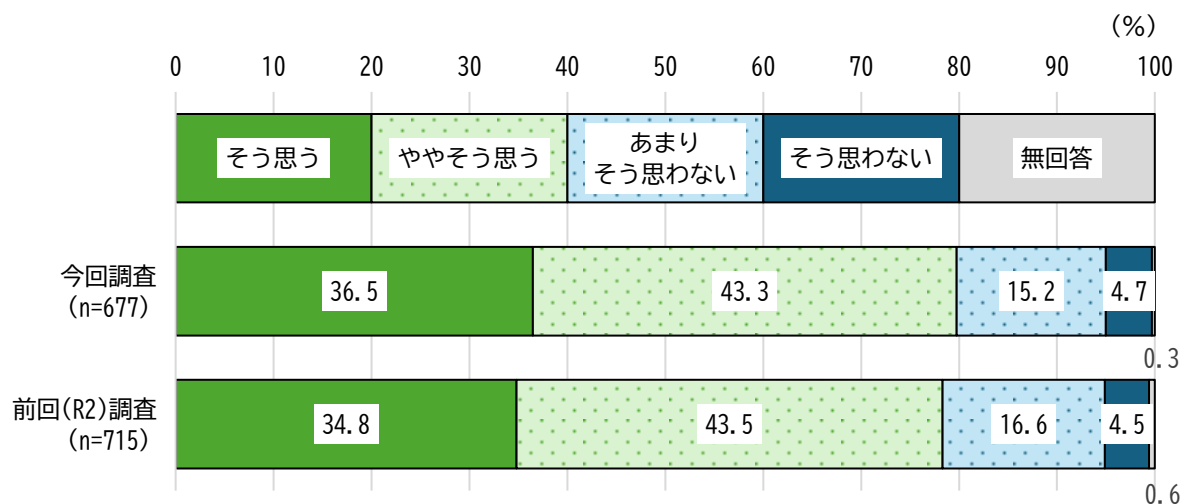
問4 あなたは、白岡市に住んで何年になりますか（1つに○）。



回答者の居住年数は、「20年以上」（55.4%）が最も多く、半数を超えており、「10～19年」（20.7%）、「5年未満」（13.1%）、「5～9年」（9.9%）の順となっている。

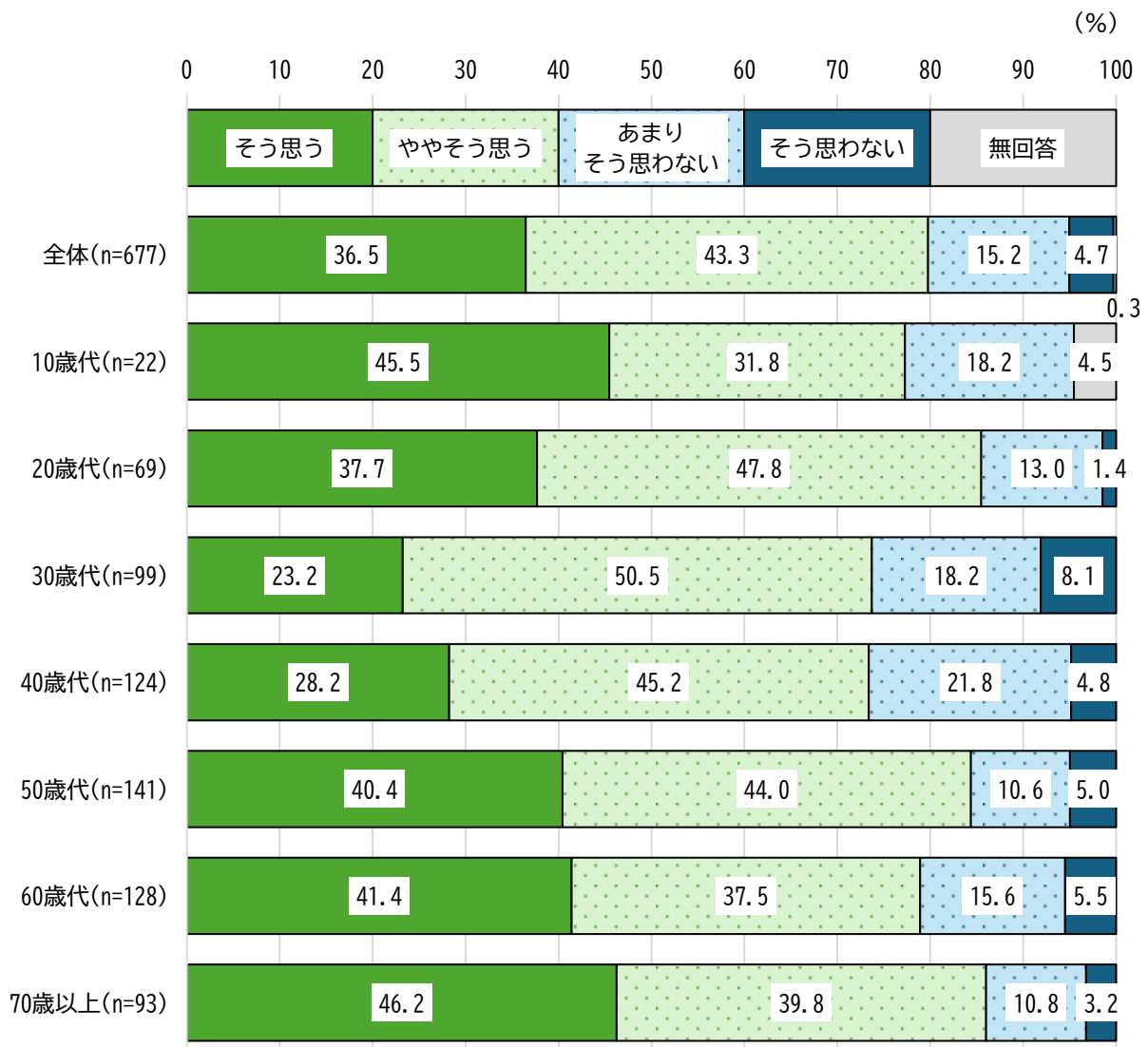
2. 住みやすさと定住意向について

問5 あなたは白岡市に対して「自分のまち」としての愛着を感じていますか（1つに○）。
《全体》



白岡市に対する愛着について、愛着を感じている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は79.8%で、前回調査（78.3%）と比べ、同程度となっている。

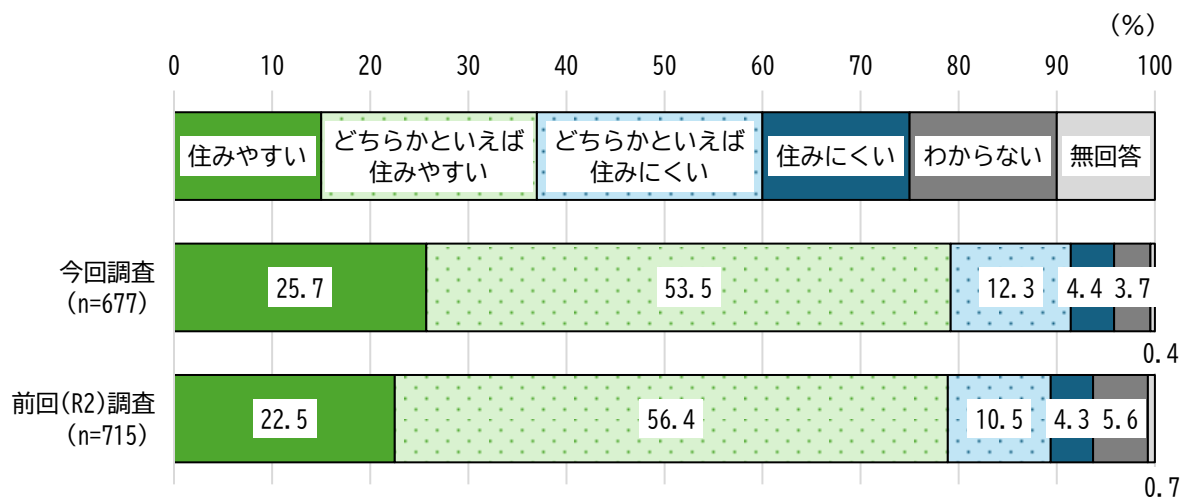
《年代別》



(注) 0.0%は非表示とする。

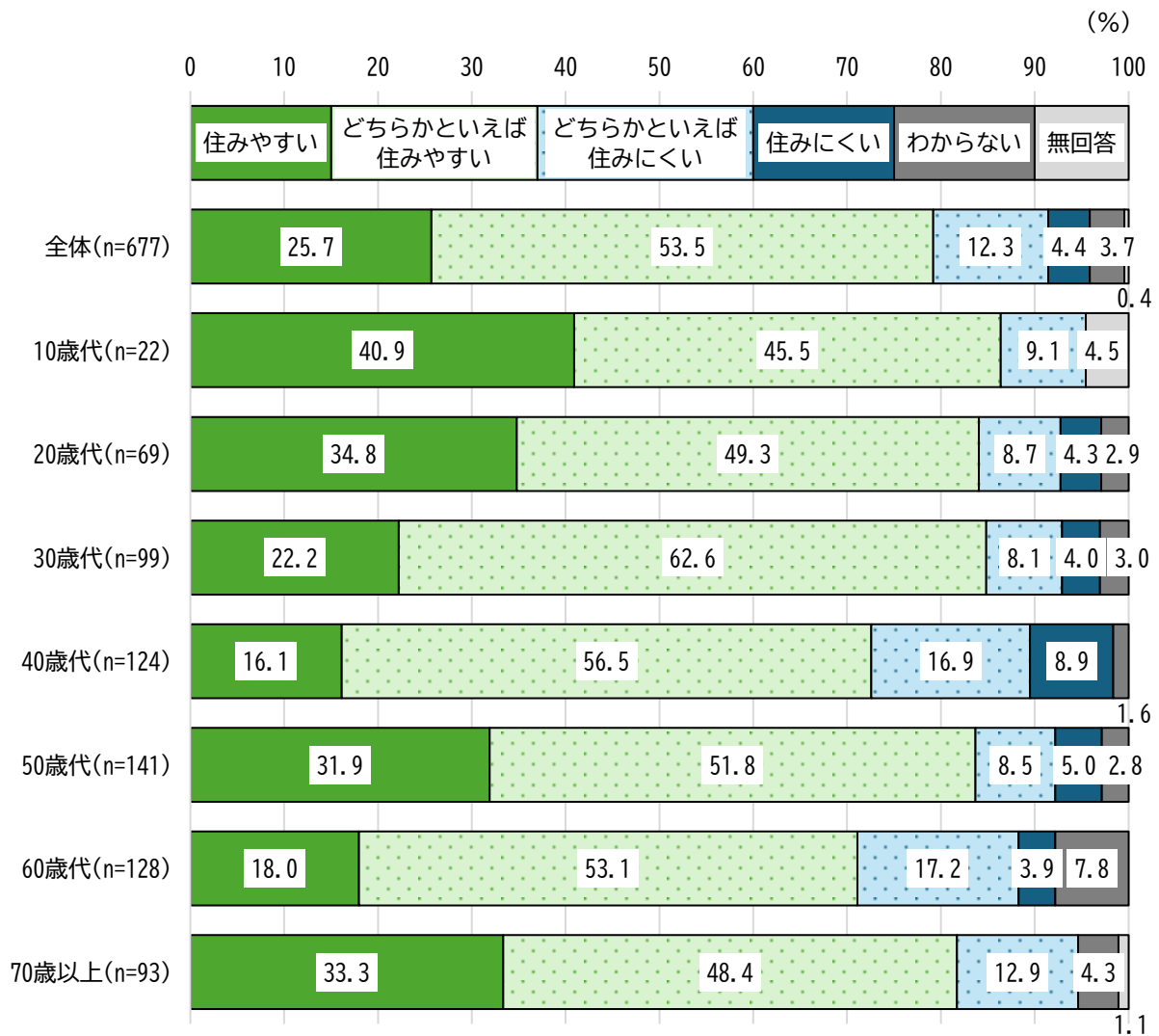
年代別にみると、全ての年代において愛着を感じている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は7割を超えている。特に、20歳代、50歳代、70歳以上では、愛着を感じている割合が8割を超え、他の年代と比べ多くなっている。

問6 あなたは、白岡市の住みやすさについて、どのようにお考えですか（1つに○）。
《全体》



白岡市の住みやすさについて、住みやすい（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）と回答した市民の割合は79.2%であり、前回調査（78.9%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》

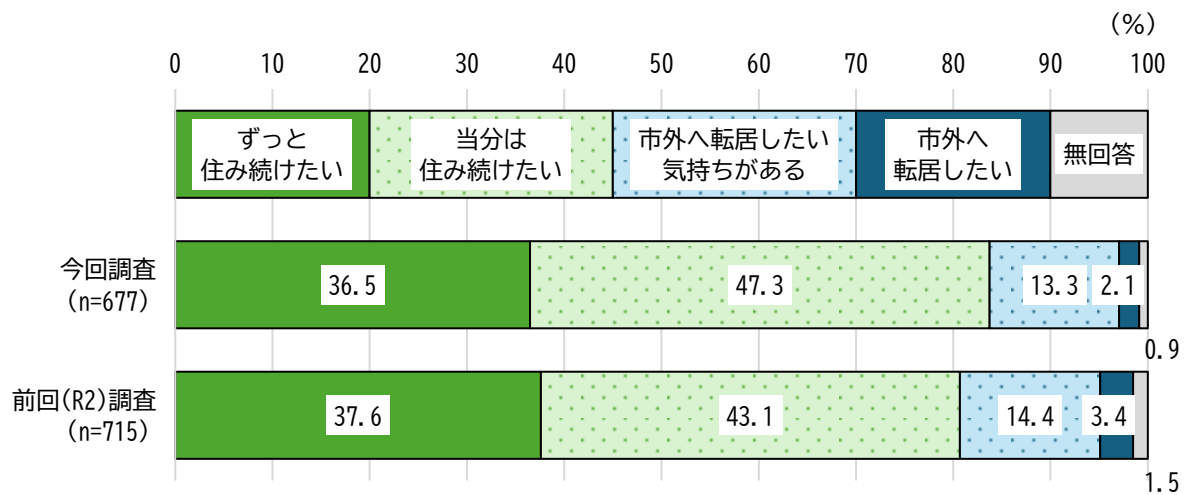


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、住みやすい（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）と回答した市民の割合は、40歳代と60歳代を除いて8割を超えている。

問7 あなたは、今後も白岡市に住み続けたいですか（1つに○）。

《全体》

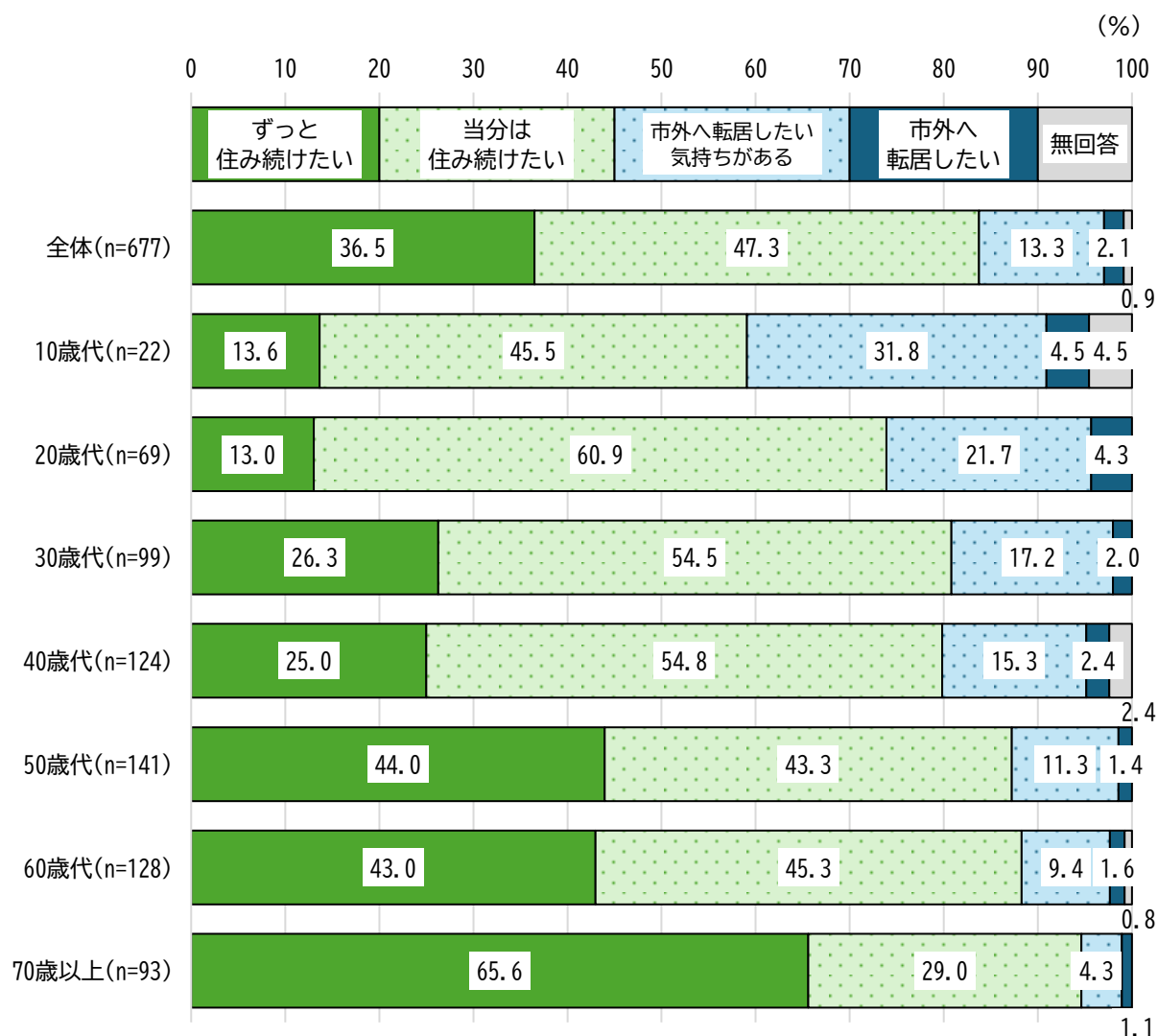


(注) 前回調査の選択肢は「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」、「移転したい気持ちがある」、「移転したい」のほか、「市内の他のところへ移りたい」があったが、最後の選択肢は「市外へ転居したい気持ちがある」に統合して表記している。

定住意向（「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計）のある市民の割合は83.8%となっている。一方、転居意向（「市外へ転居したい気持ちがある」と「市外へ転居したい」の合計）のある市民の割合は15.4%となっている。

前回調査とは選択肢が異なるため、参考となるが、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

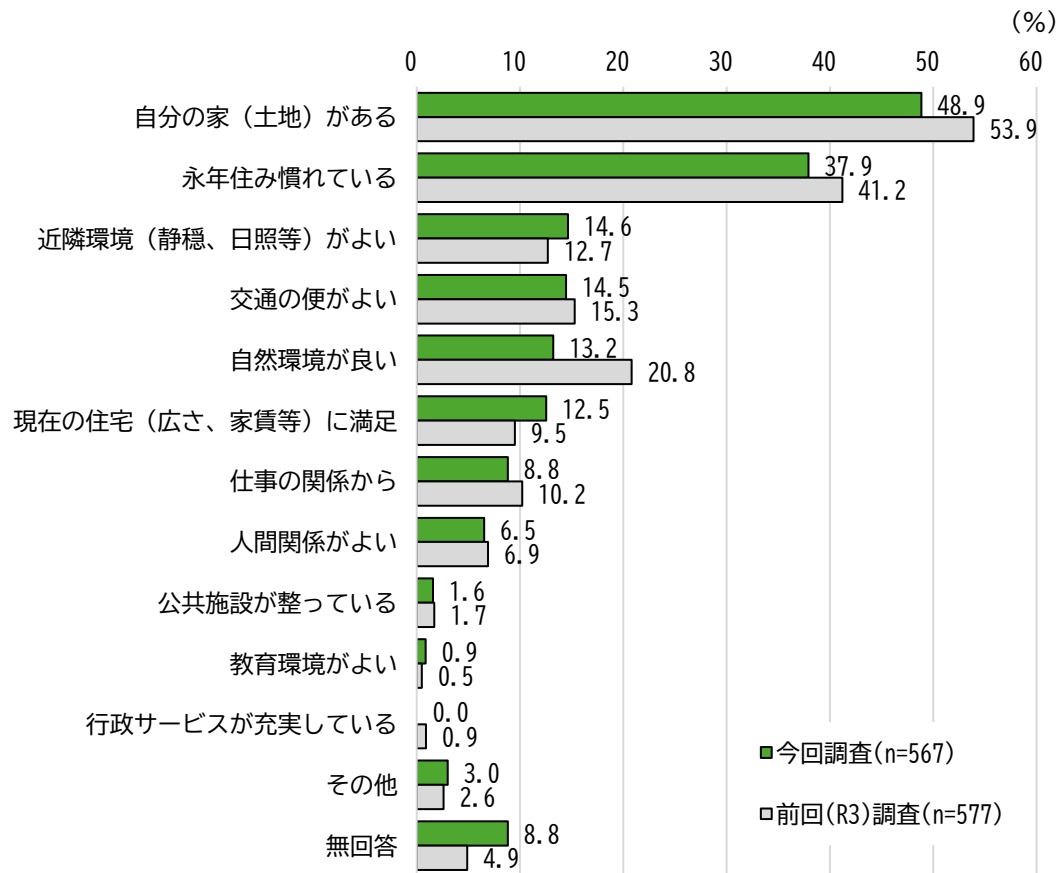


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、年代が上がるほど、定住意向（「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」の合計）のある市民が多くなる傾向がみられ、一方、概ね若い年代ほど、転居意向（「市外へ転居したい気持ちがある」と「市外へ転居したい」の合計）のある市民が多い傾向がみられる。

問8-1 【問7で「1. ずっと住みたい」または「2. 当分は住みたい」を選択した方】その主な理由は、何ですか（2つまでに○）。

《全体》



問7で定住意向（「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」の合計）があると回答した理由については、「自分の家（土地）がある」（48.9%）が最も多く、次いで「永年住み慣れている」（37.9%）となっている。このほか、近隣環境や交通利便性、自然環境、住宅の良さなどが上位に挙げられている。

前回調査と比べ、上位2項目をはじめとした上位項目の割合が減少する傾向がみられる。

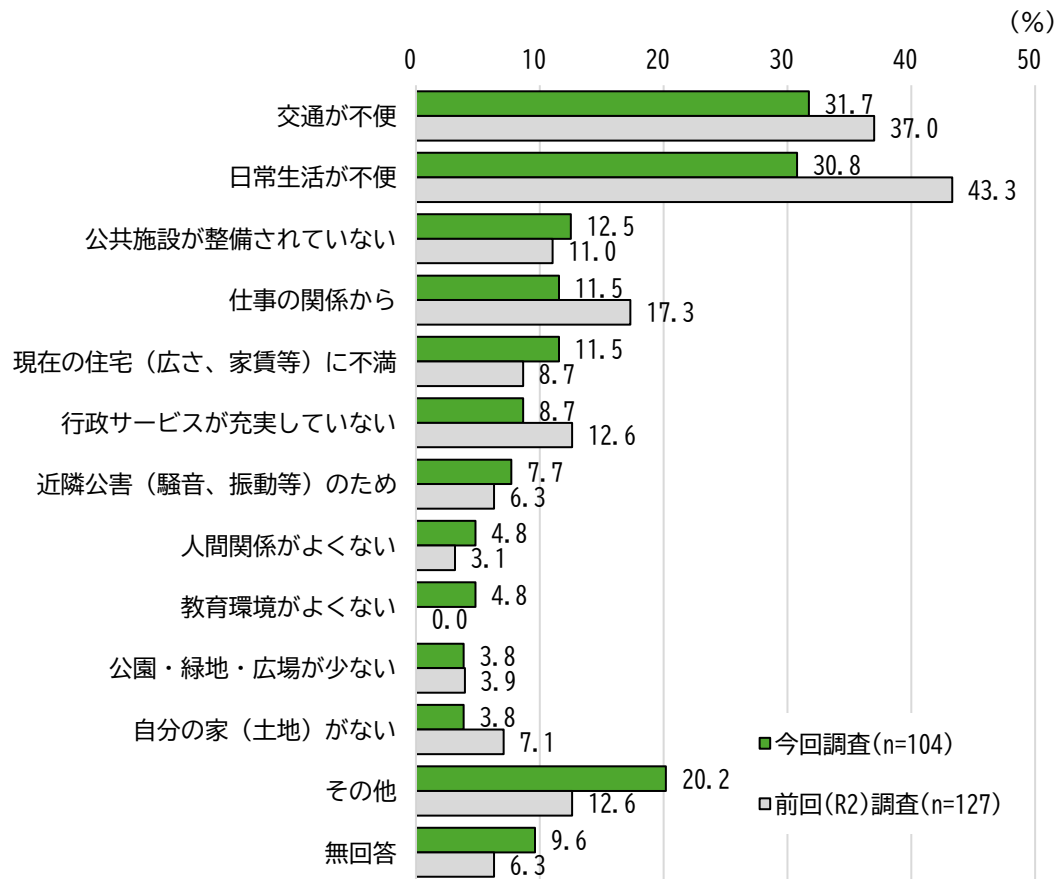
《年代別》

	自分の家（土地）がある	永年住み慣れている	近隣環境（静穏、日照等）がよい	交通の便がよい	自然環境が良い	現在の住宅（広さ、家賃等）に満足	仕事の関係から	人間関係がよい	公共施設が整っている	教育環境がよい	行政サービスが充実している	その他	無回答
全体(n=567)	48.9	37.9	14.6	14.5	13.2	12.5	8.8	6.5	1.6	0.9	0.0	3.0	8.8
10歳代(n=13)	23.1	30.8	15.4	38.5	15.4	23.1	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
20歳代(n=51)	15.7	39.2	19.6	19.6	15.7	11.8	11.8	9.8	2.0	2.0	0.0	3.9	9.8
30歳代(n=80)	42.5	23.8	21.3	17.5	7.5	17.5	11.3	3.8	3.8	2.5	0.0	2.5	13.8
40歳代(n=99)	50.5	26.3	9.1	12.1	8.1	14.1	11.1	6.1	0.0	1.0	0.0	2.0	18.2
50歳代(n=123)	46.3	40.7	17.1	14.6	14.6	8.9	12.2	6.5	2.4	0.8	0.0	4.1	7.3
60歳代(n=113)	62.8	46.9	11.5	11.5	13.3	11.5	5.3	6.2	1.8	0.0	0.0	2.7	1.8
70歳以上(n=88)	61.4	48.9	12.5	11.4	20.5	11.4	3.4	6.8	0.0	0.0	0.0	3.4	4.5

年代別にみると、定住意向があると回答した理由について、10歳代では「交通の便がよい」、20歳代では「永年住み慣れている」、30歳代以上は「自分の家（土地）がある」がそれぞれ最も多くなっている。

問8-2 【問7で「3. 市外へ転居したい気持ちがある」または「4. 市外へ転居したい」を選択した方】その主な理由は、何ですか（2つまでに○）。

《全体》



問7で転居意向（「市外へ転居したい気持ちがある」と「市外へ転居したい」の合計）があると回答した理由については、「交通が不便」（31.7%）と「日常生活が不便」（30.8%）がそれぞれ3割を超えている。

前回調査と比べ、上位2項目をはじめとした上位項目の割合が減少する傾向がみられる。

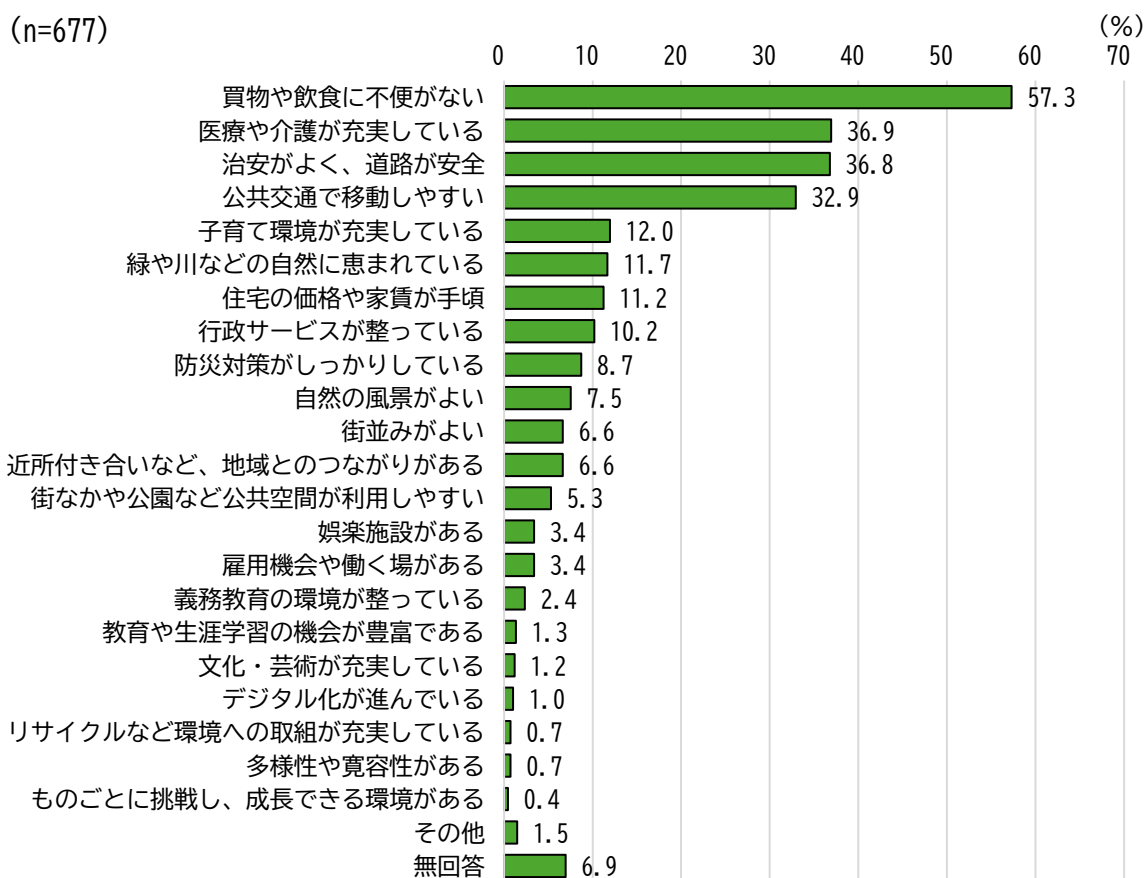
《年代別》

	交通が不便	日常生活が不便	公共施設が整備されていない	仕事の関係から	現在の住宅（広さ、家賃等）に不満	行政サービスが充実していない	近隣公害（騒音、振動等）のため	人間関係がよくない	教育環境がよくない	公園・緑地・広場が少ない	自分の家（土地）がない	その他	無回答
全体(n=104)	31.7	30.8	12.5	11.5	11.5	8.7	7.7	4.8	4.8	3.8	3.8	20.2	9.6
10歳代(n=8)	37.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	50.0	0.0
20歳代(n=18)	22.2	16.7	5.6	38.9	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	27.8
30歳代(n=19)	21.1	21.1	0.0	5.3	36.8	10.5	10.5	0.0	15.8	5.3	10.5	15.8	15.8
40歳代(n=22)	27.3	31.8	22.7	9.1	4.5	9.1	18.2	13.6	9.1	4.5	0.0	18.2	4.5
50歳代(n=18)	50.0	44.4	11.1	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	27.8	5.6
60歳代(n=14)	28.6	42.9	14.3	7.1	14.3	21.4	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0
70歳以上(n=5)	60.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0

年代別にみると、転居意向があると回答した理由について、年代が上がるにつれて、「日常生活が不便」の回答が多くなる傾向がみられる。また、20歳代では「仕事の関係から」、30歳代では「現在の住宅（広さ、家賃等）に不満」がそれぞれ3割を超え、最も多くなっている。

問9 あなたにとって、住みたいまちの要件は何ですか（3つまでに○）。

《全体》



住みたいまちの要件について、「買物や飲食に不便がない」（57.3%）が半数を超えて最も多く、次いで、「医療や介護が充実している」（36.9%）、「治安がよく、道路が安全」（36.8%）、「公共交通で移動しやすい」（32.9%）がそれぞれ3割を超えている。

《年代別》

	買物や飲食に不便がない	医療や介護が充実している	治安がよく、道路が安全	公共交通で移動しやすい	子育て環境が充実している	緑や川などの自然に恵まれている	住宅の価格や家賃が手頃	行政サービスが整っている	防災対策がしっかりしている	自然の風景がよい	街並みがよい	近所付き合いなど、地域とのつながりがある
全体(n=677)	57.3	36.9	36.8	32.9	12.0	11.7	11.2	10.2	8.7	7.5	6.6	6.6
10歳代(n=22)	50.0	9.1	31.8	36.4	4.5	13.6	4.5	9.1	4.5	9.1	9.1	4.5
20歳代(n=69)	47.8	15.9	39.1	37.7	15.9	7.2	24.6	11.6	7.2	5.8	5.8	5.8
30歳代(n=99)	54.5	22.2	45.5	26.3	39.4	5.1	15.2	4.0	8.1	3.0	6.1	3.0
40歳代(n=124)	66.1	30.6	40.3	33.9	16.9	7.3	15.3	14.5	8.1	8.9	4.8	3.2
50歳代(n=141)	59.6	43.3	39.0	39.0	4.3	12.1	9.9	7.8	9.9	5.7	7.1	6.4
60歳代(n=128)	55.5	53.1	33.6	36.7	0.8	12.5	4.7	14.1	12.5	7.8	9.4	7.0
70歳以上(n=93)	57.0	51.6	23.7	20.4	2.2	25.8	4.3	8.6	5.4	14.0	5.4	16.1

	公共空間が公園などやす	街なかや公園など	共働きが利用できる	娯楽施設がある	雇用機会や働く場がある	義務教育の環境が整っている	教育や生涯学習の機会が豊富である	文化・芸術が充実している	デジタル化が進んでいる	サイクルなど環境への取組が充実している	多様性や寛容性がある	成長できる環境がある	ものごとに挑戦し、	その他	無回答
全体(n=677)	5.3	3.4	3.4	2.4	1.3	1.2	1.0	0.7	0.7	0.4	1.5	6.9			
10歳代(n=22)	4.5	40.9	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2			
20歳代(n=69)	5.8	1.4	1.4	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	15.9			
30歳代(n=99)	4.0	4.0	2.0	8.1	2.0	0.0	3.0	0.0	1.0	0.0	3.0	9.1			
40歳代(n=124)	4.8	3.2	3.2	1.6	1.6	0.8	0.8	0.8	1.6	0.0	3.2	6.5			
50歳代(n=141)	3.5	1.4	5.0	0.7	1.4	1.4	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	5.7			
60歳代(n=128)	7.0	2.3	3.1	1.6	0.0	2.3	0.8	2.3	0.8	0.8	0.8	1.6			
70歳以上(n=93)	7.5	0.0	5.4	1.1	2.2	2.2	1.1	1.1	0.0	1.1	1.1	4.3			

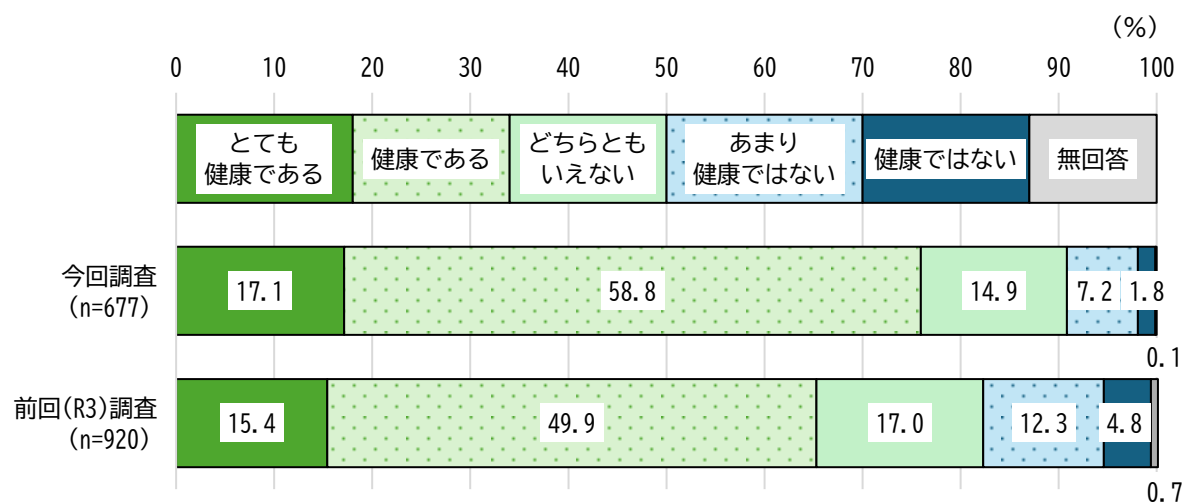
住み続けたいまちの要件について、全ての年代で「買物や飲食に不便がない」が最も多くなっている。また、年代が上がるにつれて、「医療や介護が充実している」が多くなる傾向がみられる。さらに、20歳代から50歳代では、「治安がよく、道路が安全」が約4割となっている。

このほか、10歳代では「娯楽施設がある」、20歳代では「住宅の価格や家賃が手頃」、30歳代では「子育て環境が充実している」、70歳以上では「緑や川などの自然に恵まれている」がそれぞれ他の年代と比べ多いという特徴がみられる。

3. 医療・福祉について

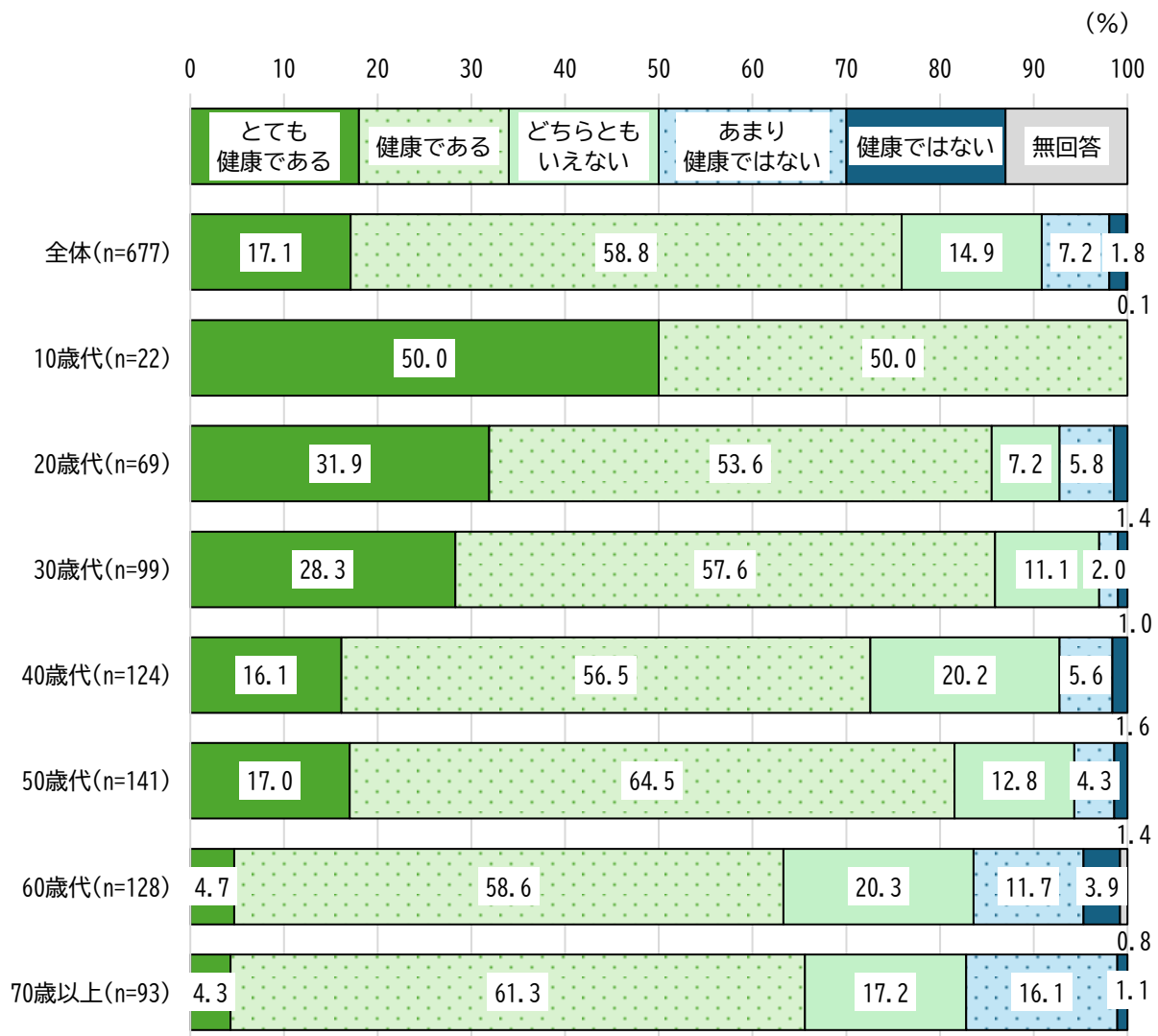
問10 あなたは、現在、心身ともに健康ですか（1つに○）。

《全体》



現在の心身の健康について、健康（「とても健康である」と「健康である」の合計）と回答した市民の割合は75.9%であり、前回調査（65.3%）と比べ10ポイント以上増加している。

《年代別》

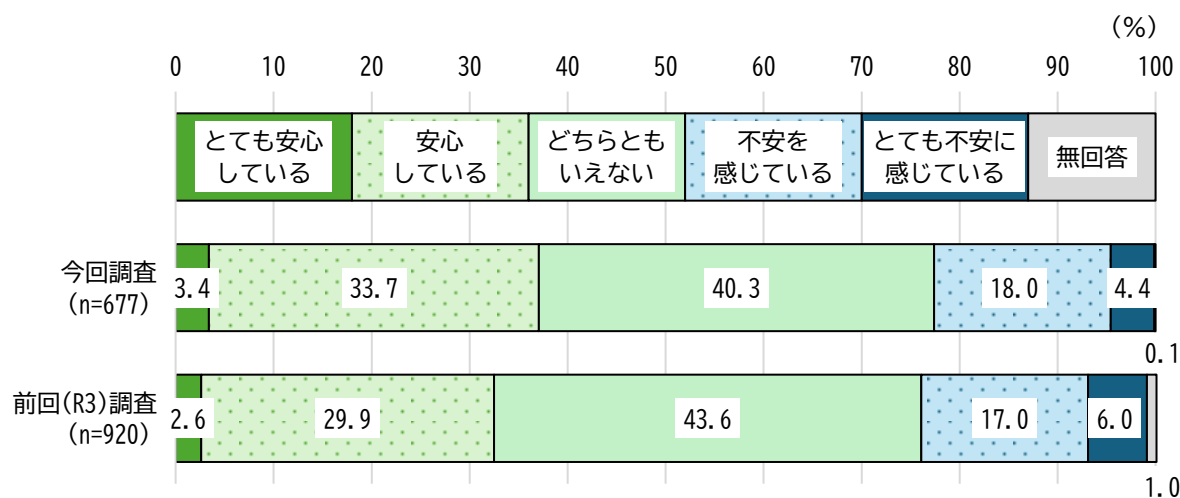


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、健康（「とても健康である」と「健康である」の合計）と回答した市民の割合は、年代が上がるにつれて減少する傾向がみられるものの、全ての年代において6割以上が健康と回答している。

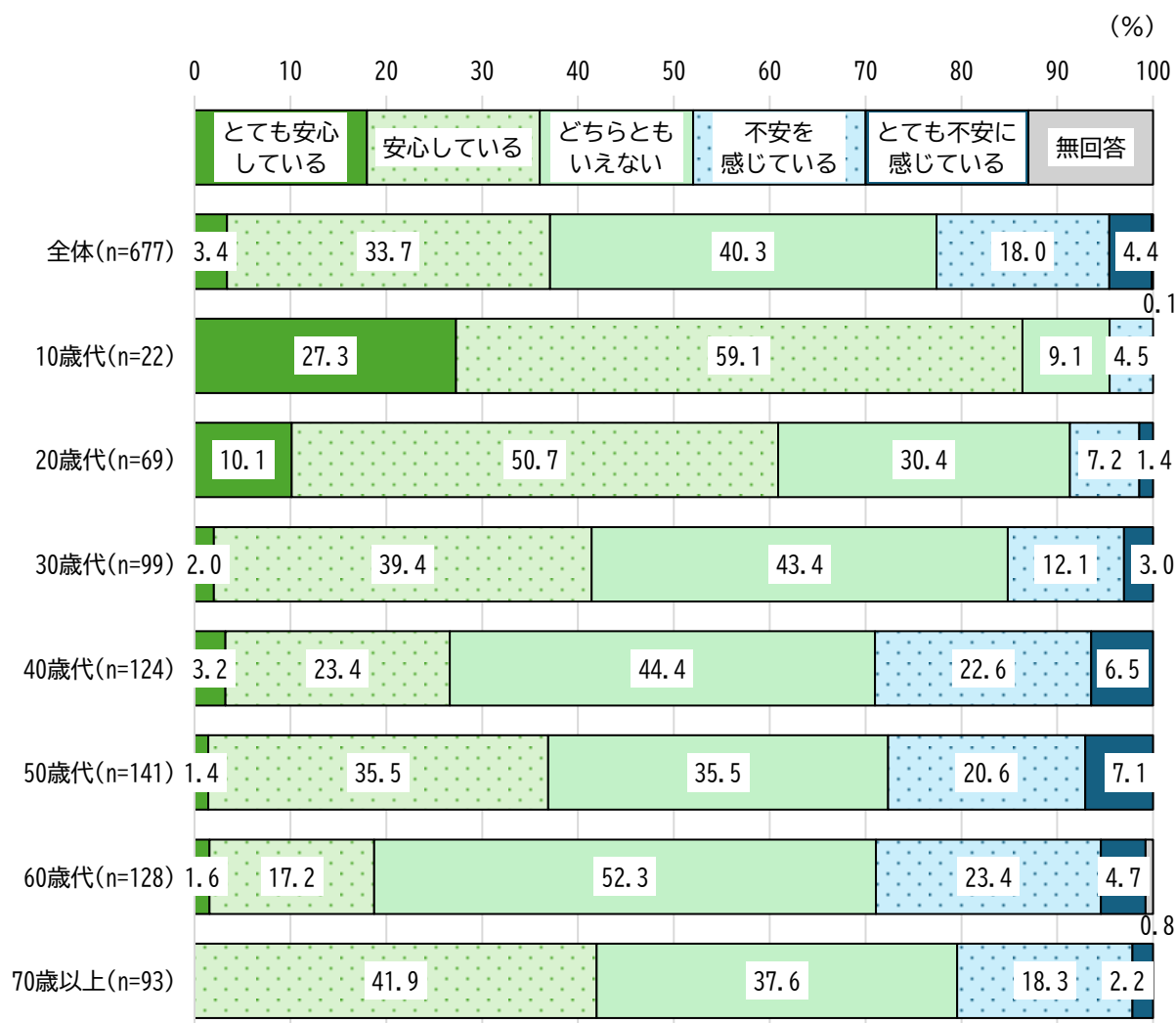
問 11 あなたは、白岡市の医療体制についてどのように感じていますか（1つに○）。

《全体》



白岡市の医療体制について、「どちらともいえない」が40.3%で最も多くなっている。安心（「とても安心している」と「安心している」の合計）と回答した市民の割合は37.1%であり、前回調査（32.5%）と比べ、約5ポイント増加している。

《年代別》

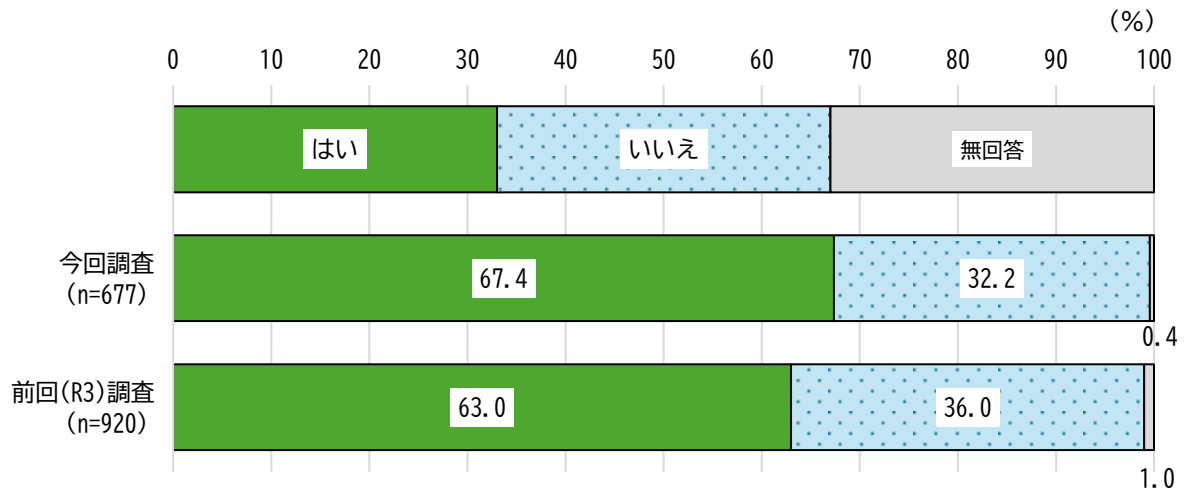


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市の医療体制について、安心（「とても安心している」と「安心している」の合計）と回答した市民の割合は、年代によって異なる。10歳代と20歳代では半数以上が安心と回答している一方、40歳代と60歳代では安心が3割未満となっている。なお、いずれの年代でも、不安（「不安を感じている」と「とても不安を感じている」の合計）より、「どちらともいえない」の回答が多くなっている。

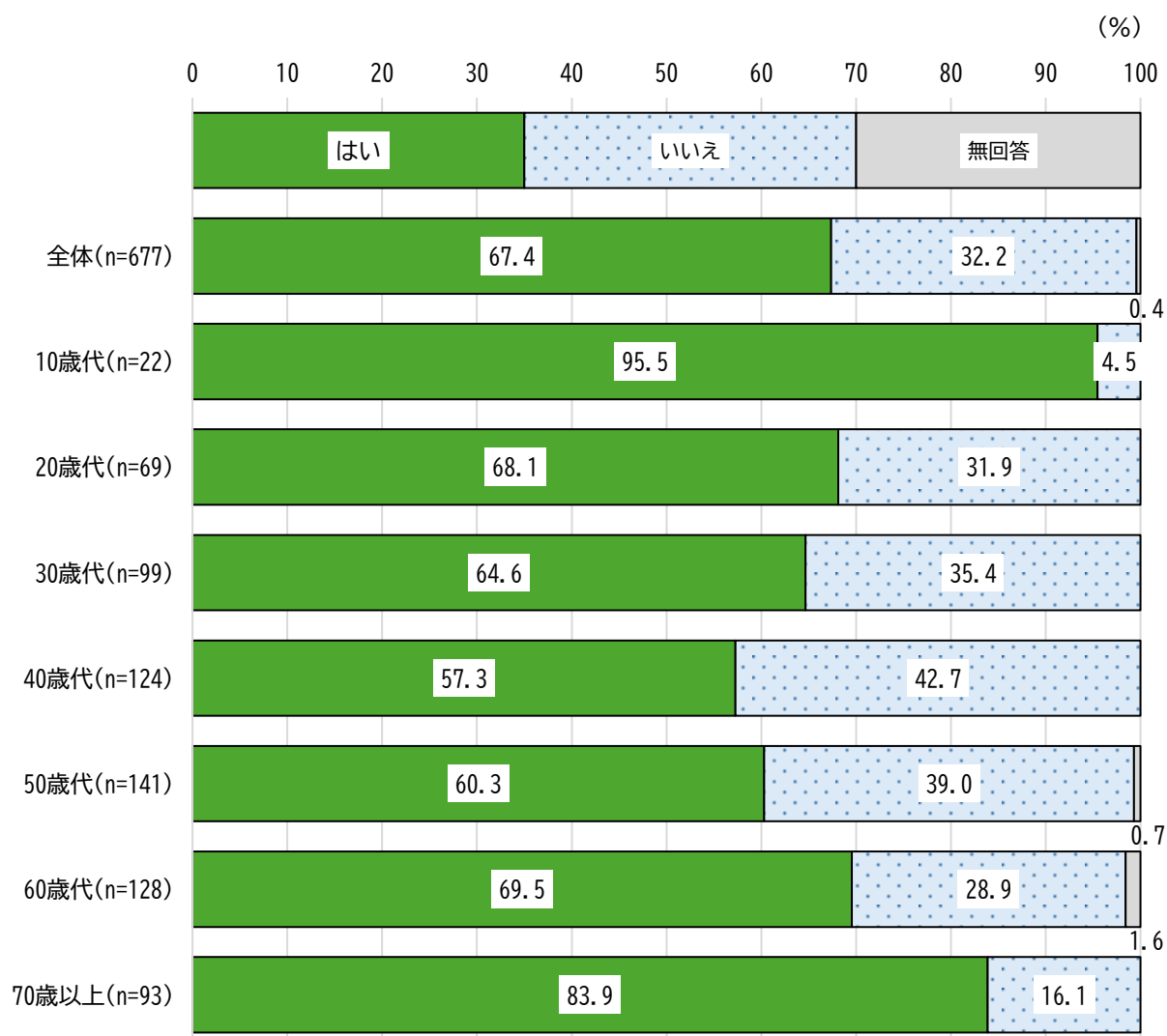
問 12 あなたは、かかりつけの医療機関（御自身の身体のことなどを相談・診察できる身近な医療機関）をお持ちですか（1つに○）。

《全体》



かかりつけの医療機関を有していると回答した市民の割合は 67.4%であり、前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

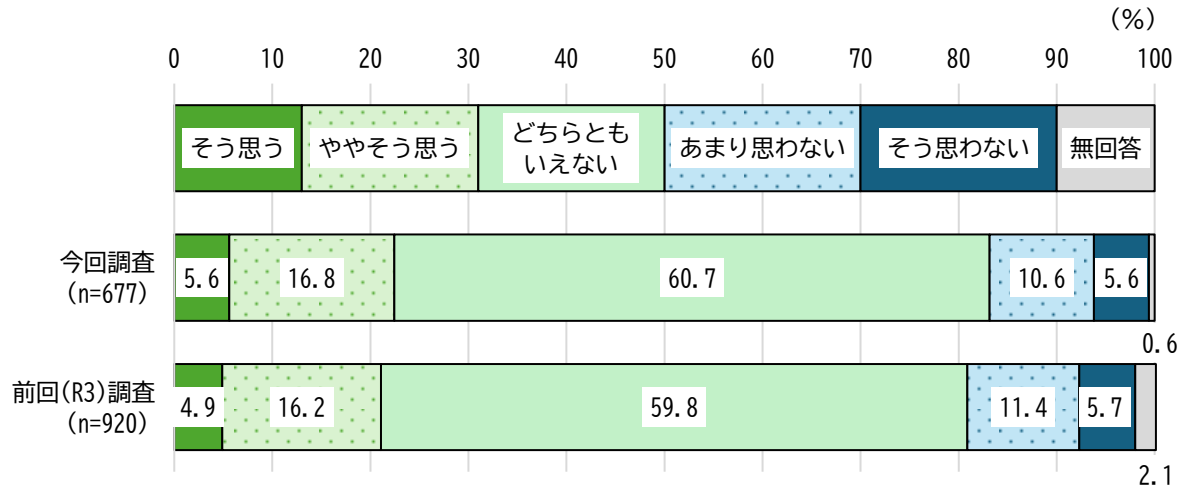


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、かかりつけ医療機関を有している割合は、全ての年代で半数を超えており、特に、10歳代（95.5%）が最も多く、次いで、70歳以上（83.9%）となっている。一方、40歳代（57.3%）が最も少ない。

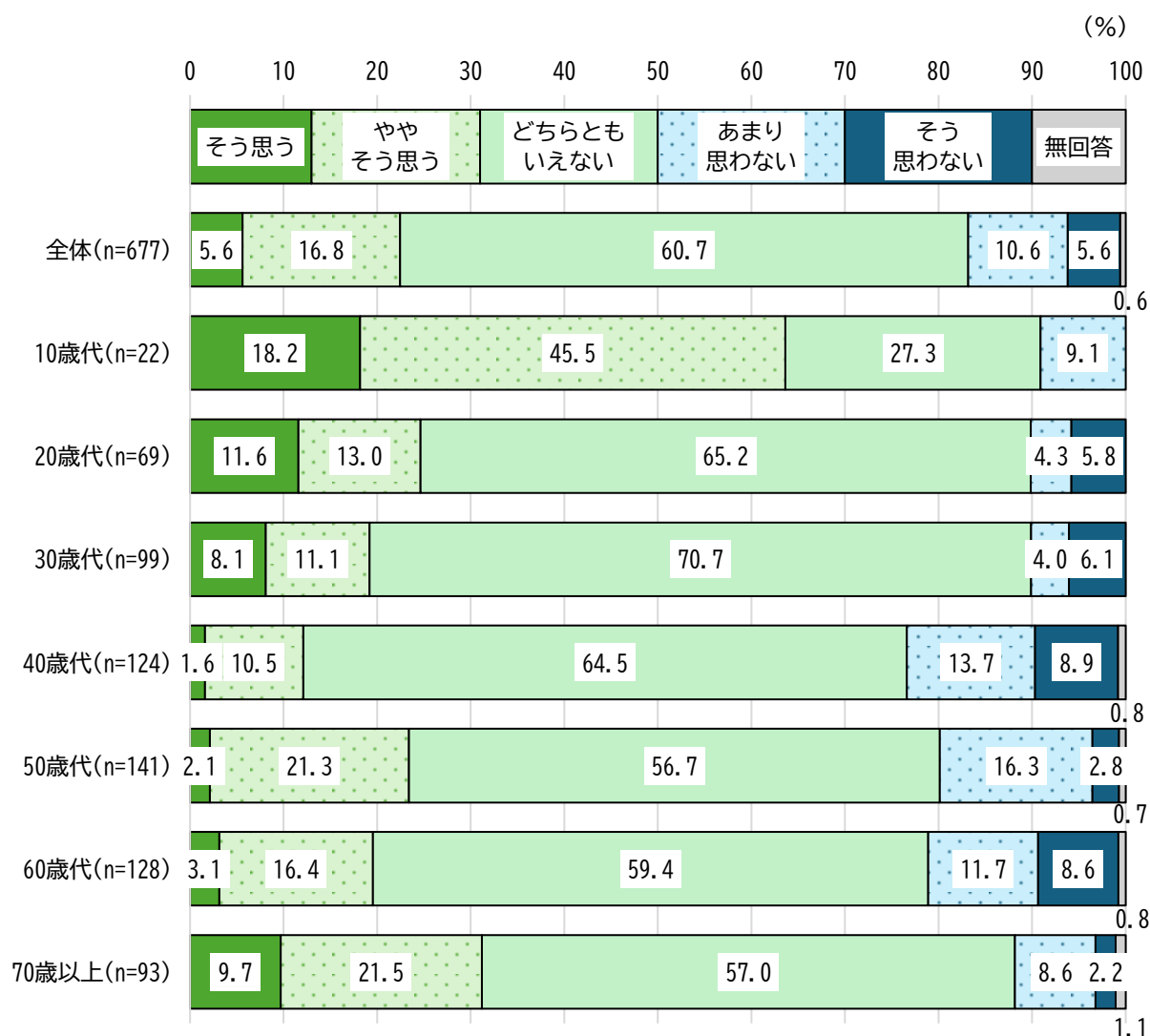
問 13 あなたは、白岡市の介護（訪問・通所等の居宅介護サービス事業や介護施設など）が充実していると感じますか（1つに○）。

《全体》



白岡市の介護の充実度について、「どちらともいえない」が60.7%で最も多くなっている。肯定的（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）な市民の割合は22.4%であり、前回調査（21.1%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》

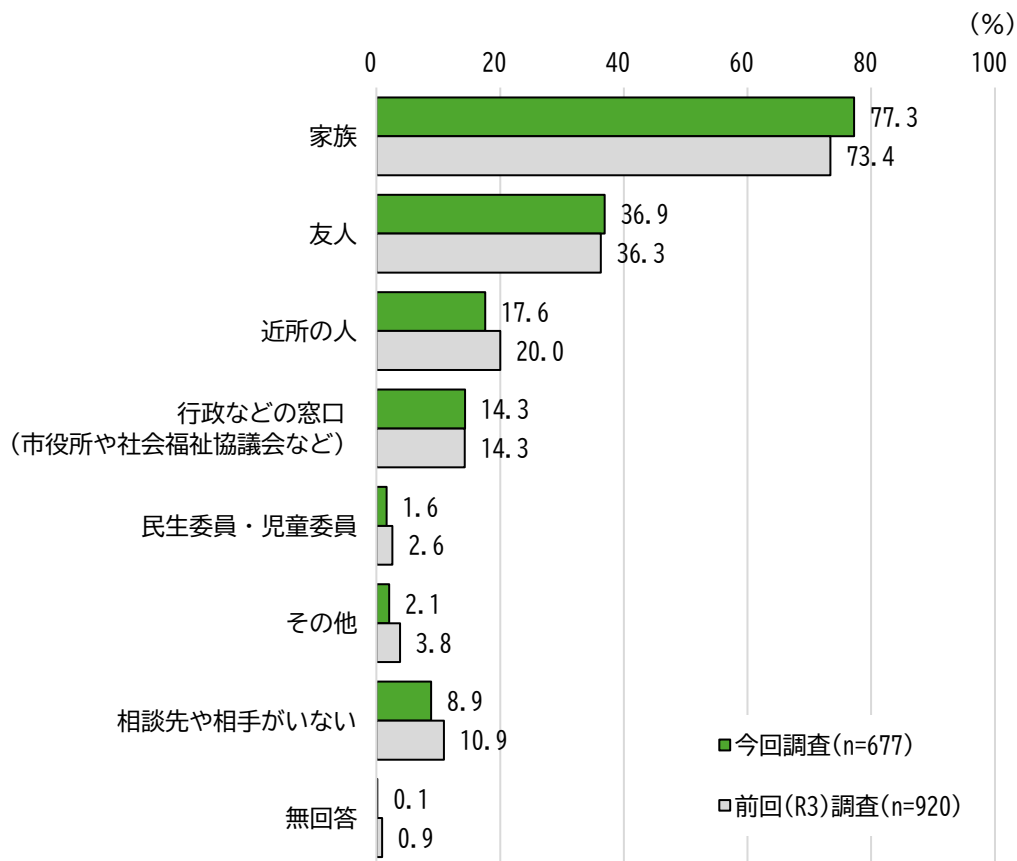


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、10歳代では肯定的（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）な市民の割合が63.7%で最も多い一方、高齢の年代では、肯定的な市民が約3割からそれ未満となっている。

問 14 あなたは、地域で困り事があった場合の相談先や相手がありますか（当てはまるもの全てに○）。

《全体》



困りごとの相談相手について、「家族」(77.3%)が最も多く、次いで、「友人」(36.9%)となっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

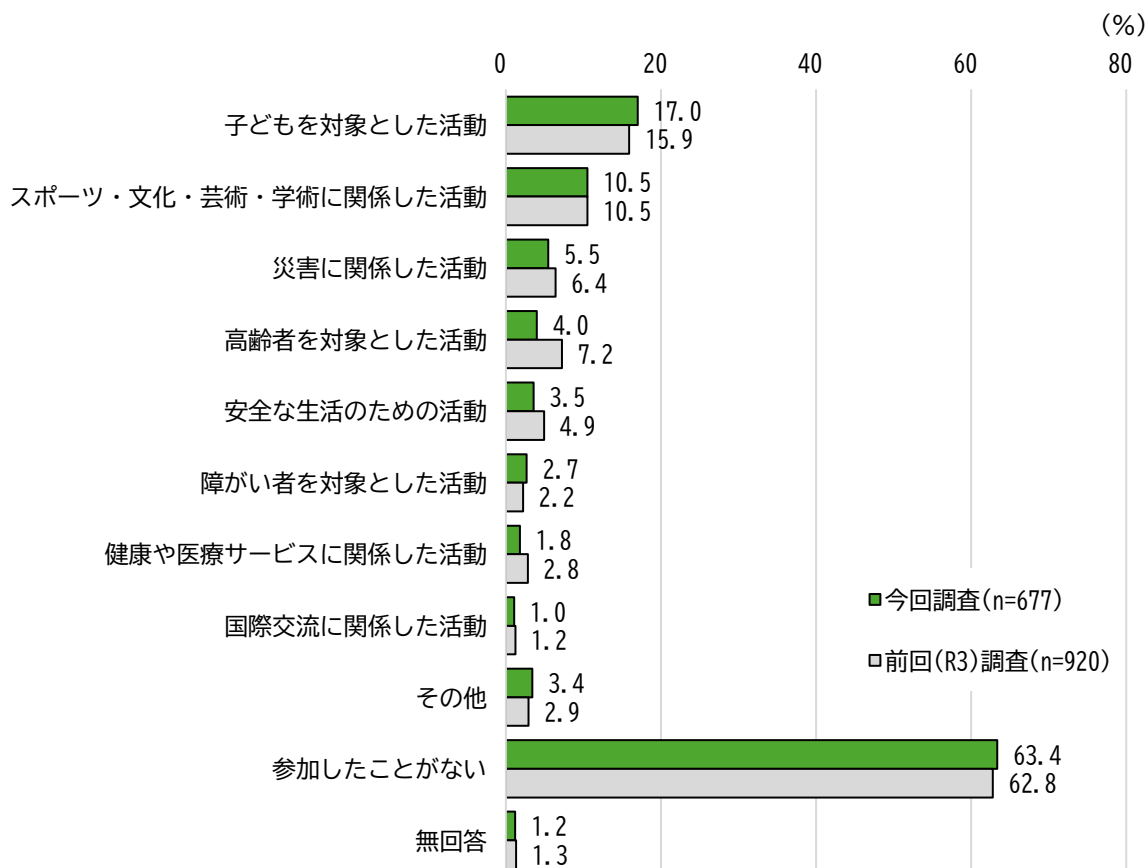
《年代別》

	家族	友人	近所の人	行政などの窓口（市役所や社会福祉協議会など）	民生委員・児童委員	その他	相談先や相手がいない	無回答
全体(n=677)	77.3	36.9	17.6	14.3	1.6	2.1	8.9	0.1
10歳代(n=22)	100.0	59.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=69)	81.2	44.9	4.3	11.6	0.0	2.9	7.2	0.0
30歳代(n=99)	86.9	40.4	14.1	6.1	0.0	1.0	7.1	0.0
40歳代(n=124)	75.0	41.1	20.2	14.5	0.0	0.8	10.5	0.0
50歳代(n=141)	79.4	33.3	19.9	16.3	2.8	1.4	5.0	0.0
60歳代(n=128)	71.1	25.8	19.5	16.4	1.6	3.9	17.2	0.8
70歳以上(n=93)	66.7	37.6	24.7	22.6	5.4	3.2	6.5	0.0

年代別にみると、全ての年代で「家族」が最も多く、次いで、「友人」となっている。一方で、「近所の人」、「行政などの窓口」は年代が上がるごとに増加する傾向がみられる。また、60歳代では、「相談先や相手がいない」が他の年代と比べ多くなっている。

問 15 あなたは、地域福祉に関わる地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか（当てはまるもの全てに○）。

《全体》



地域活動やボランティア活動への参加経験については、「参加したことがない」（63.4％）が最も多くなっている。参加経験のある活動としては、「子どもを対象とした活動」（17.0％）、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」（10.5％）、「災害に関係した活動」（5.5％）が上位となっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

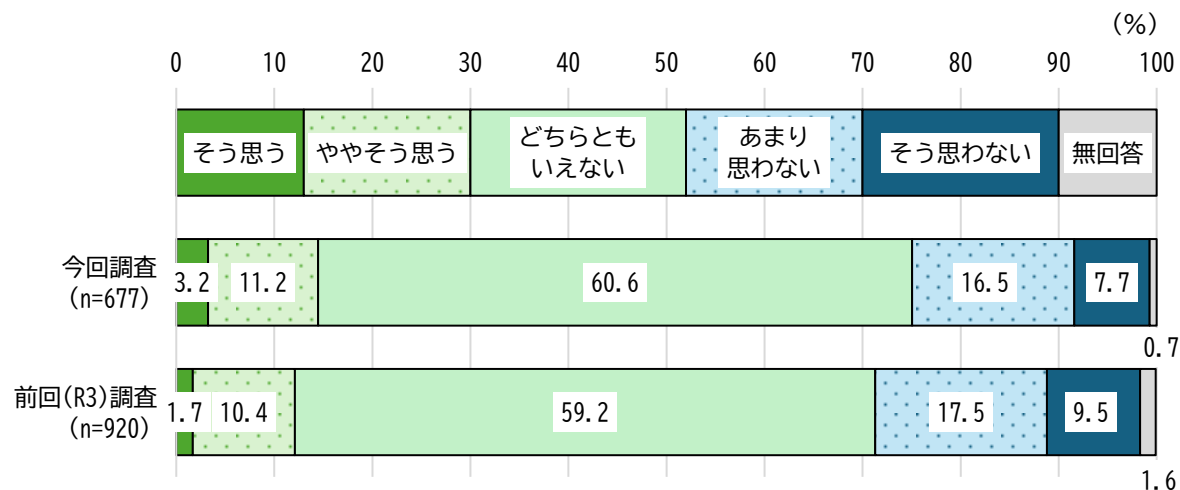
《年代別》

	子どもを対象とした活動	スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動	災害に関係した活動	高齢者を対象とした活動	安全な生活のための活動	障がい者を対象とした活動	健康や医療サービスに関係した活動	国際交流に関係した活動	その他	参加したことがない	無回答
全体(n=677)	17.0	10.5	5.5	4.0	3.5	2.7	1.8	1.0	3.4	63.4	1.2
10歳代(n=22)	9.1	18.2	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5	4.5	0.0	68.2	0.0
20歳代(n=69)	15.9	7.2	4.3	1.4	1.4	0.0	2.9	2.9	1.4	68.1	0.0
30歳代(n=99)	15.2	9.1	3.0	5.1	5.1	5.1	0.0	0.0	2.0	67.7	1.0
40歳代(n=124)	23.4	12.9	4.8	1.6	4.8	1.6	0.8	0.8	4.0	58.9	0.0
50歳代(n=141)	21.3	13.5	6.4	2.1	3.5	2.8	0.0	1.4	2.1	58.2	0.7
60歳代(n=128)	14.1	8.6	8.6	6.3	0.8	2.3	1.6	0.0	5.5	66.4	3.1
70歳以上(n=93)	10.8	7.5	4.3	8.6	5.4	4.3	6.5	1.1	5.4	63.4	2.2

年代別にみると、全ての年代で、「参加したことがない」が約6割で、最も多くなっている。参加経験のある活動としては、10歳代では、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」(18.2%)、その他の年代では、「子どもを対象とした活動」がそれぞれ最も多くなっている。

問 16 あなたは、白岡市は、障がい者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか（1つに○）。

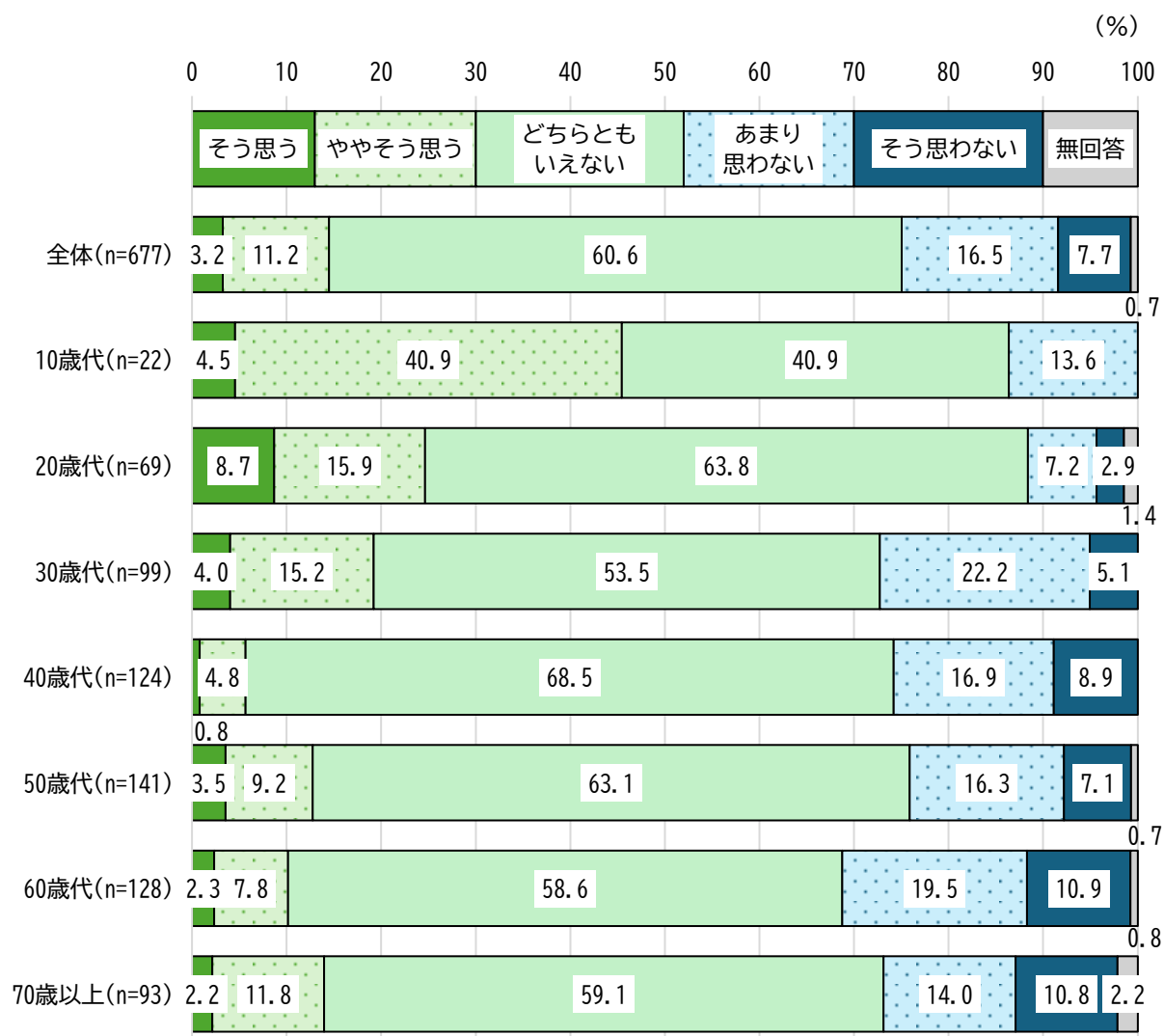
《全体》



障がい者が社会活動に参加しやすい環境整備について、「どちらともいえない」が60.6%で最も多くなっている。肯定的（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）な市民の割合は14.4%にとどまっている一方、否定的（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）な市民の割合は24.2%で、否定的な割合が上回っている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

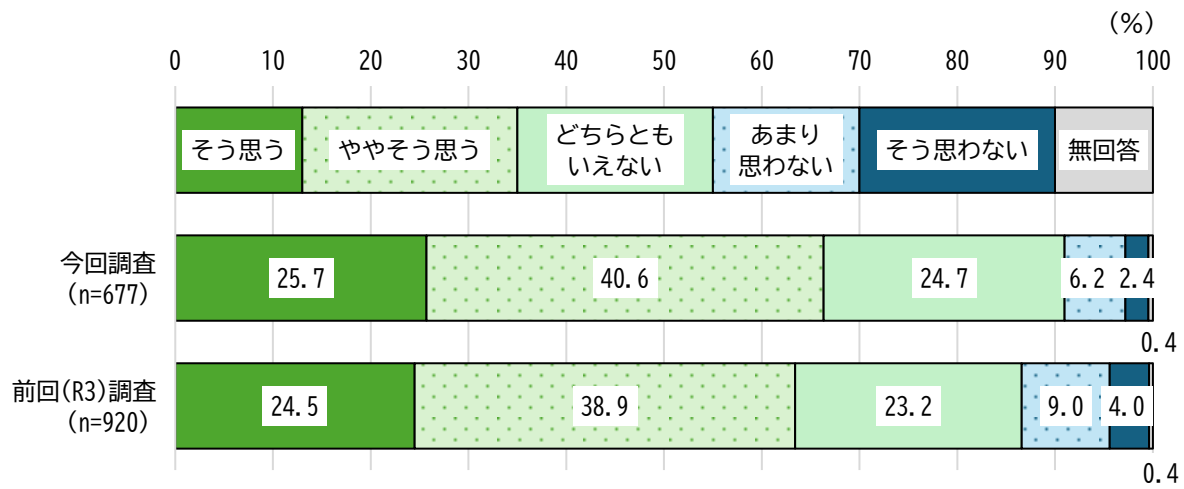


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、10歳代を除く全ての年代で、「どちらともいえない」が最も多くなっている。肯定的（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）な割合は、10歳代（45.4%）、20歳代（24.6%）の順に多く、一方、否定的（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）な割合は、60歳代（30.4%）、30歳代（27.3%）の順に多くなっている。

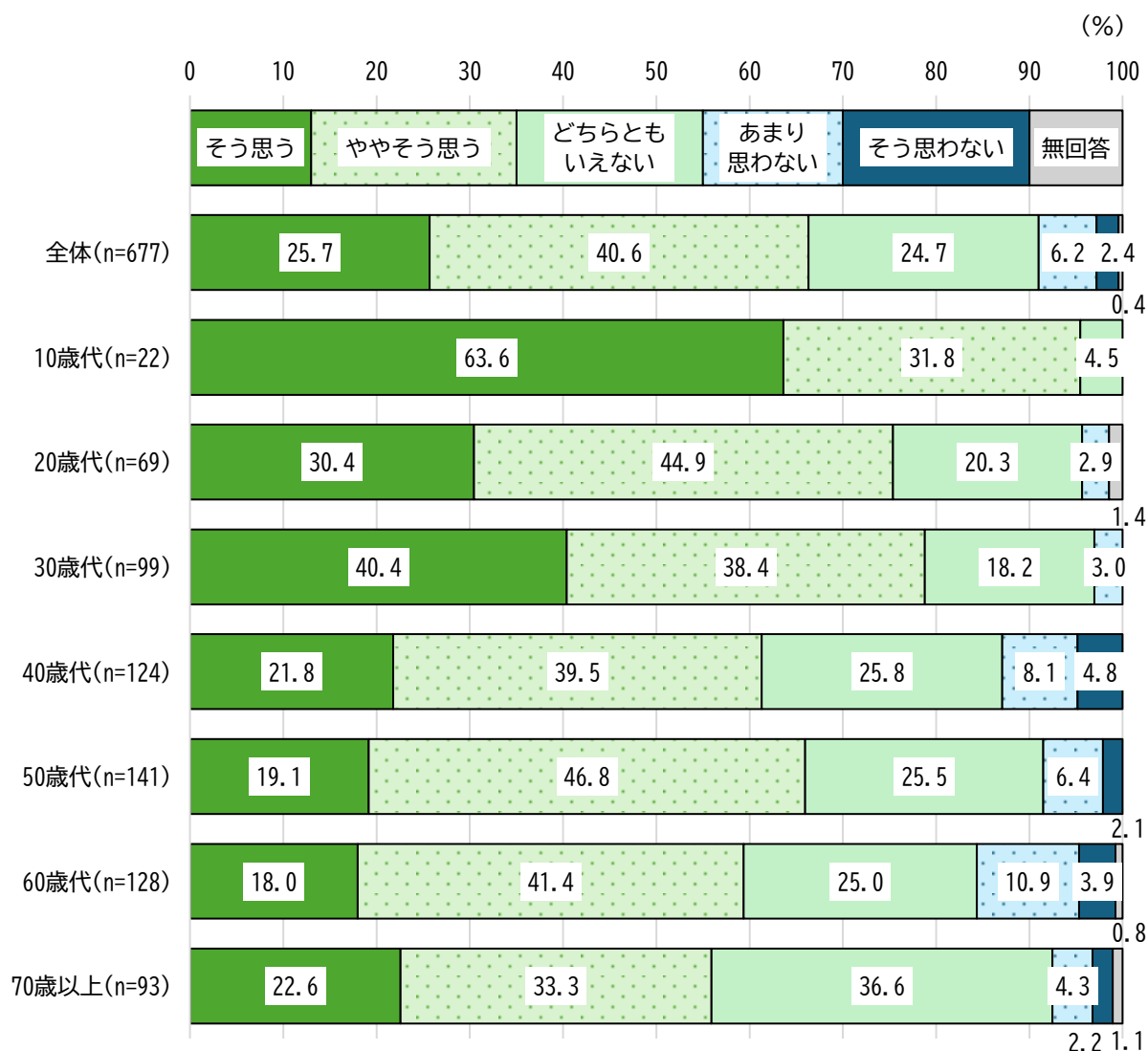
問 17 あなたは、現在、生きがい（喜びや楽しみ）を感じていますか（1つに○）。

《全体》



現在、生きがいを感じている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は66.3%であり、前回調査（63.4%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》



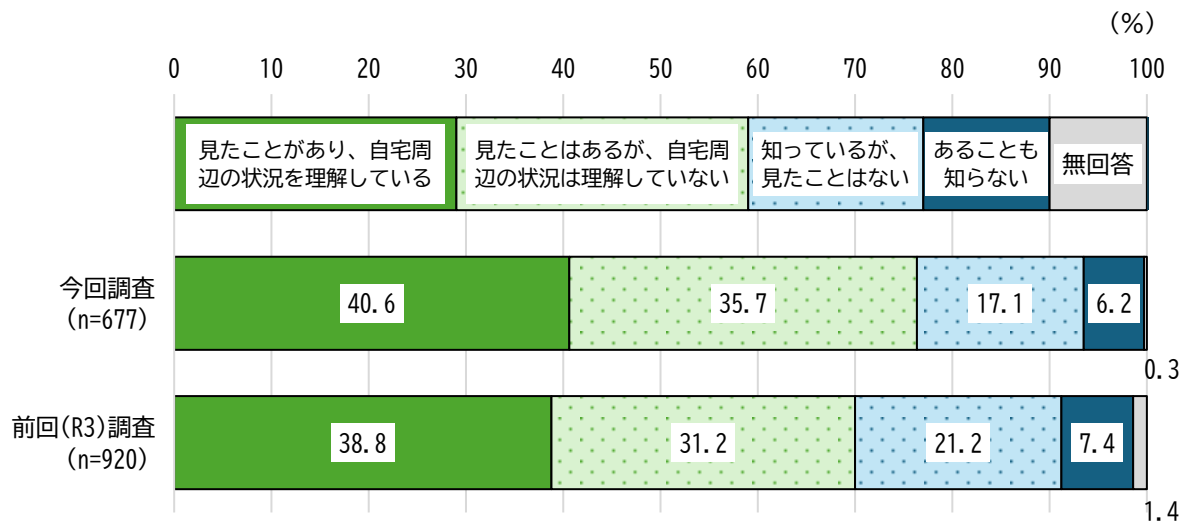
(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、現在、生きがいや喜びを感じている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（95.4%）、30歳代（78.8%）、20歳代（75.3%）の順に多くなっている。一方で、生きがいや喜びを感じていない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）と回答した市民の割合は、60歳代（14.8%）、40歳代（12.9%）の順に多い。

4. 防災・防犯について

問 18 あなたは、「白岡市地震・洪水ハザードマップ」を知っていますか（1つに○）。

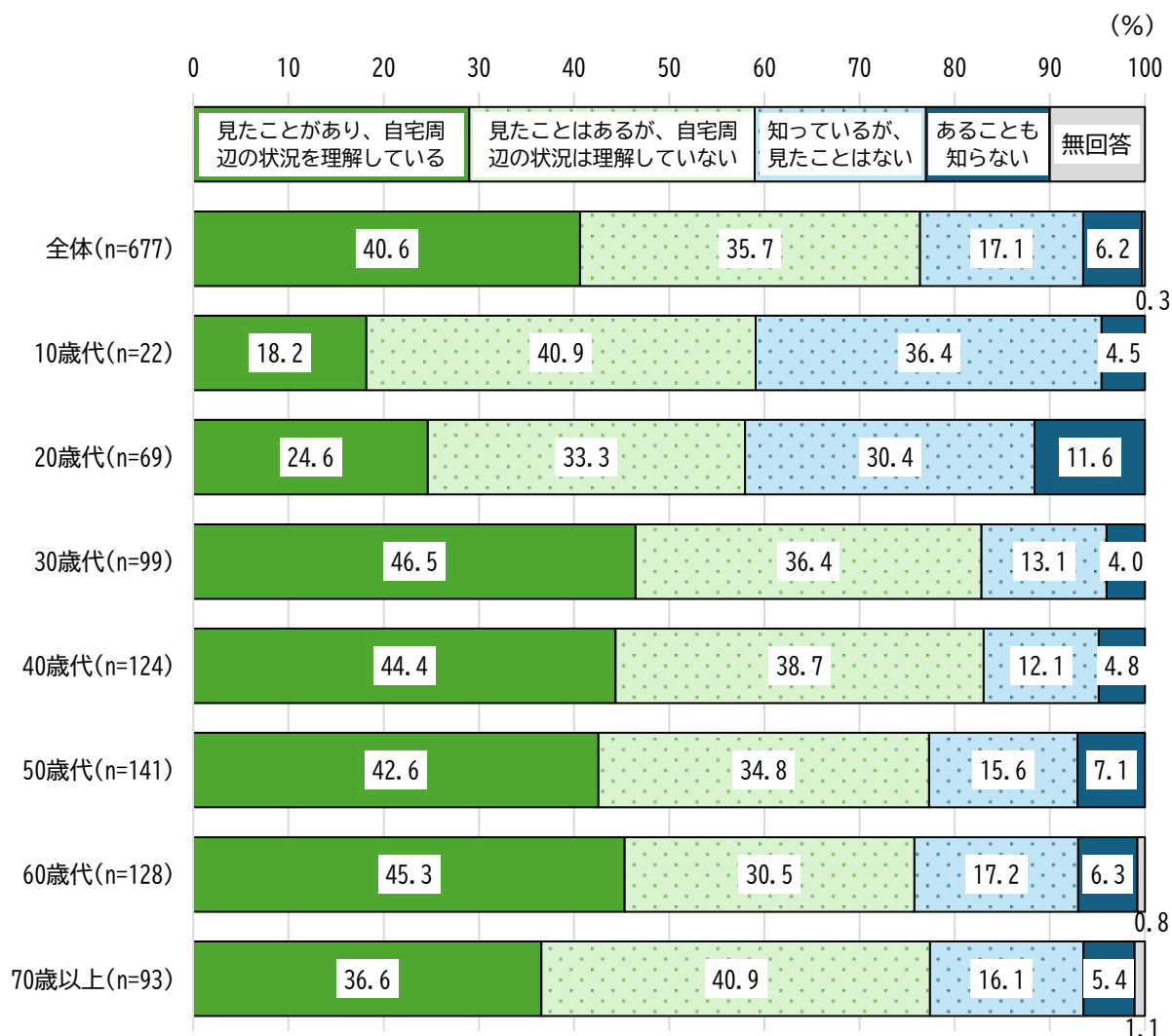
《全体》



ハザードマップの認知度について、「見たことがあり、自宅周辺の状況を理解している」と回答した市民の割合は40.6%で最も多い。また、「見たことはあるが、自宅周辺の状況は理解していない」（35.7%）と合わせ76.3%がハザードマップを見たことがあると回答している。一方、「知っているが見たことはない」（17.1%）と「あることも知らない」（6.2%）を合わせ23.3%が実物を知らないと回答している。

前回調査と比べ、「知っているが見たことはない」と「あることも知らない」を合わせた割合は、約5ポイント減少している。

《年代別》

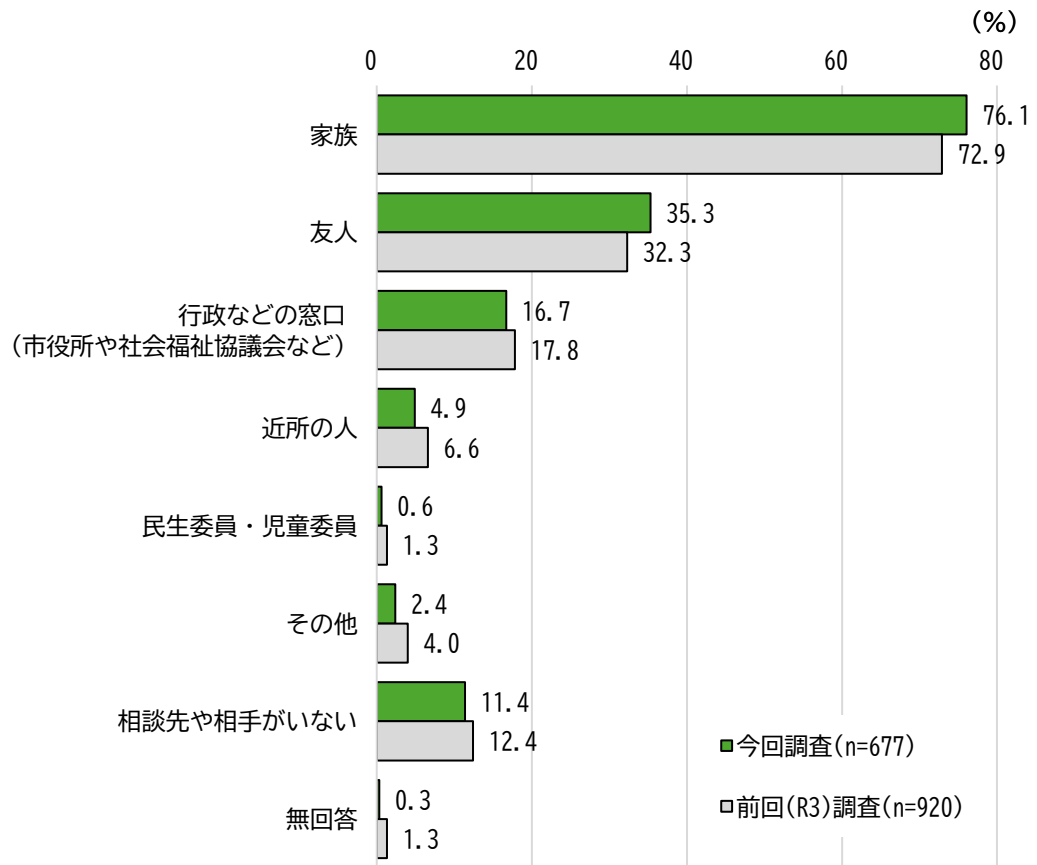


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況を理解している」と回答した市民の割合は30歳代から60歳代で4割を超えている。「見たことはあるが、自宅周辺の状況は理解していない」と回答した市民の割合は、どの年代も約3割から4割となっている。「知っているが見たことはない」と回答した市民の割合は、10歳代と20歳代で3割超と多く、「あることも知らない」と回答した市民の割合は20歳代（11.6%）が最も多くなっている。

問 19 あなたは、消費生活（日常の買物やインターネット取引など）上のトラブルがあった場合の相談先や相手がありますか（当てはまるもの全てに○）。

《全体》



消費生活上のトラブルの相談先は、「家族」（76.1％）が最も多く、次いで、「友人」（35.3％）、「行政などの窓口」（16.7％）となっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

	家族	友人	行政などの窓口（市役所や社会福祉協議会など）	近所の人	民生委員・児童委員	その他	相談先や相手がいない	無回答
全体(n=677)	76.1	35.3	16.7	4.9	0.6	2.4	11.4	0.3
10歳代(n=22)	95.5	50.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=69)	88.4	44.9	8.7	2.9	0.0	1.4	7.2	0.0
30歳代(n=99)	84.8	37.4	15.2	4.0	0.0	4.0	8.1	0.0
40歳代(n=124)	77.4	48.4	18.5	6.5	0.0	1.6	9.7	0.0
50歳代(n=141)	73.8	33.3	9.9	2.1	1.4	3.5	11.3	0.0
60歳代(n=128)	69.5	21.9	21.9	6.3	0.8	0.8	18.0	0.8
70歳以上(n=93)	63.4	26.9	26.9	8.6	1.1	3.2	14.0	1.1

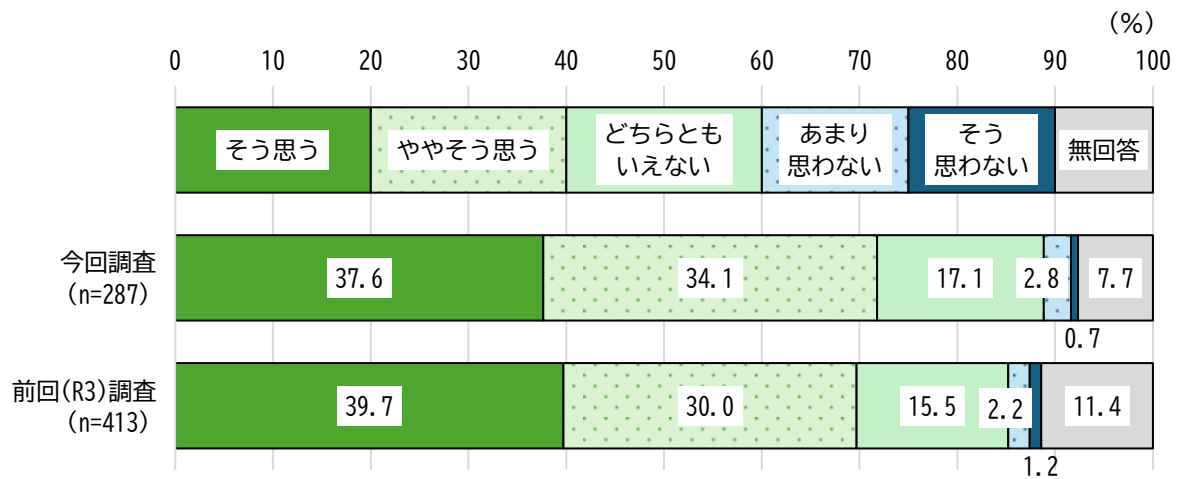
年代別にみると、全ての年代において、「家族」が最も多くなっている。次いで、10歳代から40歳代では、「友人」と回答した市民の割合が多く、60歳代と70歳以上では、「行政などの窓口」が多くなっている。また、概ね年代が上がるにつれて、「相談先や相手がいない」の割合が多くなる傾向がみられる。

5. 子育て・教育について

問 20 あなたは、子育て（18歳未満の子ども）を楽しんでいると感じていますか（1つに○）。

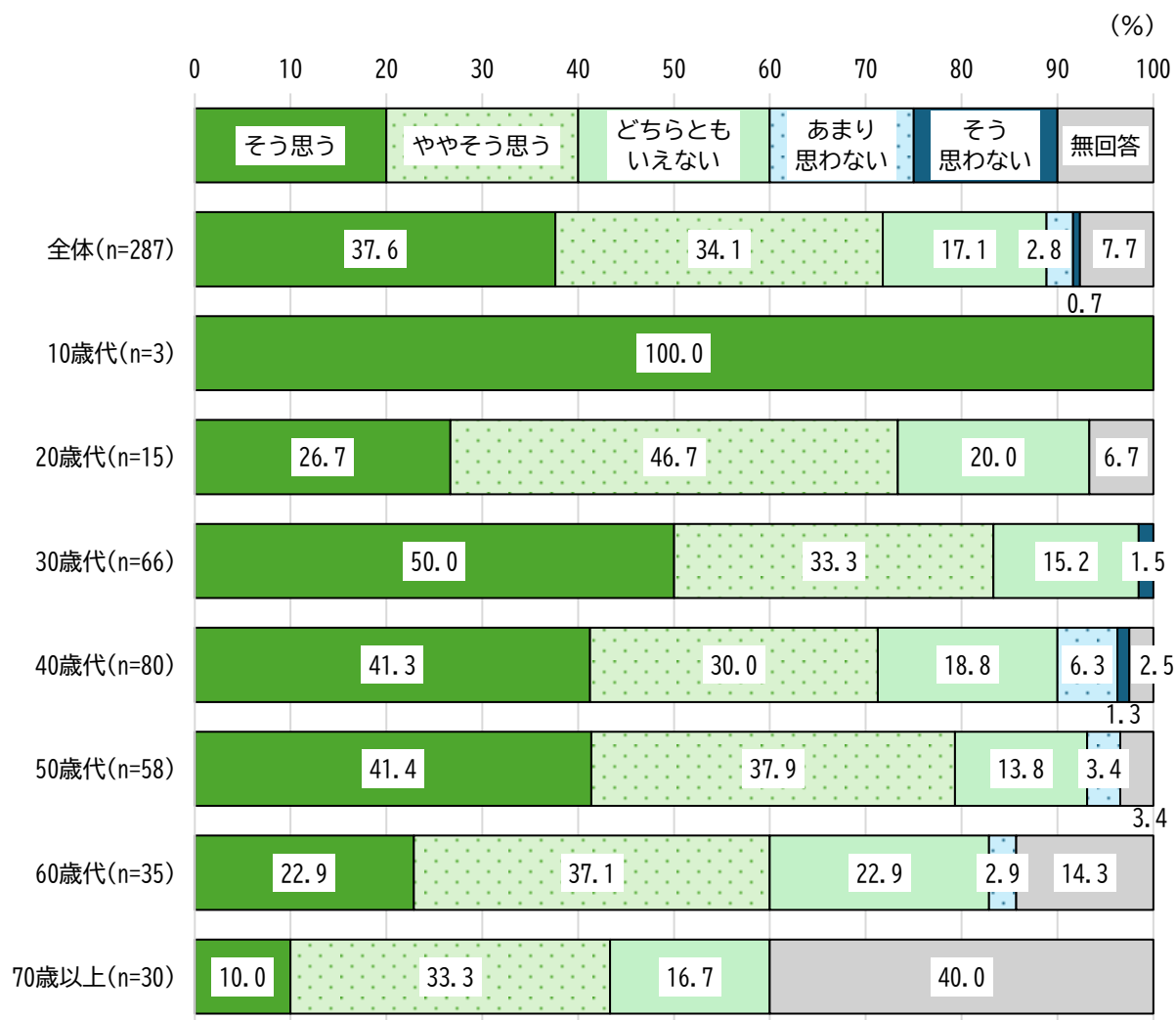
【18歳未満の子どもを養育している人のみ】

《全体》



18歳未満の子どもを養育している人のうち、子育てを楽しんでいる（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）市民の割合は71.7%であり、前回調査（69.7%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》



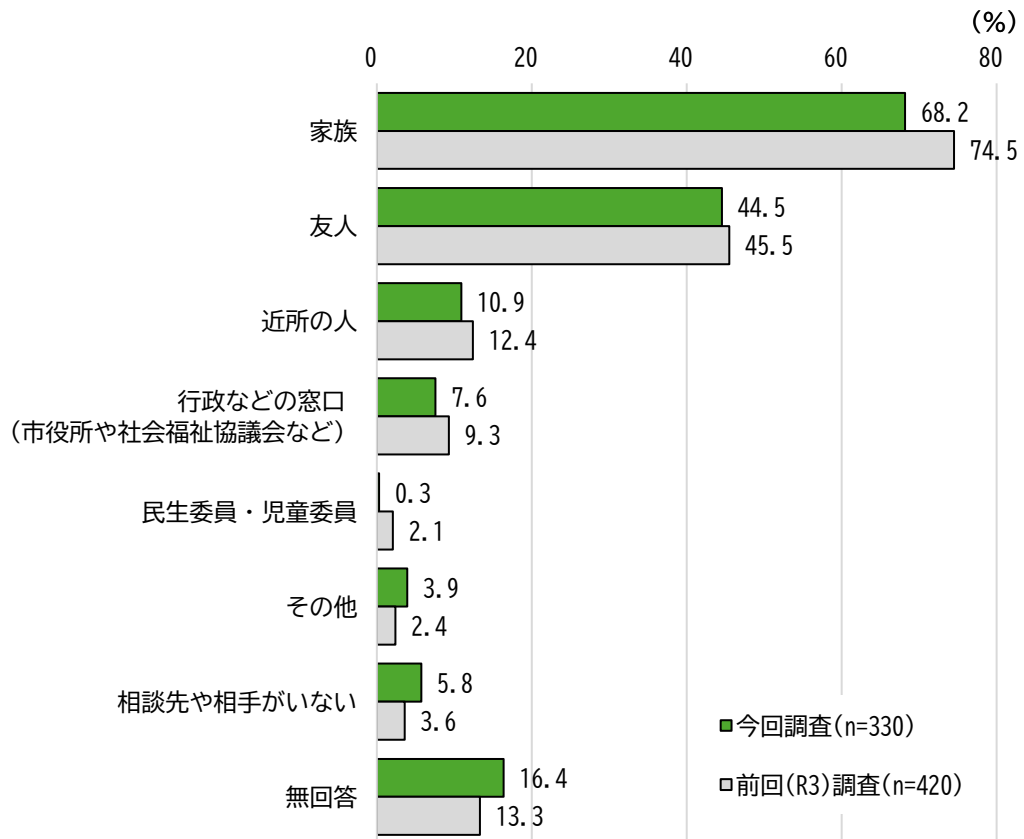
(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、10歳代では子育てを楽しんでいると感じる割合が100%となっている。また、20歳代から50歳代では、子育てを楽しんでいると感じる（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）割合が7割から8割となっているものの、40歳代では、子育てを楽しんでいると感じない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）割合が他の年代と比べ多い。

問 21 あなたは、子育て（18歳未満の子ども）の悩みがあった場合の相談先や相手がいま
すか（当てはまるもの全てに○）。

【18歳未満の子どもを養育している人のみ】

《全体》



18歳未満の子どもを養育している人のうち、相談先や相手としては、「家族」（68.2%）が最も多く、次いで、「友人」（44.5%）となっている。

前回調査と比べ、「家族」の割合が約6ポイント減少している。

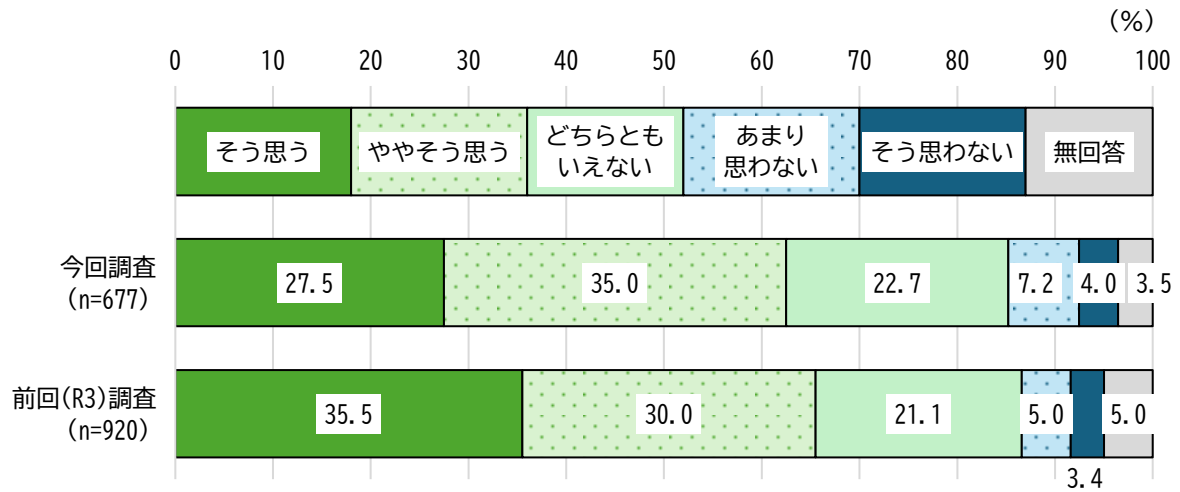
《年代別》

	家族	友人	近所の人	行政などの窓口（市役所や社会福祉協議会など）	民生委員・児童委員	その他	相談先や相手がいない	無回答
全体(n=330)	68.2	44.5	10.9	7.6	0.3	3.9	5.8	16.4
10歳代(n=4)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
20歳代(n=17)	76.5	52.9	11.8	5.9	0.0	5.9	11.8	0.0
30歳代(n=69)	94.2	53.6	14.5	10.1	0.0	7.2	1.4	1.4
40歳代(n=83)	80.7	63.9	14.5	10.8	0.0	3.6	6.0	2.4
50歳代(n=69)	60.9	43.5	5.8	7.2	1.4	2.9	5.8	17.4
60歳代(n=49)	49.0	20.4	10.2	2.0	0.0	4.1	12.2	32.7
70歳以上(n=39)	28.2	17.9	7.7	5.1	0.0	0.0	2.6	56.4

年代別にみると、全ての年代において「家族」が最も多く、次いで、「友人」となっている。また、20歳代と60歳代では、「相談先や相手がいない」が1割を超え、他の年代と比べ多くなっている。

問 22 あなたは、子育てや子どもの教育は家庭や学校だけではなく、地域でも行うものだと思いますか（1つに○）。

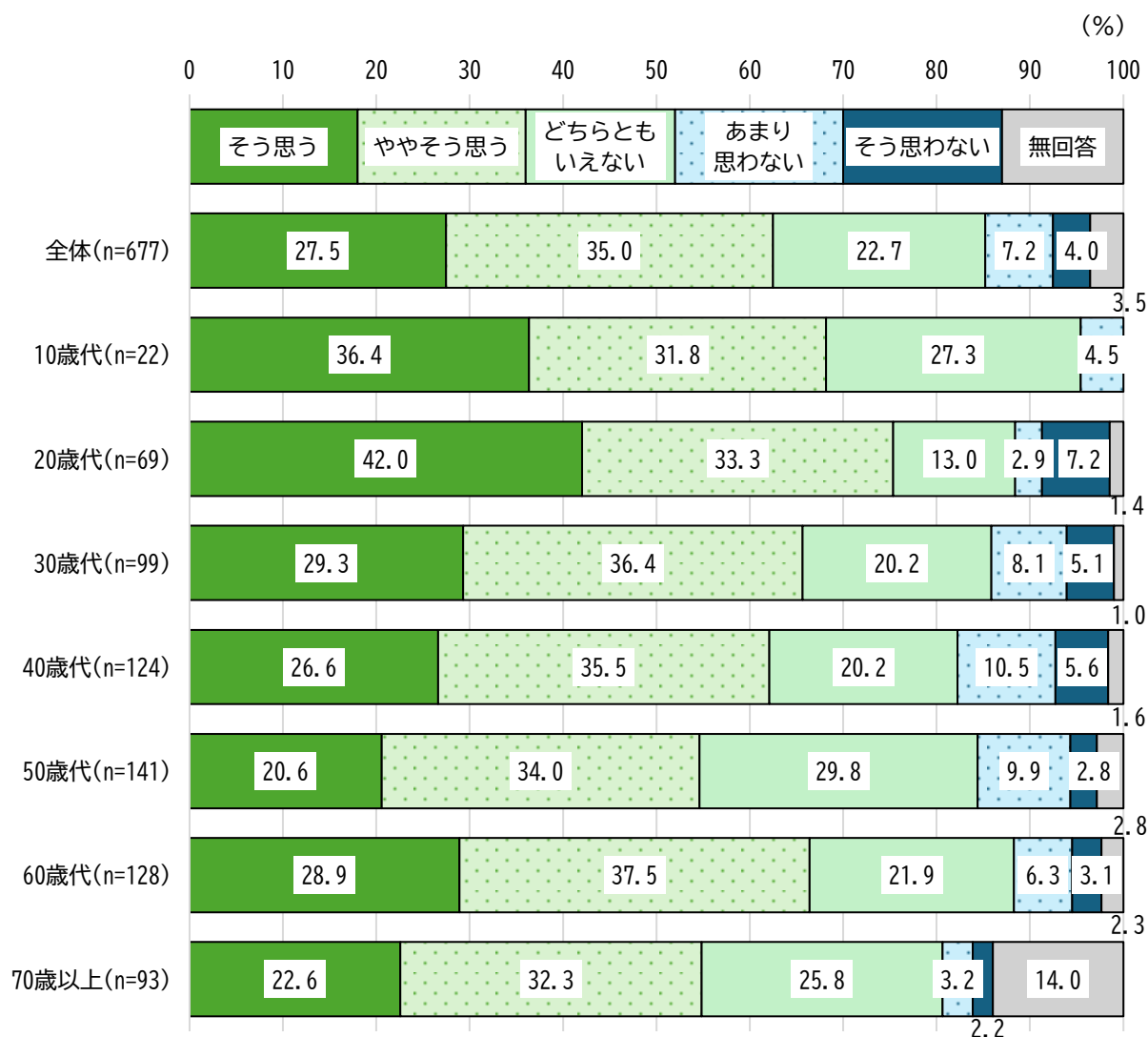
《全体》



子育てや子どもの教育を地域で行うものだと思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、62.5%となっている。

前回調査と比べ、「そう思う」の割合が約8ポイント減少し、「ややそう思う」の割合が増加している。

《年代別》



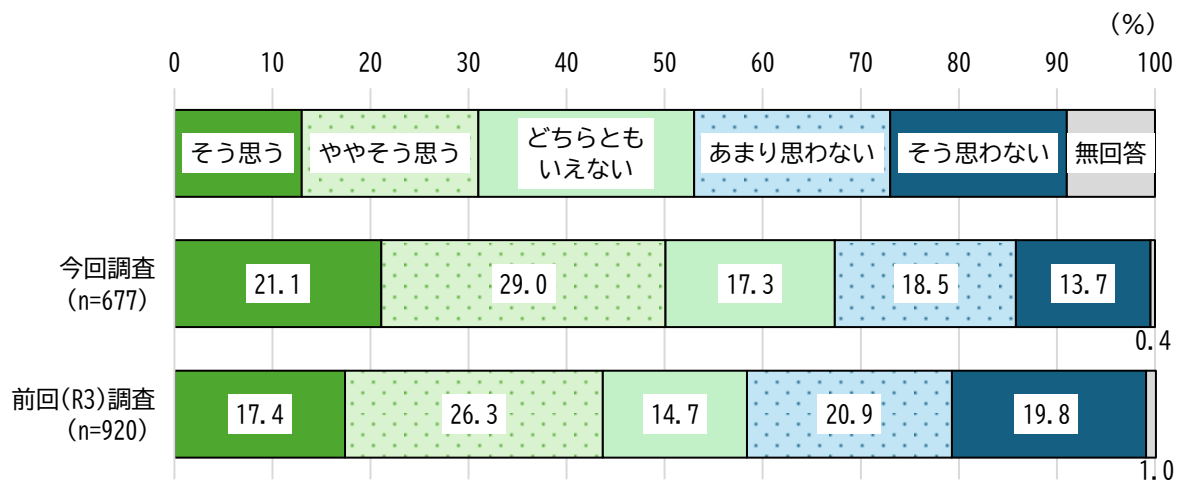
(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、子育てや教育を地域で行うものだと思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、全ての年代で5割を超えており、特に、20歳代（75.3%）、10歳代（68.2%）、30歳代（65.7%）の順に多くなっている。

6. 日常生活について

問 23 あなたは、お住まいの地域での買物が便利だと感じていますか（1つに○）。

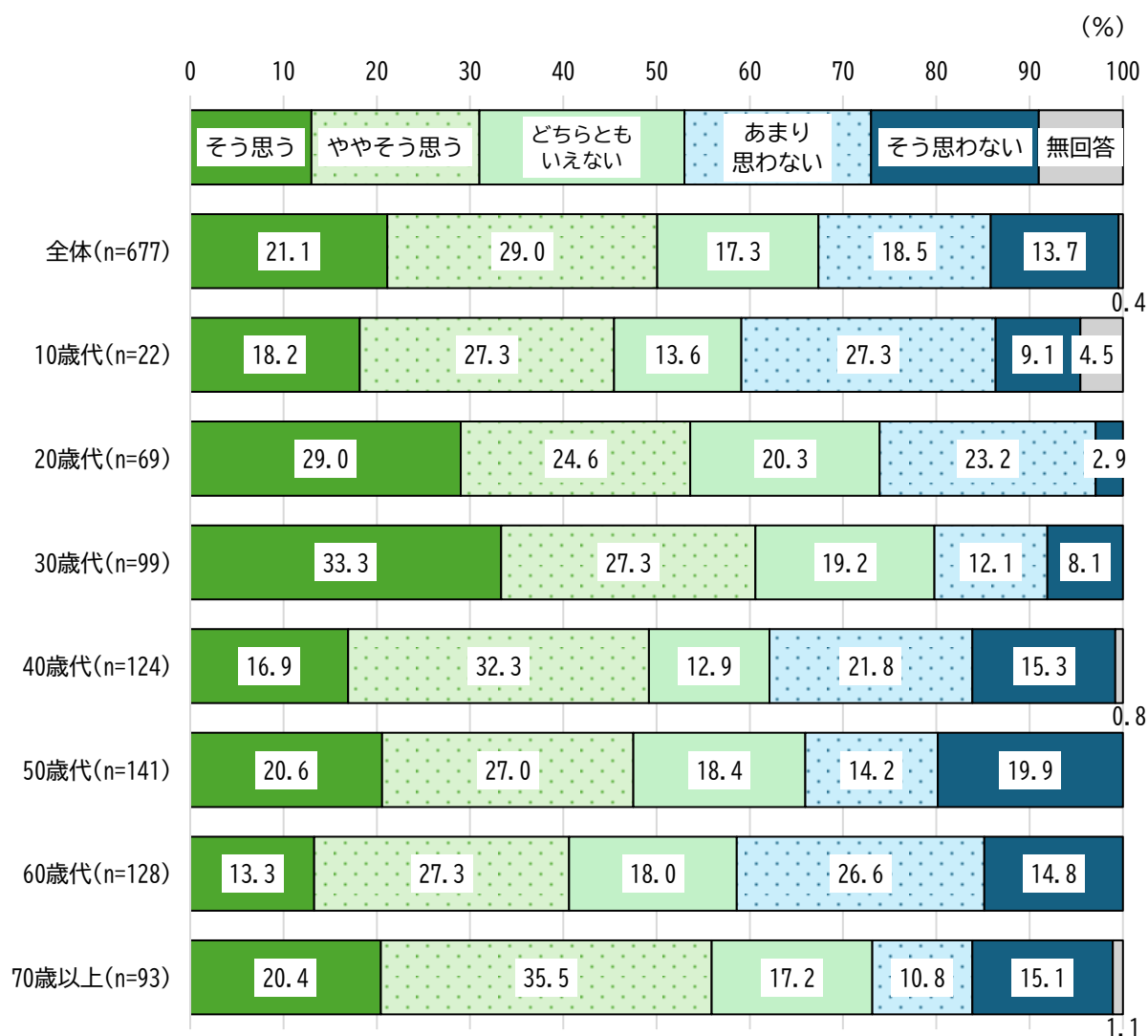
《全体》



居住地域での買物が便利だと感じている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、50.1%であり、一方、便利だと感じていない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）の割合は32.2%となっている。

前回調査と比べ、居住地域での買物が便利だと感じている市民が約6ポイント増加している。

《年代別》

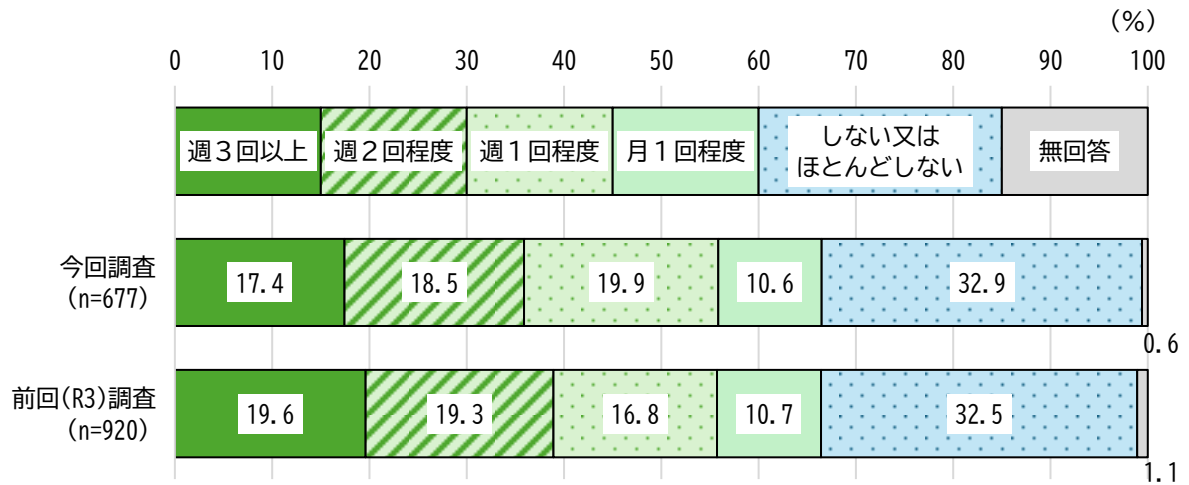


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、居住地での買物が便利だと感じている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、30歳代（60.6%）、70歳以上（55.9%）、20歳代（53.6%）の順に多くなっている。一方、便利だと感じていない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）と回答した市民の割合は、60歳代（41.4%）、40歳代（37.1%）、10歳代（36.4%）の順に多くなっている。

問 24 あなたは、白岡駅、新白岡駅周辺（駅から500m 圏内）でどのくらいの頻度で買物や飲食をしますか（1つに○）。

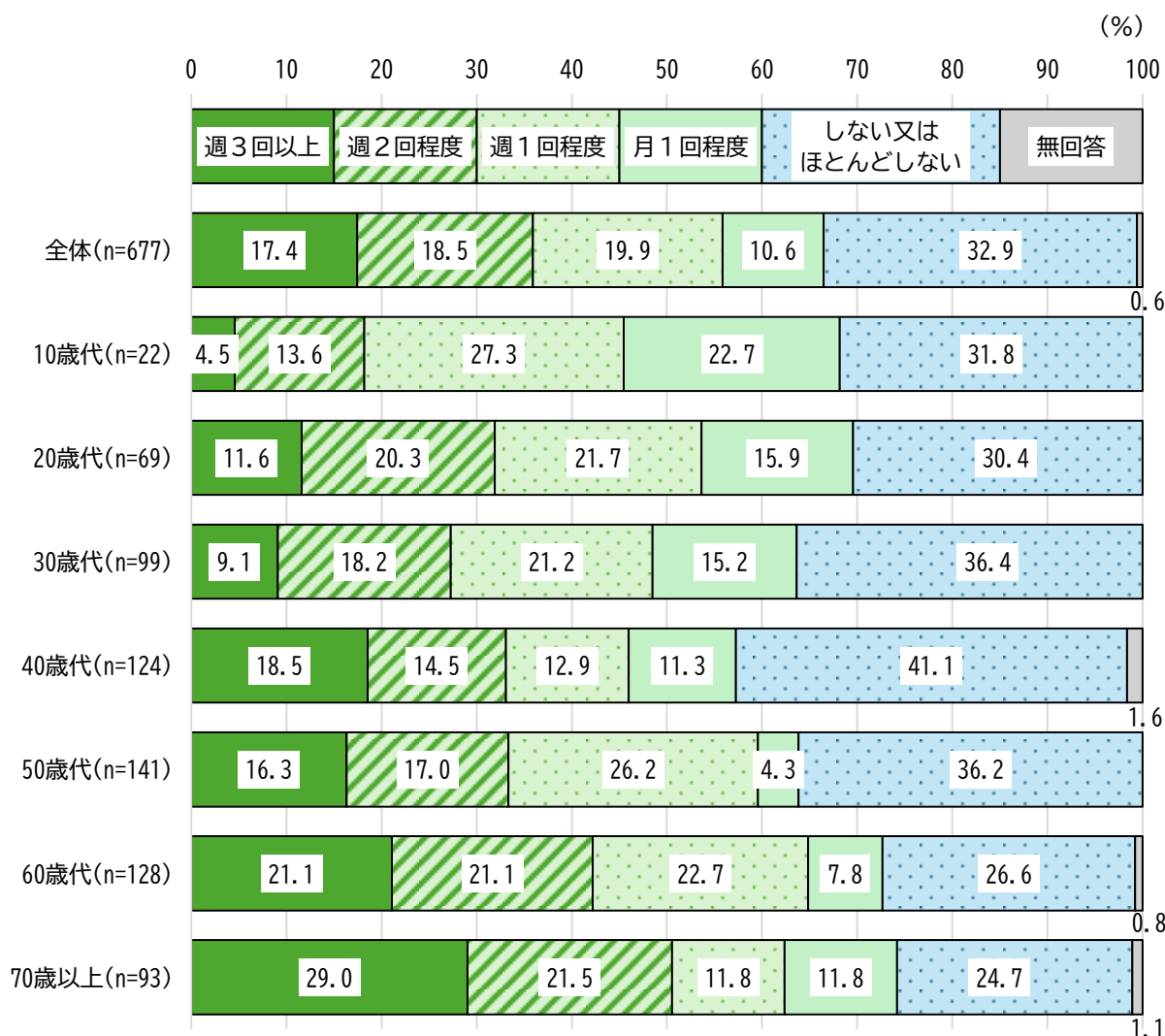
《全体》



白岡駅・新白岡駅周辺での買物や飲食の頻度について、「しない又はほとんどしない」が32.9%と最も多くなっている。一方、週1回以上（「週1回程度」、「週2回程度」、「週3回以上」の合計）の割合は、55.8%で半数を超えている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

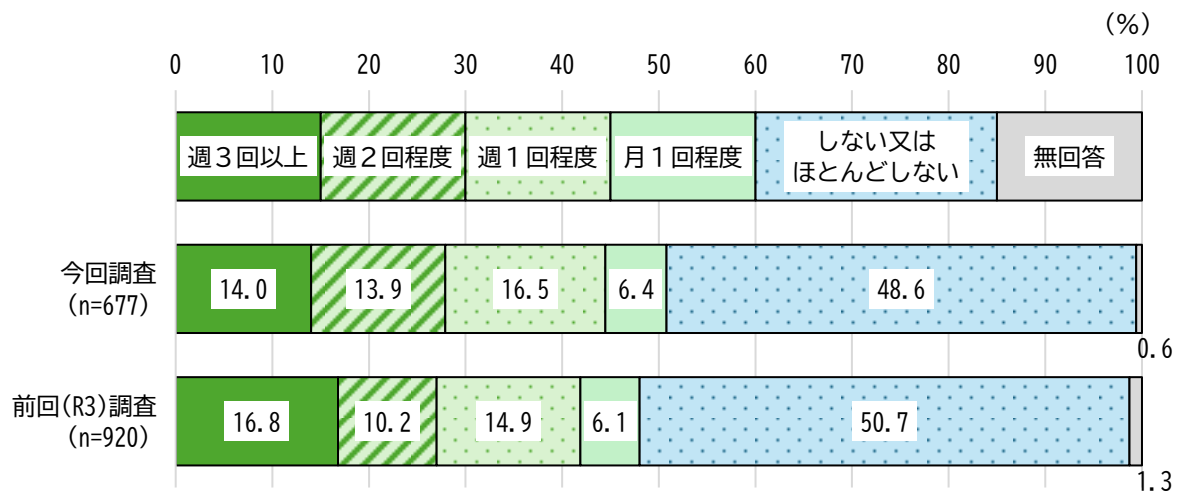


(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、週1回以上買物や飲食をする（「週1回程度」、「週2回程度」、「週3回以上」の合計）と回答した市民の割合は、50歳代以上が多くなっている。一方、40歳代では「しない又はほとんどしない」の割合が4割を超え、他の年代と比べ多くなっている。

問 25 あなたは、運動やスポーツをどの程度行っていますか（1つに○）。

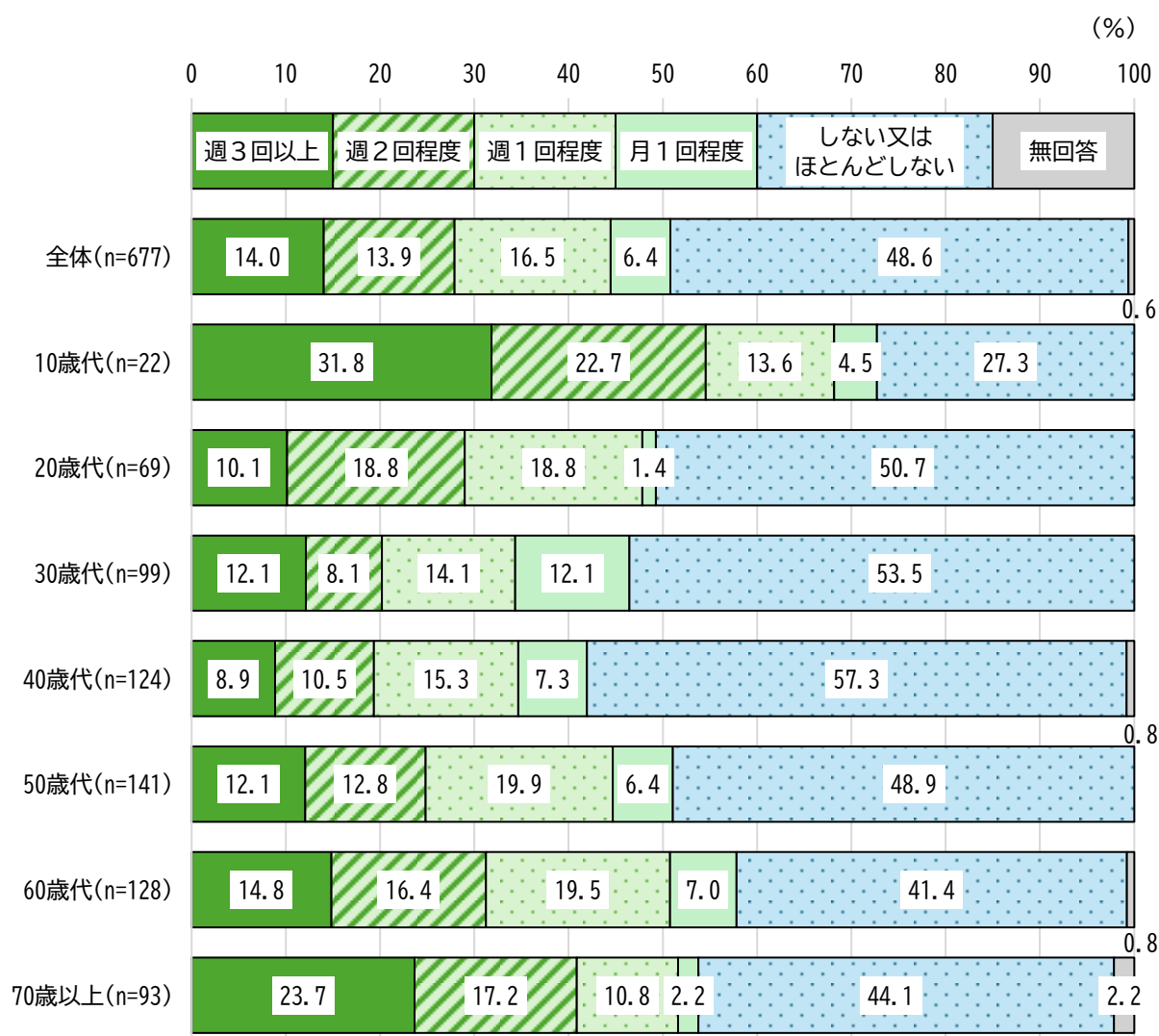
《全体》



運動やスポーツの頻度について、「しない又はほとんどしない」が48.6%と最も多くなっている。一方、週1回以上（「週1回程度」、「週2回程度」、「週3回以上」の合計）と回答した市民の割合は、44.4%となっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》



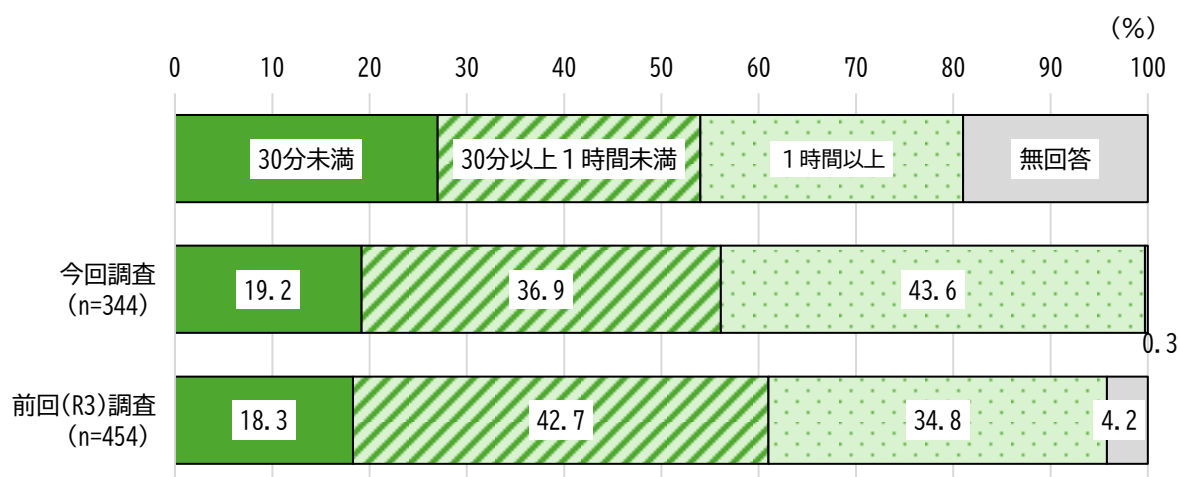
(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、「しない又はほとんどしない」と回答した市民の割合は20歳代から50歳代では半数程度かそれ以上となっている。一方、週1回以上（「週1回程度」、「週2回程度」、「週3回以上」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（68.1%）が最も多く、70歳以上（51.7%）、60歳代（50.7%）の順に多い。

問 26 【問25で「1. 週3回以上」または「2. 週2回程度」または「3. 週1回程度」または「4. 月1回程度」を選択した方】あなたは、運動やスポーツの1回当たりの平均時間はどの程度ですか。また、運動やスポーツをどの程度継続して行っていますか（それぞれ1つに○）。

【平均時間】

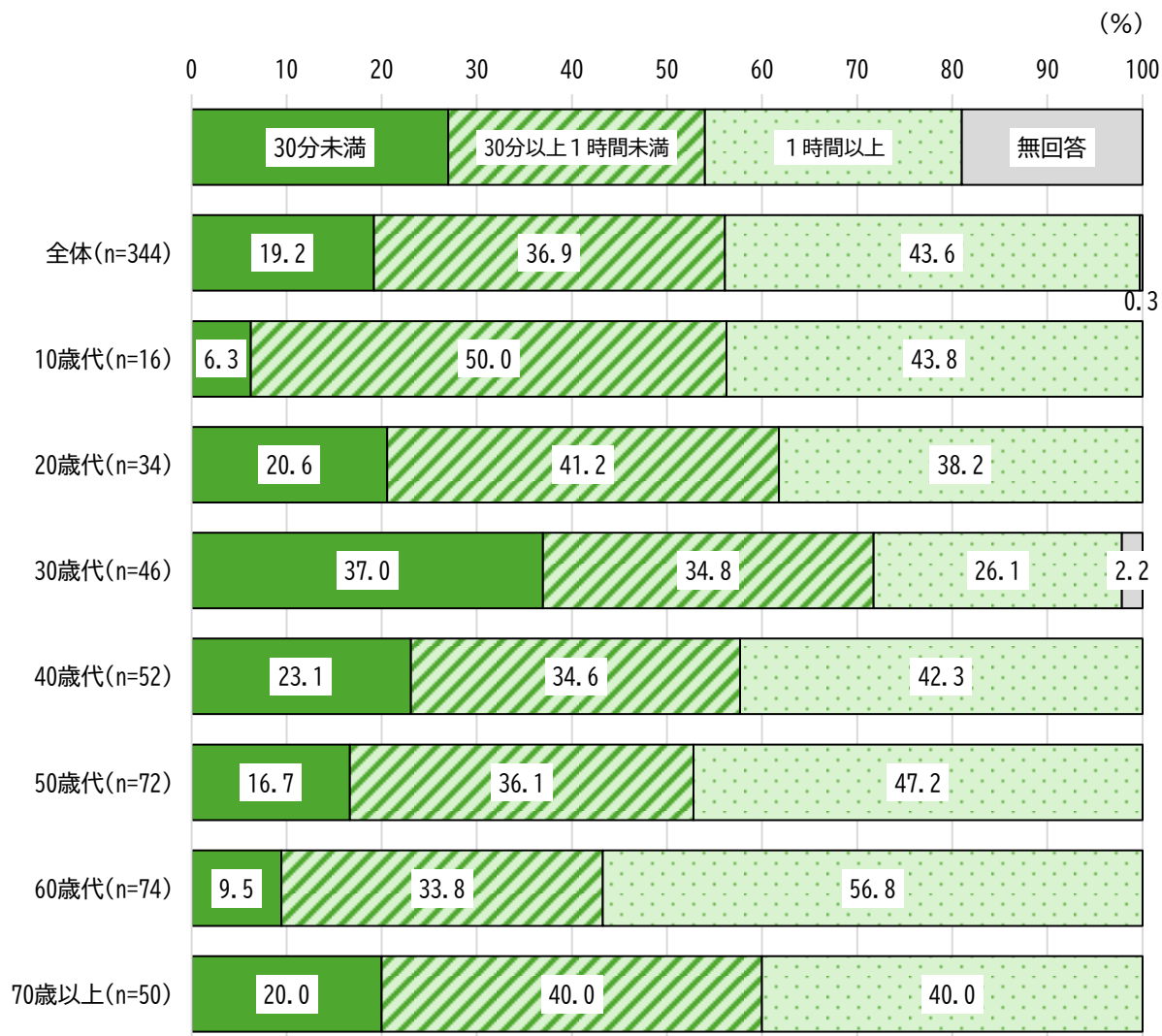
《全体》



運動をする（「週3回以上」または「週2回程度」または「週1回程度」または「月1回程度」）と回答した市民のうち、1回当たり「1時間以上」運動する市民の割合は43.6%と最も多く、次いで、「30分以上1時間未満」（36.9%）、「30分未満」（19.2%）となっている。

前回調査と比べ、1回当たり「1時間以上」運動する割合が約9ポイント増加している。

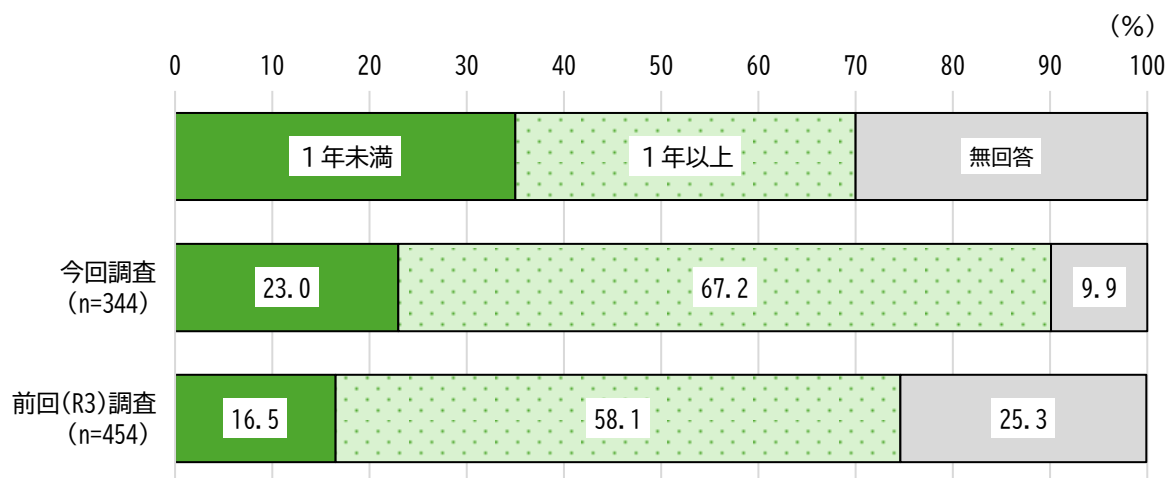
《年代別》



(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、運動をする（「週3回以上」または「週2回程度」または「週1回程度」または「月1回程度」と回答した市民のうち、1回当たり「1時間以上」運動すると回答した市民の割合は、60歳代（56.8%）が最も多い。一方、30歳代は「30分未満」（37.0%）が最も多くなっている。

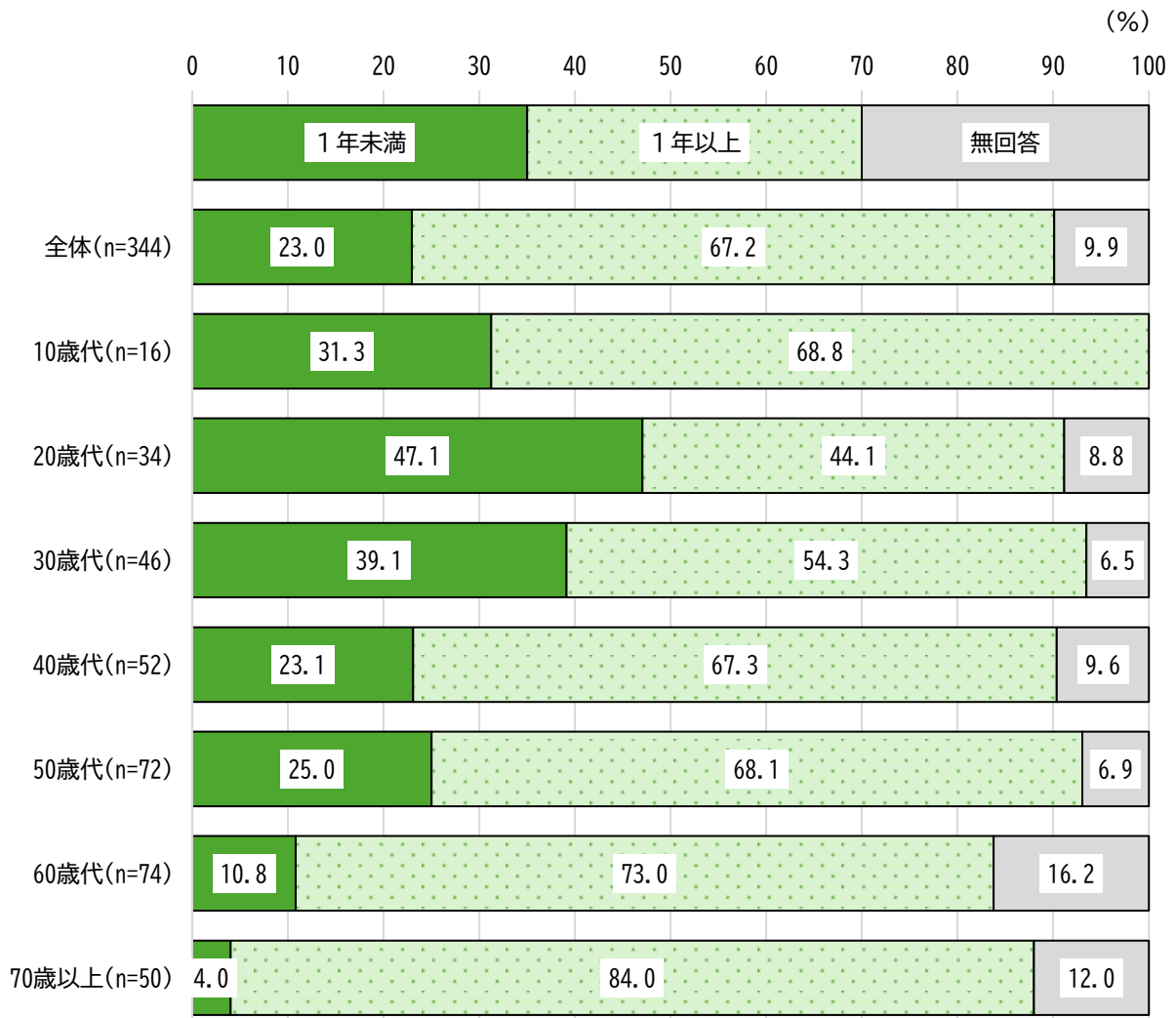
【継続期間】
《全体》



運動をする（「週3回以上」または「週2回程度」または「週1回程度」または「月1回程度」）と回答した市民のうち、1年以上運動を継続していると回答した市民の割合は67.2%となっている。

前回調査と比べ、1年以上運動を継続している割合が約9ポイント増加している。

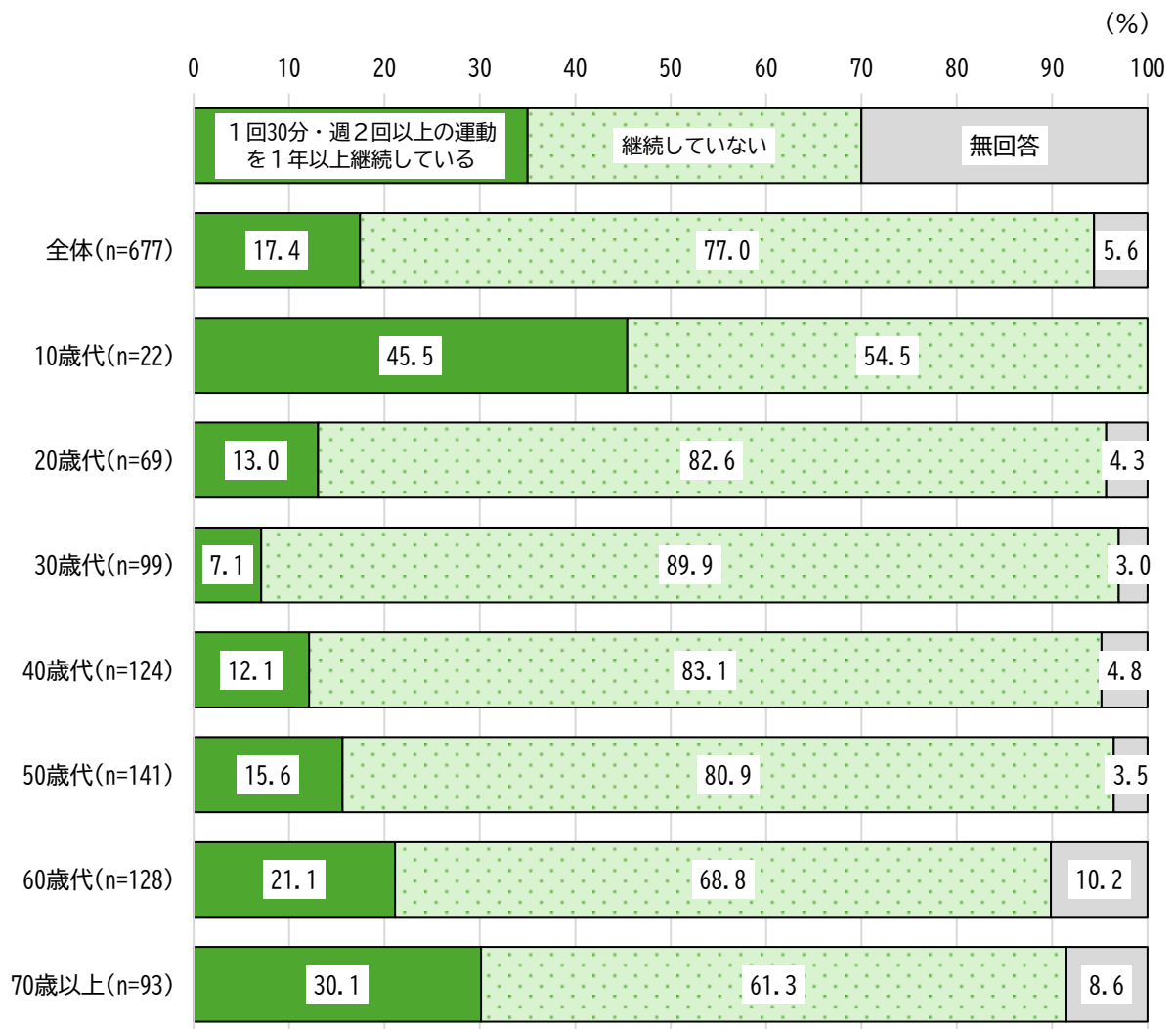
《年代別》



(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、1年以上運動を継続していると回答した市民の割合は、20歳代を除いて5割を超えており、特に、70歳代（84.0%）と60歳代（73.0%）が多くなっている。

【一定程度の運動やスポーツの継続状況】
《年代別》

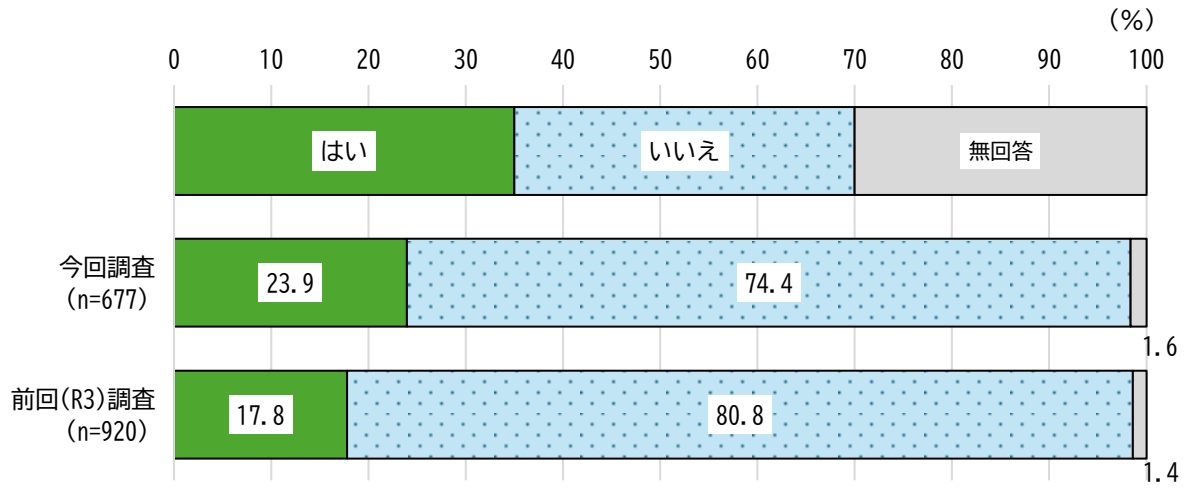


(注) 0.0%は非表示とする。

「1回30分・週2回以上の運動を1年以上継続している」と回答した市民の割合は、10歳代(45.5%)が最も多く、次いで、70歳以上(30.1%)、60歳代(21.1%)となっている。一方、30歳代は1割未満で最も少ない。

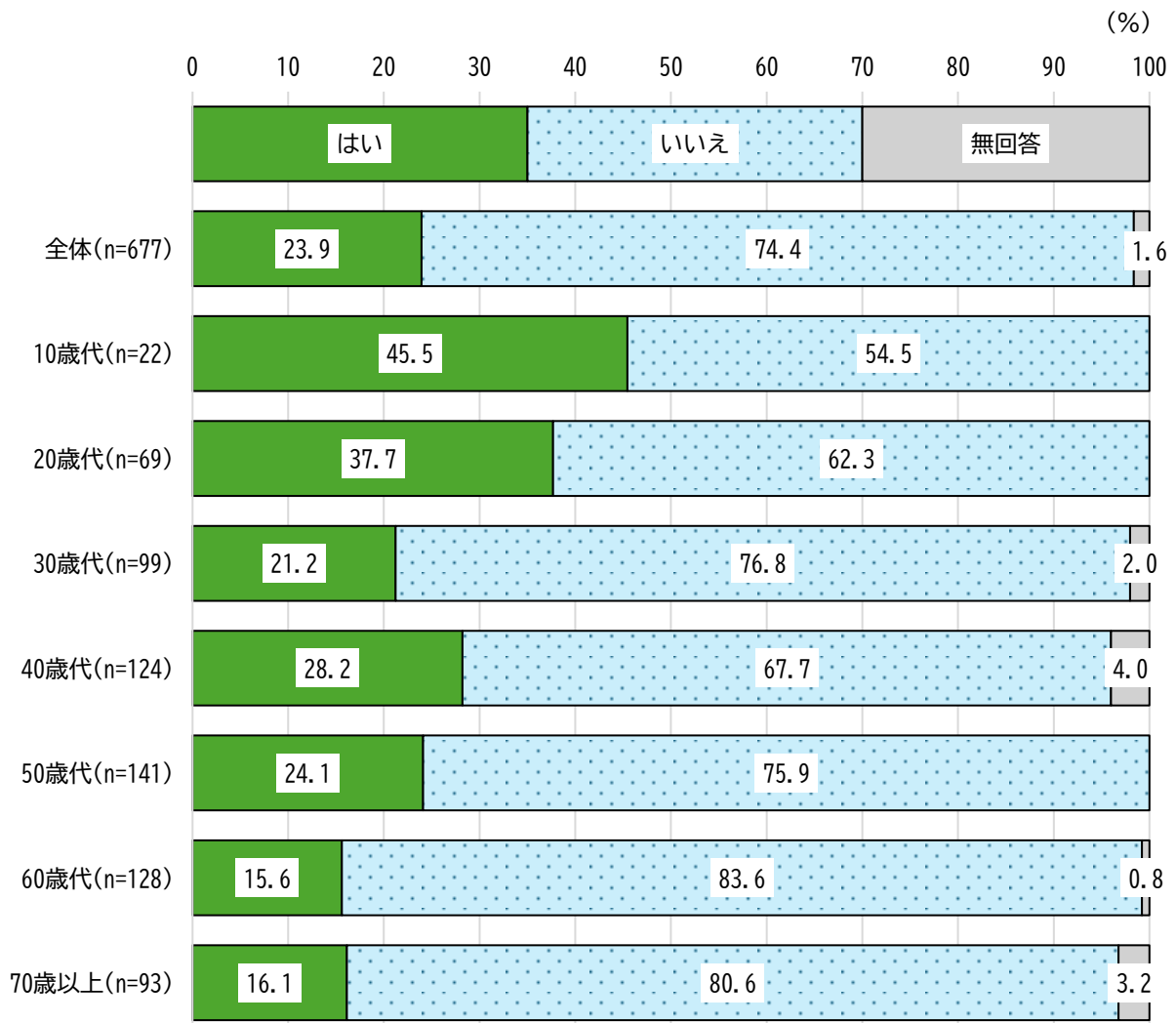
問 27 あなたは、過去1年間で外国人の方とコミュニケーション(挨拶や世間話、道案内等)がありましたか(1つに○)。

《全体》



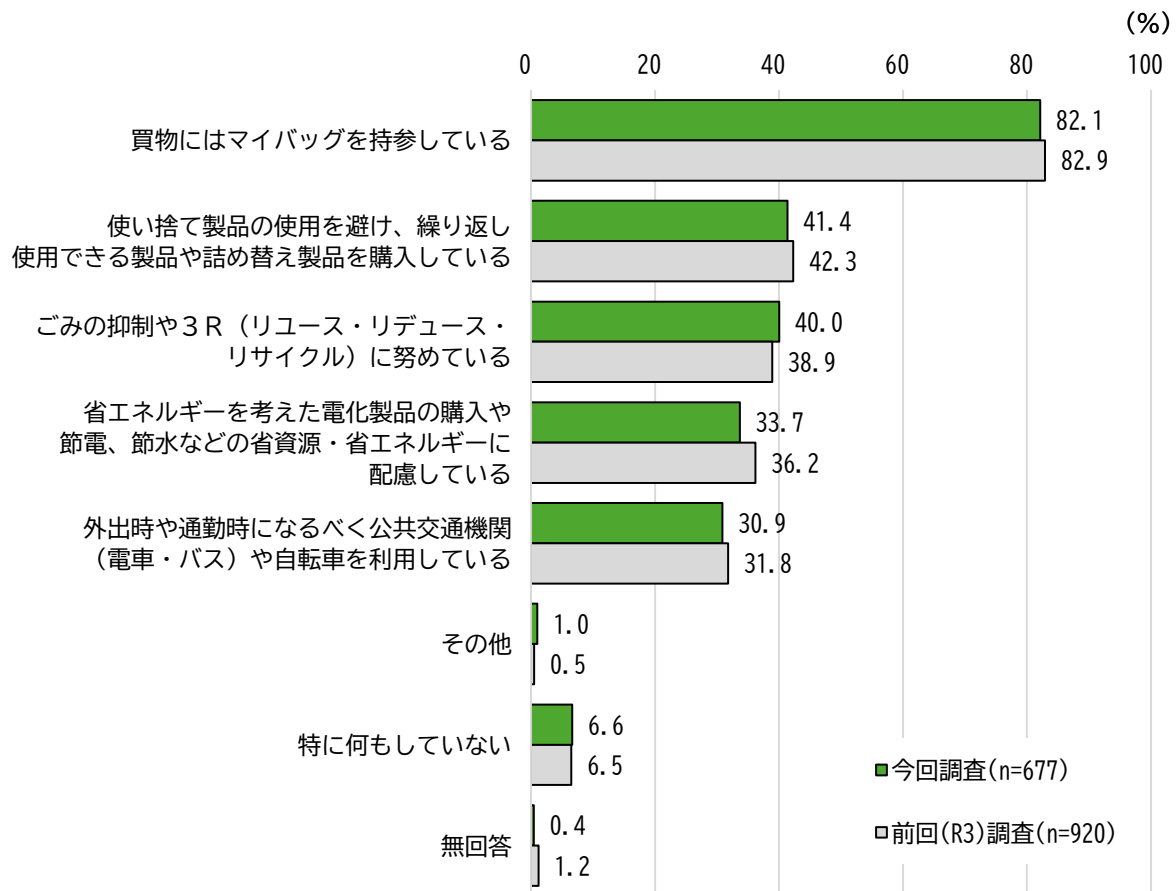
過去1年間で外国人とコミュニケーションがあったと回答した市民の割合は、23.9%であり、前回調査と比べ、約6ポイント増加している。

《年代別》



年代別にみると、過去1年間で外国人とコミュニケーションがあったと回答した市民の割合は、10歳代（45.5%）が最も多く、次いで、20歳代（37.7%）、40歳代（28.2%）となっている。

問 28 あなたは、環境に配慮した行動に取り組んでいますか（当てはまるもの全てに○）。
《全体》



環境に配慮した行動への取り組みについて、「買物にマイバックを持参している」（82.1%）が最も多く、次いで「使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している」（41.4%）、「ごみの抑制や3R（リユース・リデュース・リサイクル）に努めている」（40.0%）となっている。

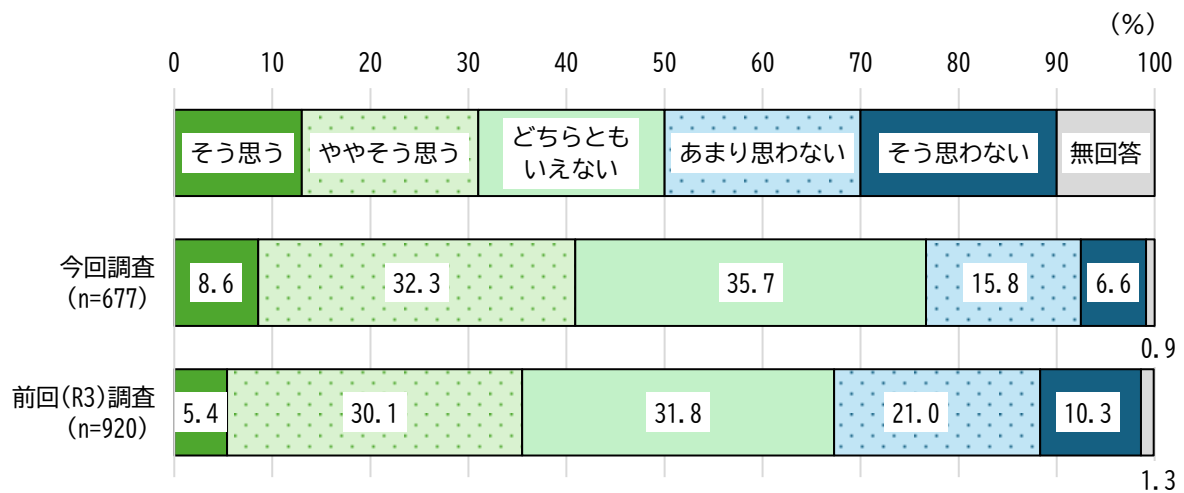
前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

	買物にはマイバッグを持参している	製品や詰め替え製品を購入している	使い捨て製品の使用を避ける	ごみの抑制や3R（リサイクル・リデュース・リユース）に努めている	水などの配源・省エネ	化学製品の購入や省エネ	省エネの購入や省エネ	バス（公共交通機関）や自転車を利用している	外出時や通勤時になるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車を利用している	その他	特に何もしていない	無回答
全体(n=677)	82.1		41.4	40.0	33.7		30.9	1.0	6.6	0.4		
10歳代(n=22)	50.0		31.8	31.8	13.6		59.1	0.0	18.2	0.0		
20歳代(n=69)	73.9		40.6	31.9	24.6		47.8	0.0	2.9	0.0		
30歳代(n=99)	85.9		40.4	35.4	22.2		31.3	0.0	6.1	0.0		
40歳代(n=124)	77.4		37.1	33.9	26.6		20.2	1.6	12.1	0.8		
50歳代(n=141)	88.7		44.0	41.1	38.3		25.5	2.1	4.3	0.0		
60歳代(n=128)	86.7		47.7	51.6	50.0		25.8	1.6	4.7	0.8		
70歳以上(n=93)	81.7		37.6	43.0	37.6		39.8	0.0	6.5	1.1		

年代別にみると、10歳代では「外出時や通勤時になるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車を利用している」と回答した市民の割合が59.1%で最も多く、その他の年代では、「買物にはマイバッグを持参している」の割合が最も多くなっている。

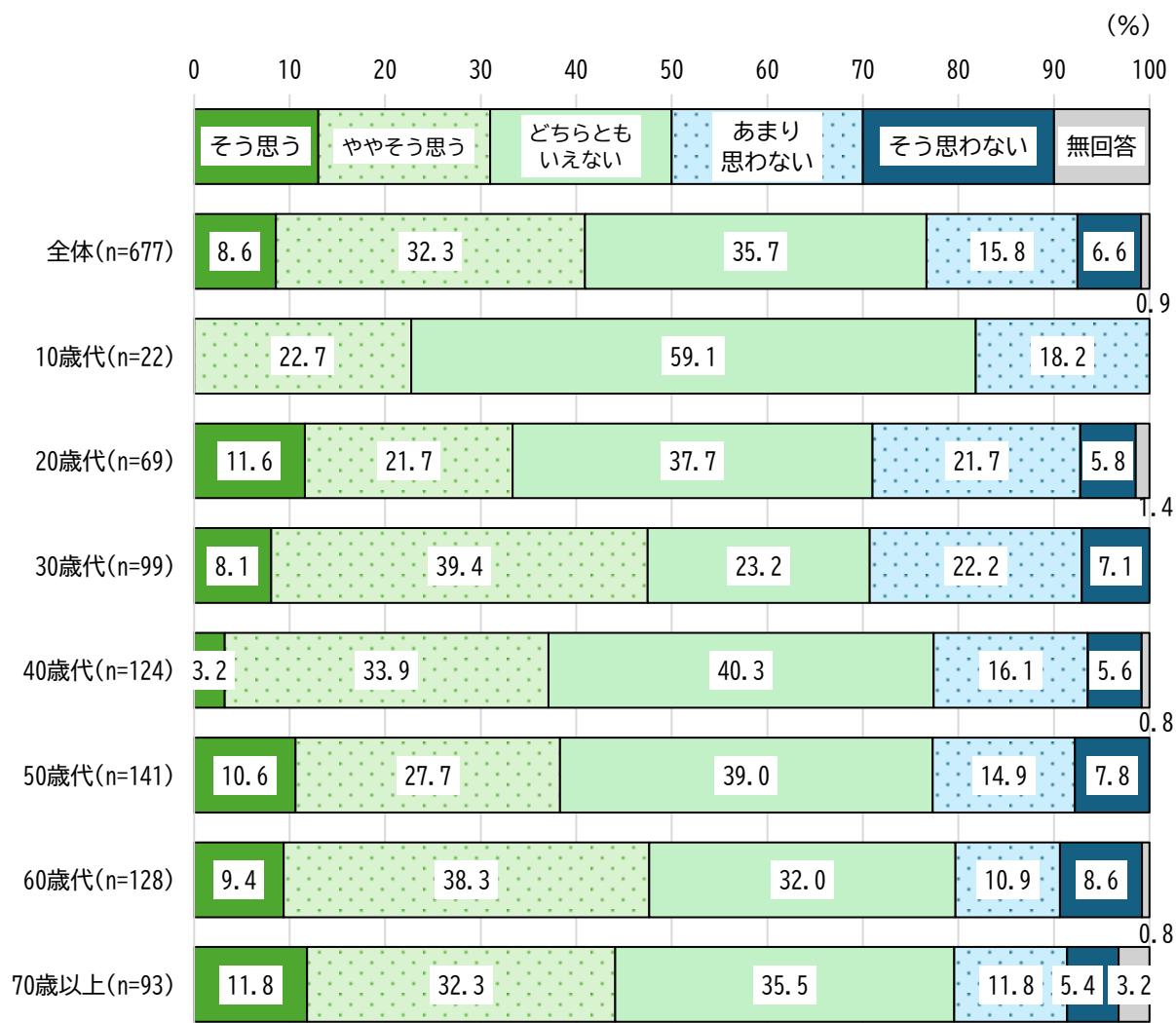
問 29 あなたは、御自身にとって必要な市の情報が入手できていると思いますか(1つに○)。
《全体》



必要な市の情報を入手できていると思う(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)と回答した市民の割合は、40.9%となっている。一方、必要な市の情報を入手できていないと思う(「あまり思わない」と「そう思わない」の合計)と回答した市民の割合は、22.4%となっている。

前回調査と比べ、必要な市の情報を入手できている(35.5%)の割合が約5ポイント増加している。

《年代別》



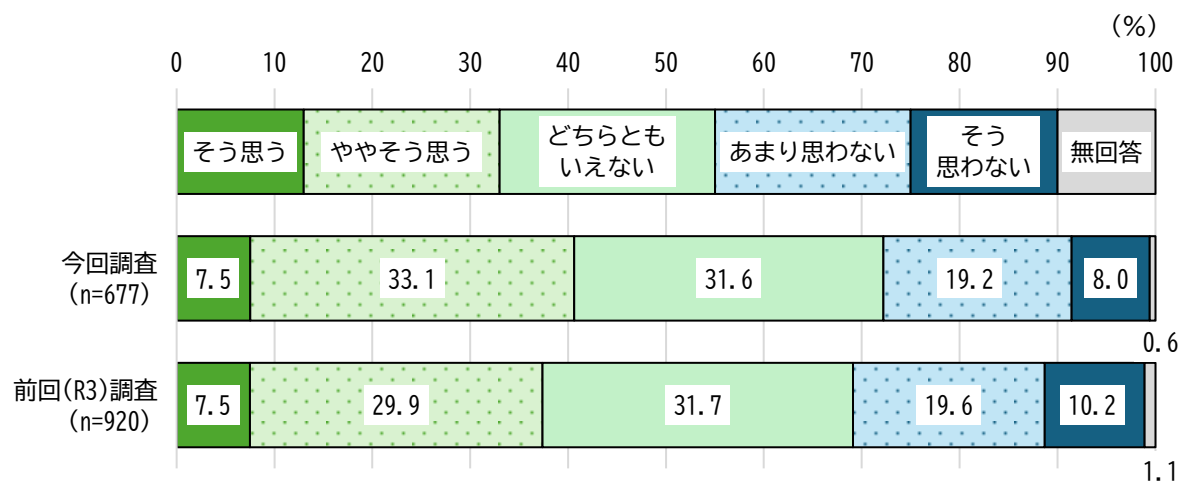
(注) 0.0%は非表示とする。

年代別にみると、必要な市の情報を入手できていると思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、30歳代（47.5%）と60歳代（47.7%）で多くなっている。一方、30歳代では、必要な市の情報を入手できていないと思う（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）と回答した割合（29.3%）も他の年代と比べ多い。また、10歳代では、「どちらともいえない」が半数以上を占めている。

7. 白岡市について

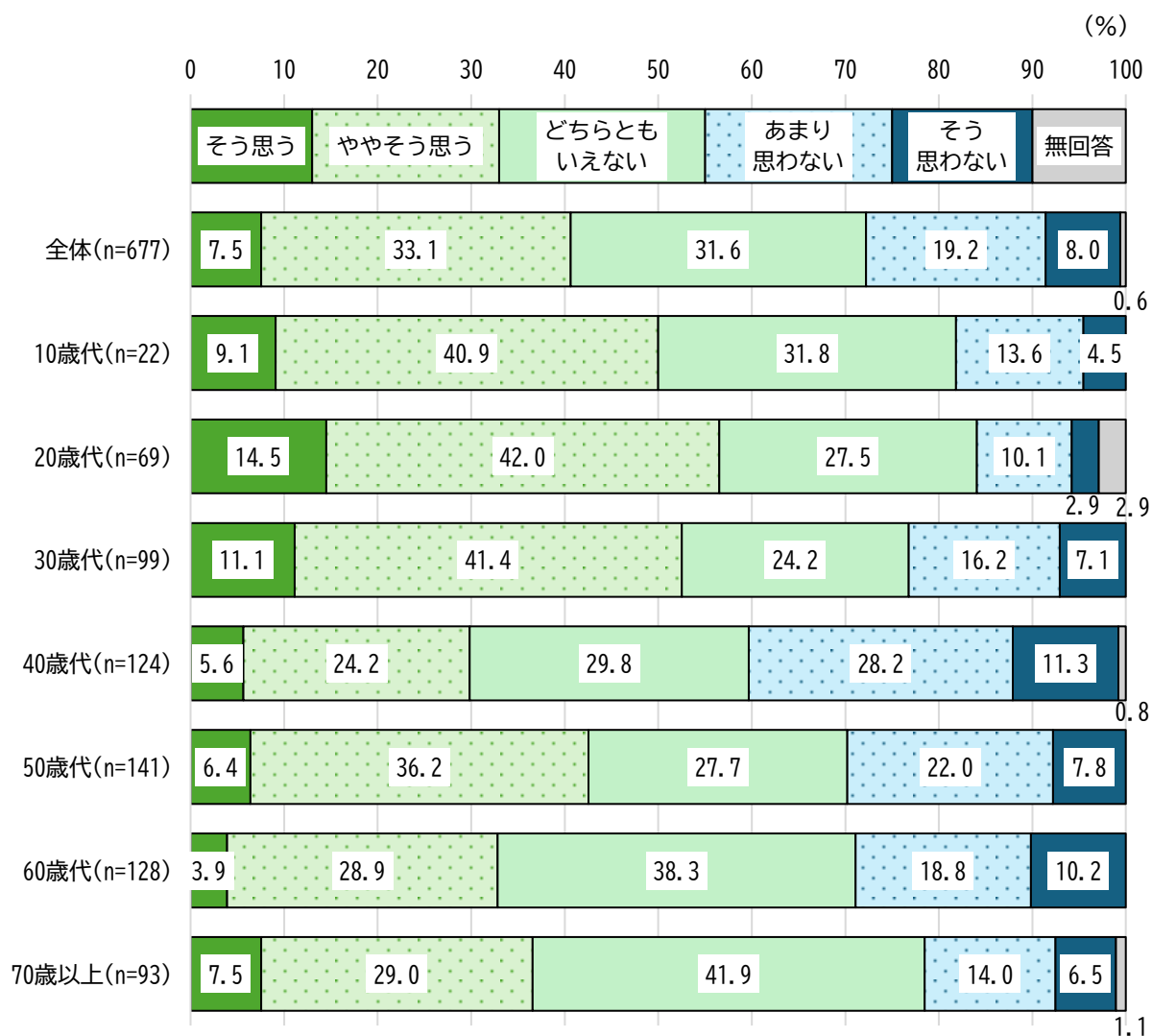
問 30 あなたは、白岡市が魅力のあるまちだと思いますか（1つに○）。

《全体》



白岡市が魅力あるまちだと思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、40.6%であり、前回調査（37.4%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》

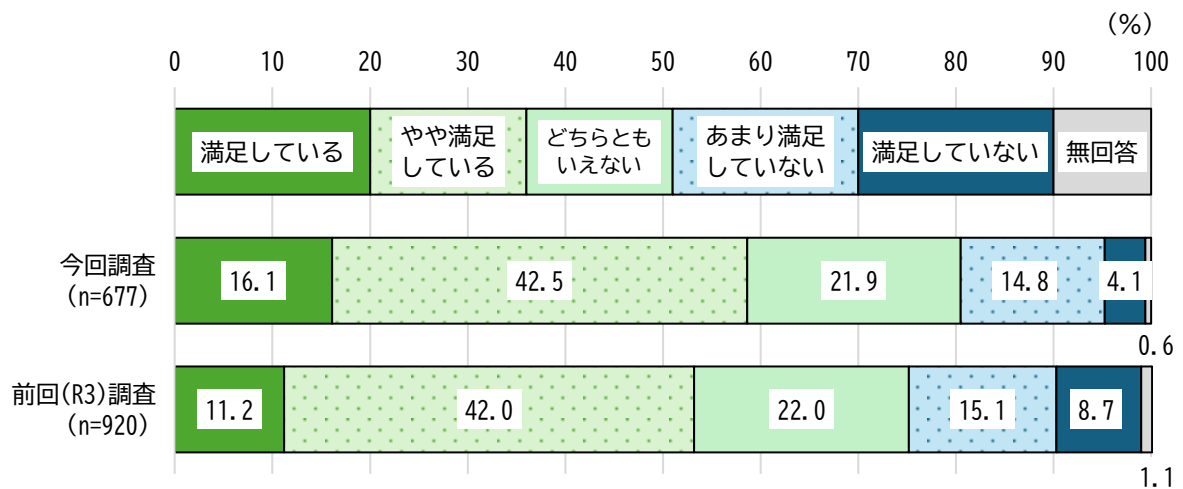


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市が魅力あるまちだと思う（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代から30歳代で5割を超え、他の年代と比べ多くなっている。一方、40歳代（29.8%）では最も少ない。

問 31 あなたは、白岡市の居住環境に満足していますか（1つに○）。

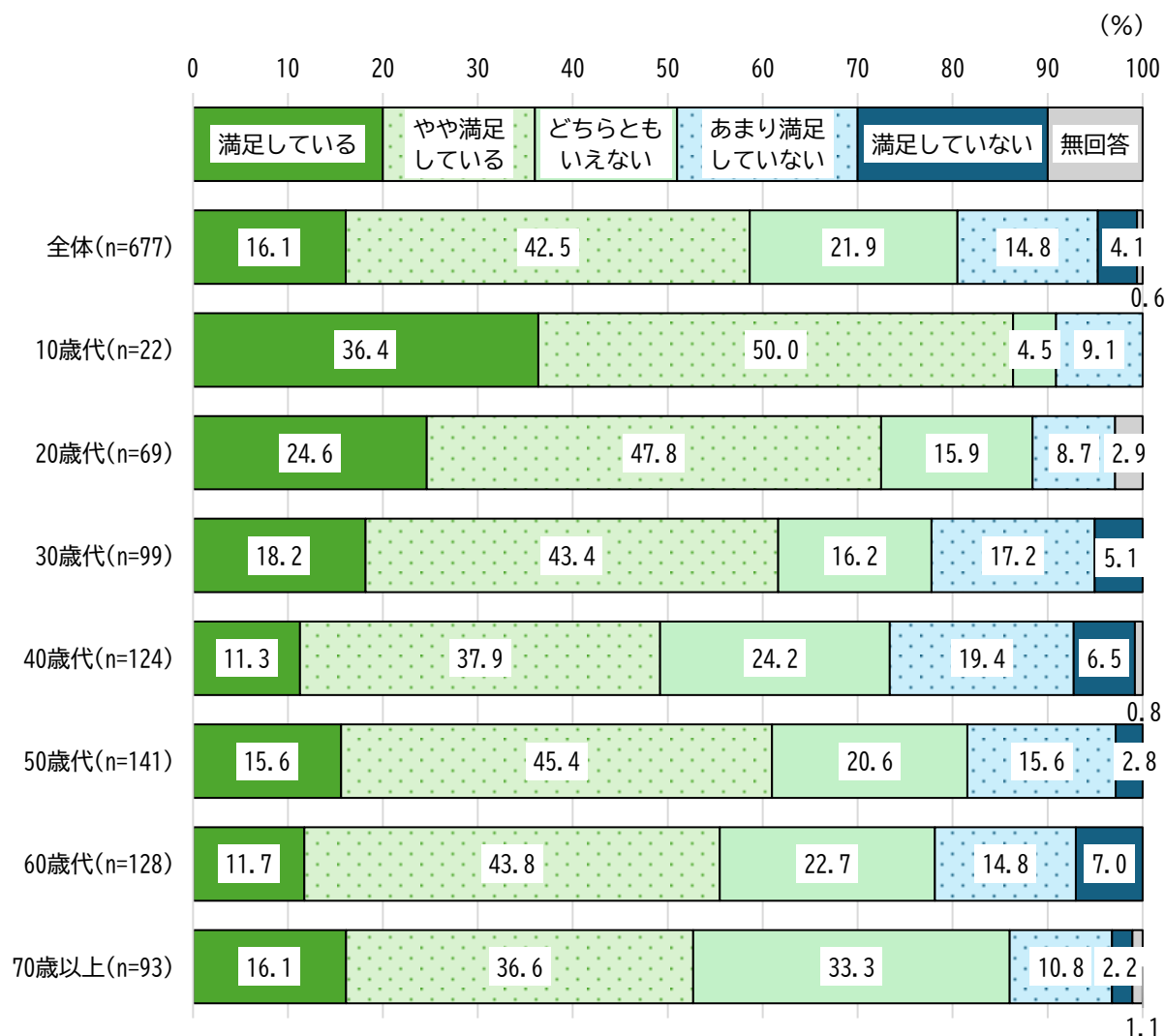
《全体》



白岡市の居住環境に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、58.6%となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、18.9%となっている。

前回調査と比べ、白岡市の居住環境に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した割合（53.2%）が約5ポイント増加している。

《年代別》

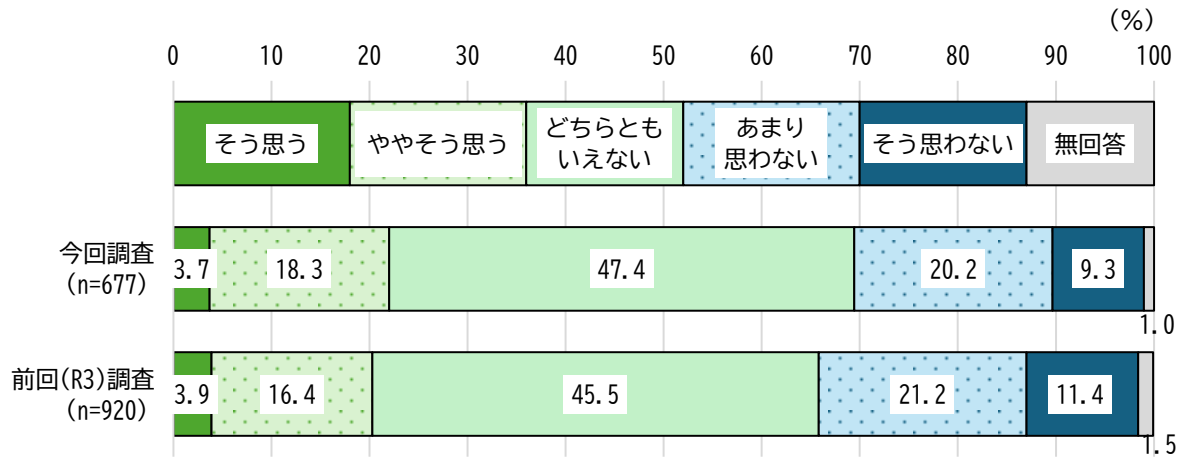


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市の居住環境に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（86.4%）が最も多く、次いで、20歳代（72.4%）、30歳代（61.6%）となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、40歳代（25.9%）と60歳代（21.8%）が多い。また、70歳代は、「どちらでもない」（33.3%）が他の年代と比べ多くなっている。

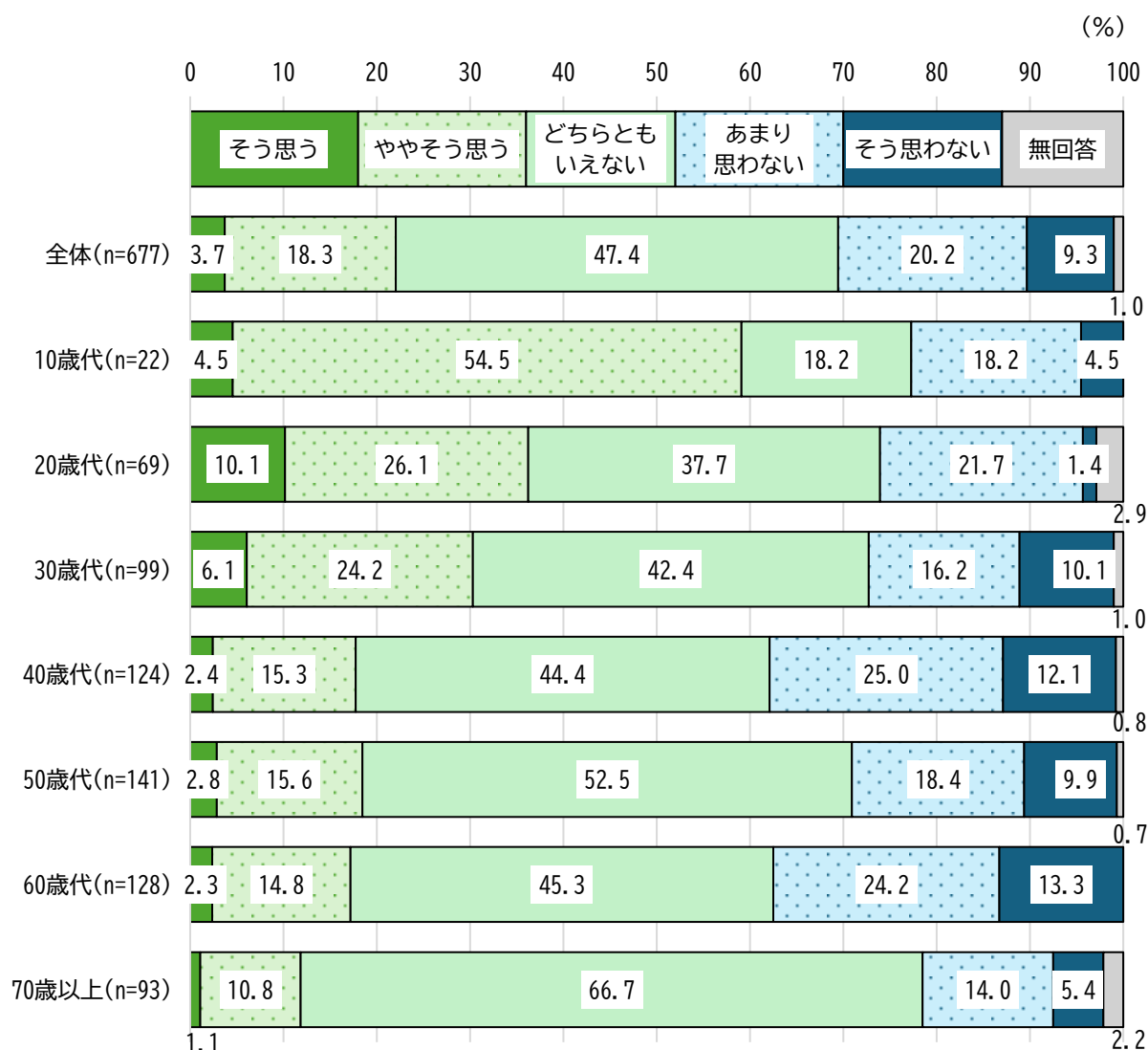
問 32 あなたは、白岡市は、生涯にわたって学習できる環境が充実していると思いますか（1つに○）。

《全体》



白岡市は生涯にわたる学習環境が充実している（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、22.0%であり、前回調査（20.3%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》

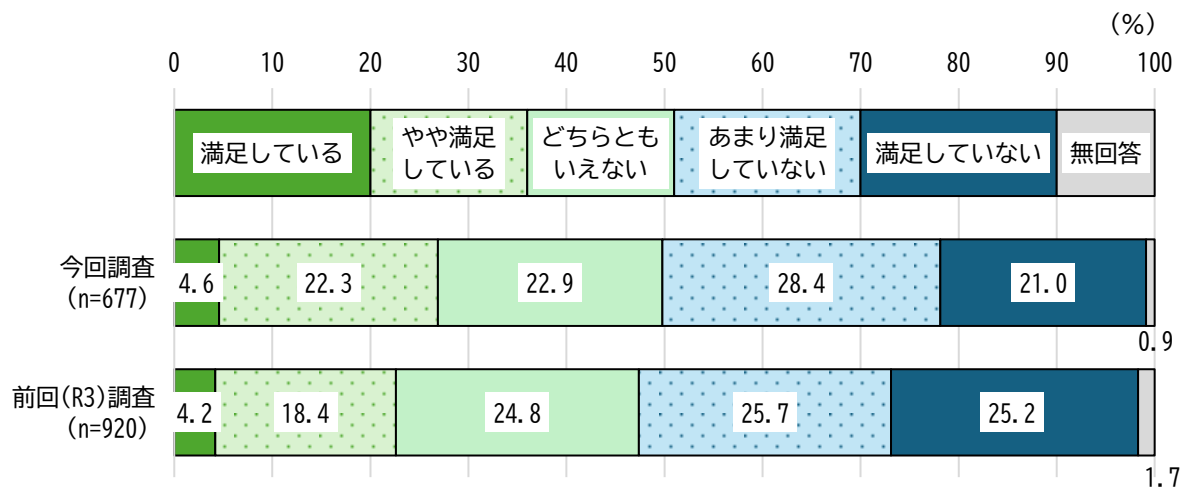


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市は生涯にわたる学習環境が充実している（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（59.0%）が最も多く、その他の年代では4割以下となっている。また、40歳代（37.1%）と60歳代（37.5%）は充実していない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）という回答が他の年代と比べて多く、70歳代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。

問 33 あなたは、白岡市の道路整備状況に満足していますか（1つに○）。

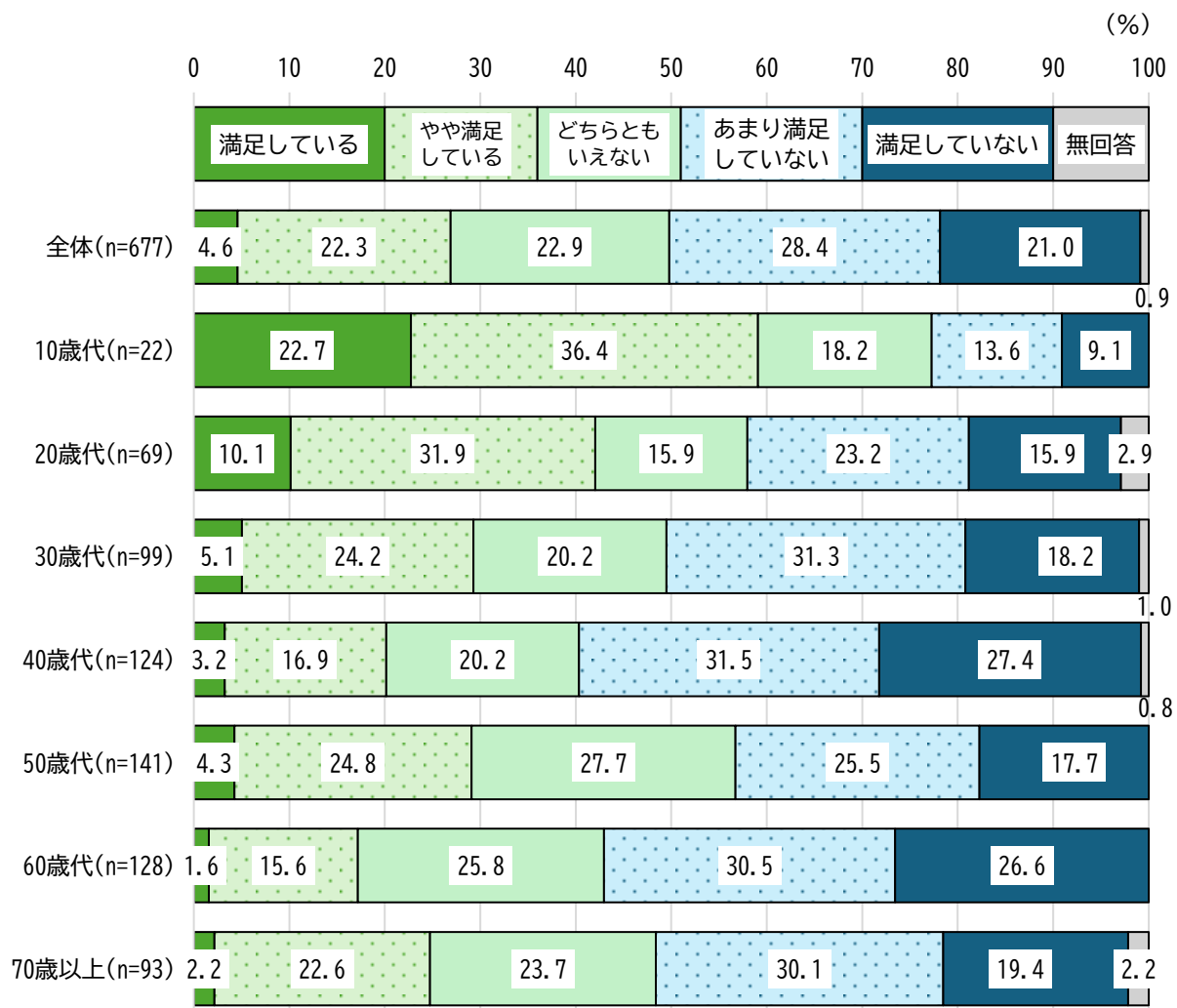
《全体》



白岡市の道路整備状況に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、26.9%となっている。一方で、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、49.9%となっており、否定的な回答割合が多くなっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》



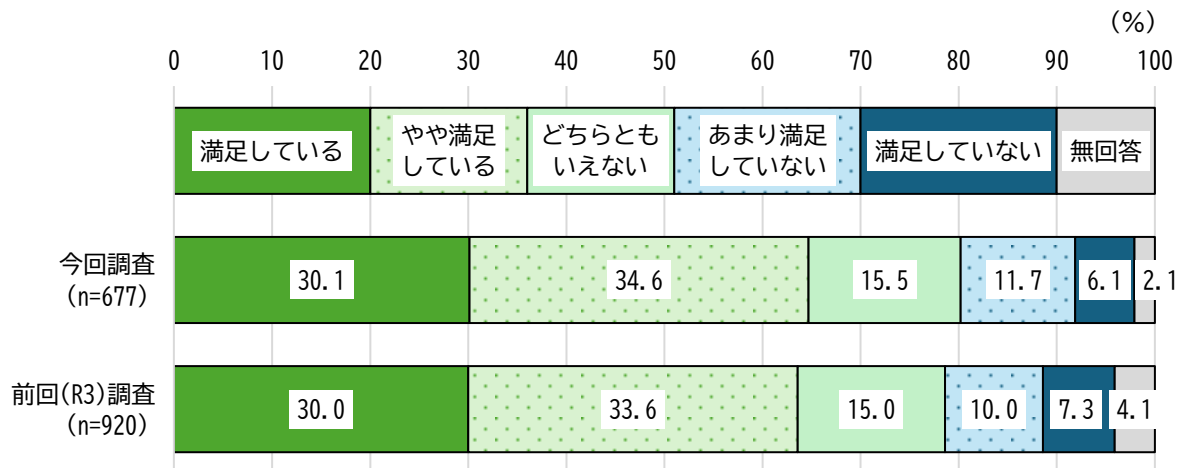
(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市の道路整備状況に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（59.1%）が最も多く、次いで、20歳代（42.0%）、30歳代（29.3%）となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、40歳代（58.9%）と60歳代（57.1%）が多くなっている。

問 34 あなたは、白岡市の公共交通（鉄道・バス・タクシー・のりあい交通）に満足していますか（1つに○）。

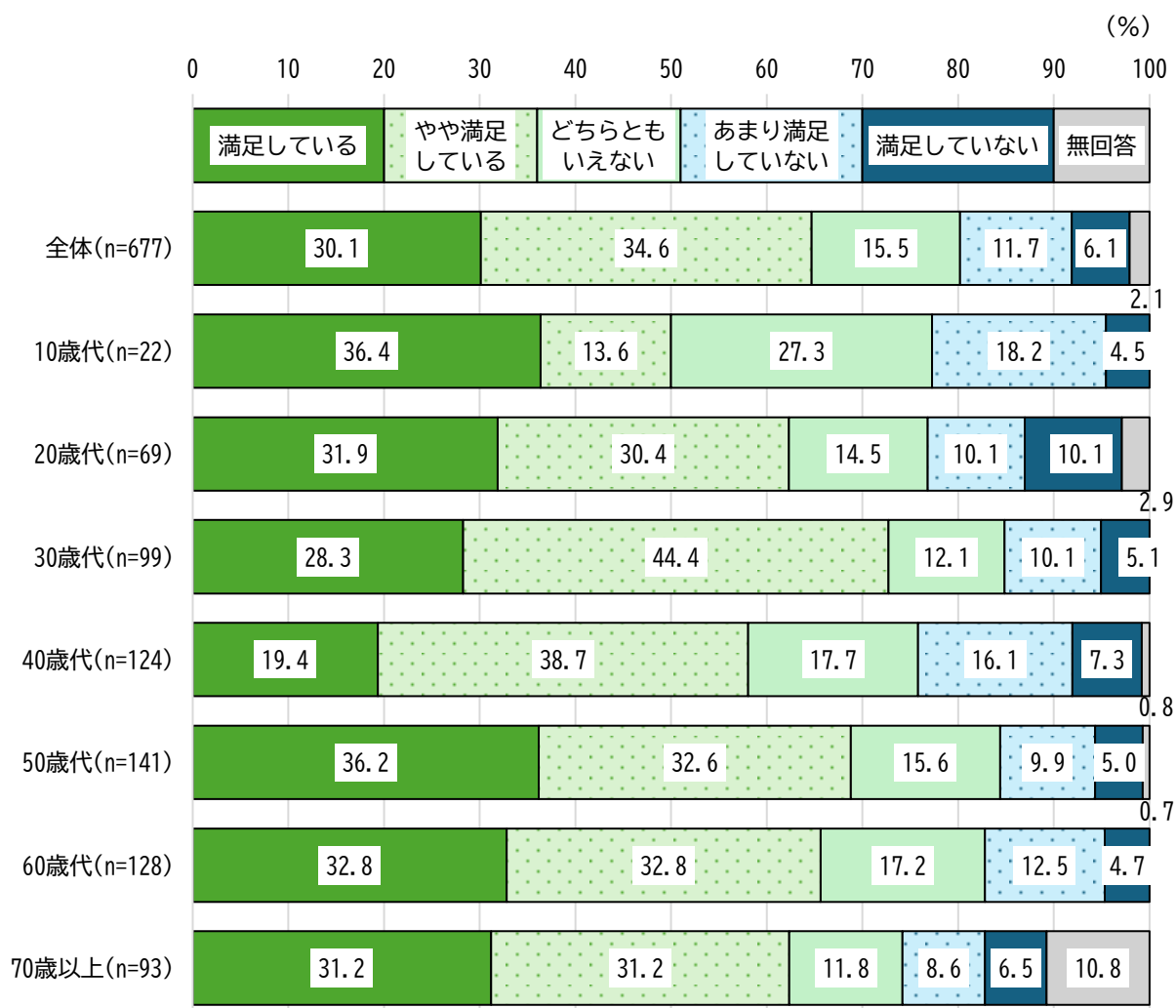
【鉄道】

《全体》



白岡市の公共交通に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、64.7%であり、前回調査（63.6%）と比べ、同程度となっている。

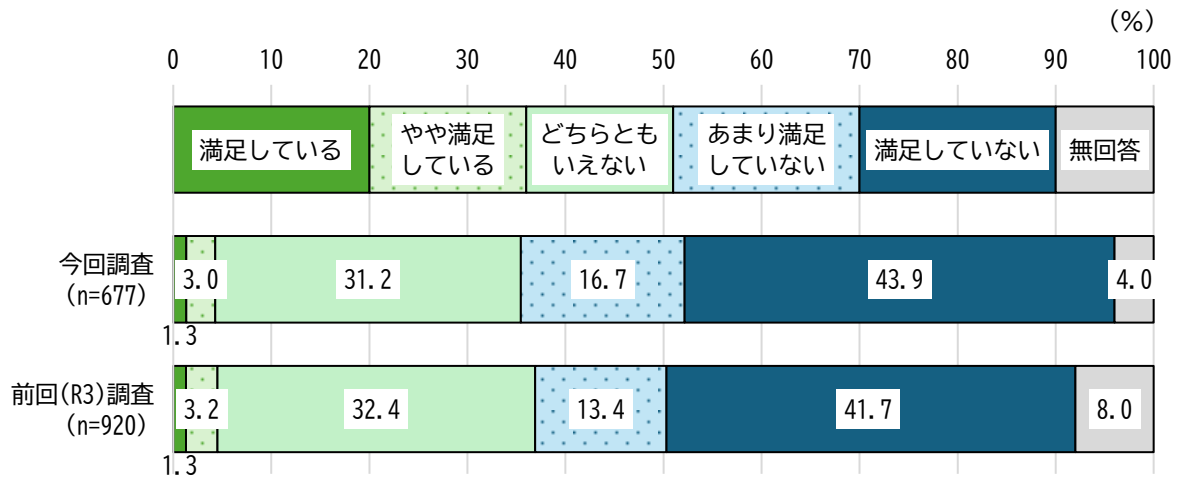
《年代別》



(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市の公共交通に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、全ての年代で5割を超えているが、30歳代と40歳代では「満足している」の割合が3割未満で、他の年代と比べ少なくなっている。

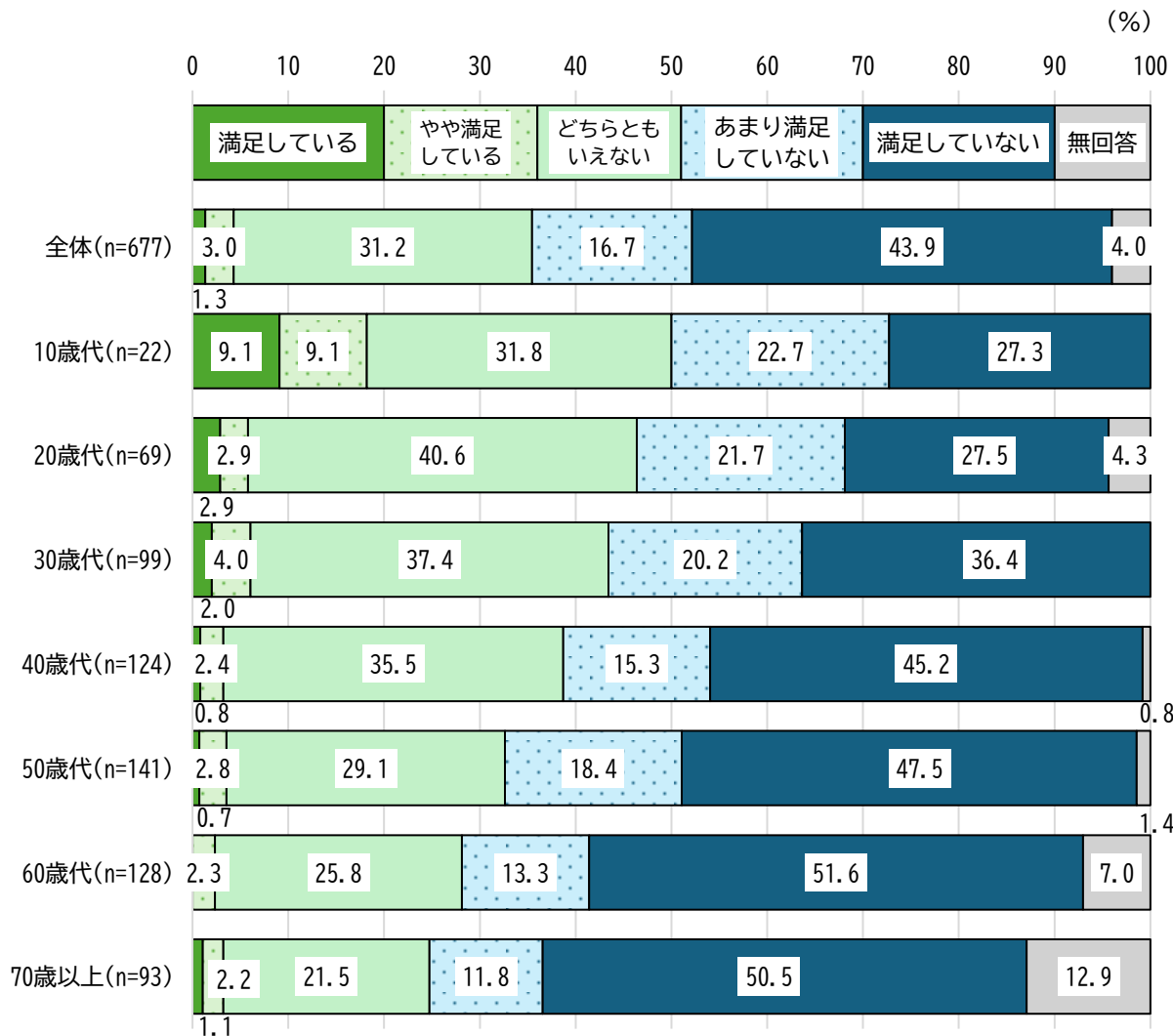
【バス】
《全体》



白岡市のバスに満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、4.3%となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は60.6%となっており、否定的な回答割合が多くなっている。

前回調査(55.1%)と比べ、白岡市のバスに満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）の割合が約5ポイント増加している。

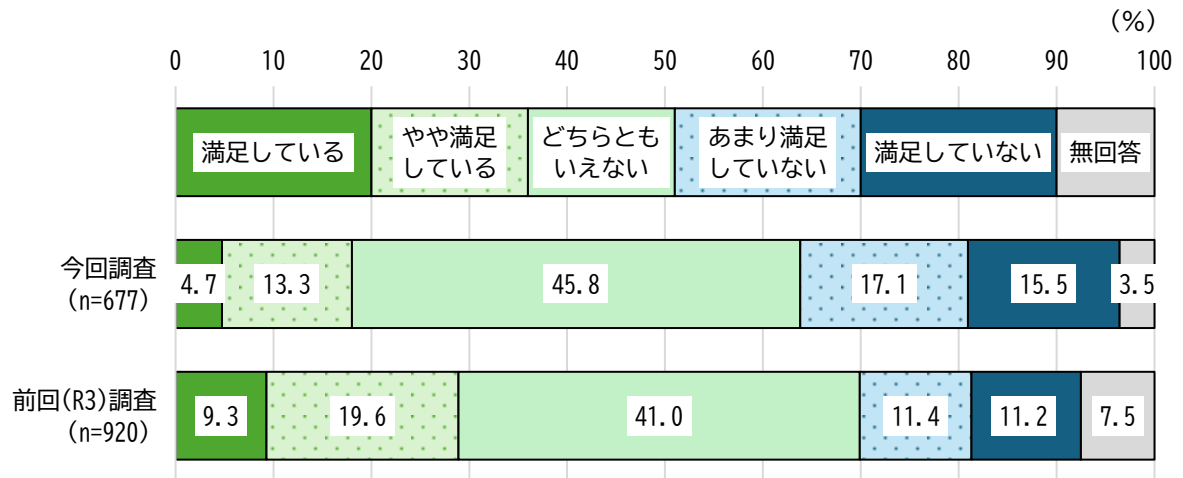
《年代別》



(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市のバスに満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代を除く全ての年代で1割未満となっている。年代が上がるにつれて、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）の割合が多くなる傾向がみられる。

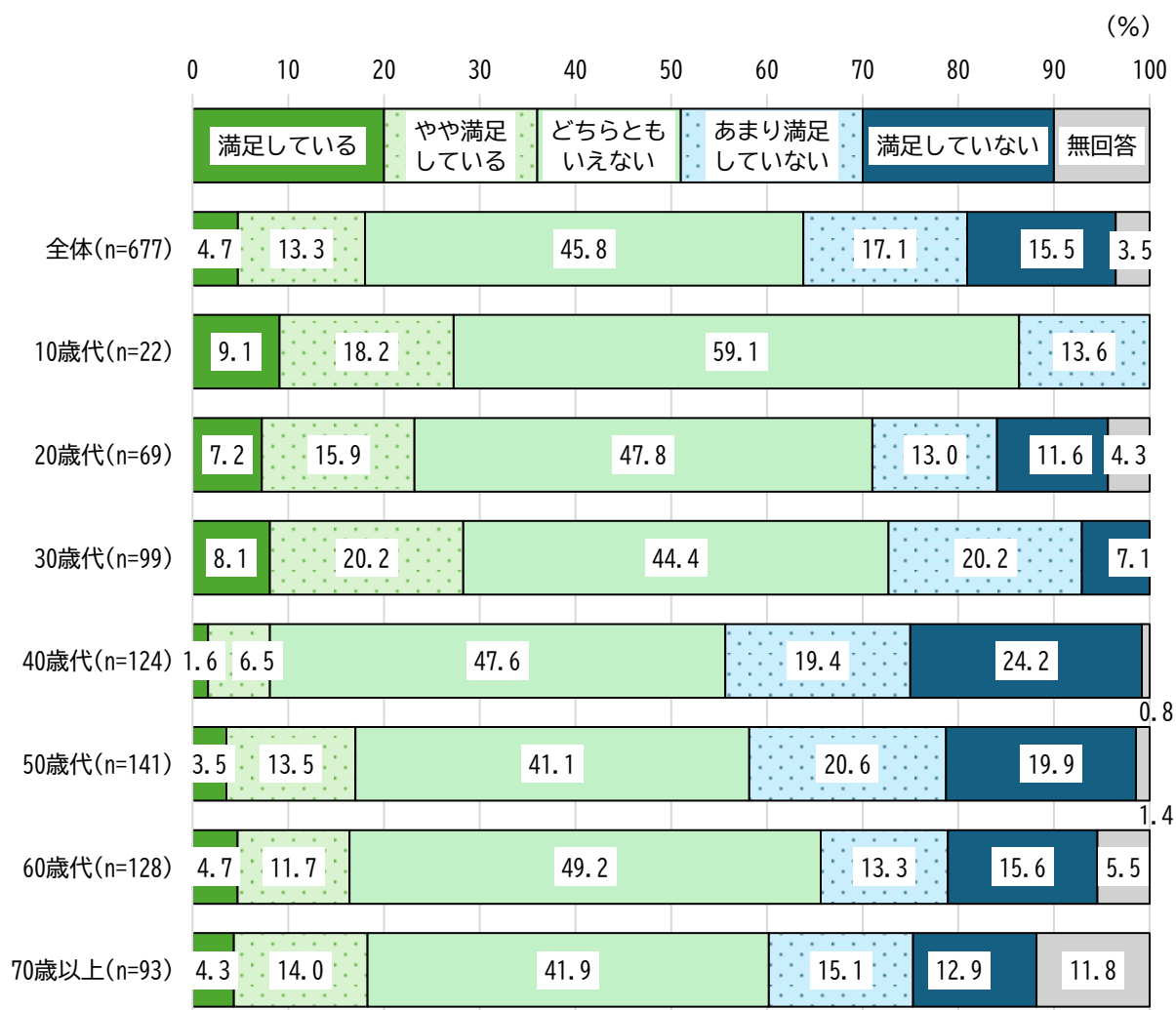
【タクシー】
《全体》



白岡市のタクシーの満足度について、「どちらともいえない」が45.8%で最も多くなっている。白岡市のタクシーに満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、18.0%となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は32.6%となっており、否定的な回答割合が多くなっている。

前回調査と比べ、白岡市のタクシーに満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）の割合は約20ポイント増加している。

《年代別》

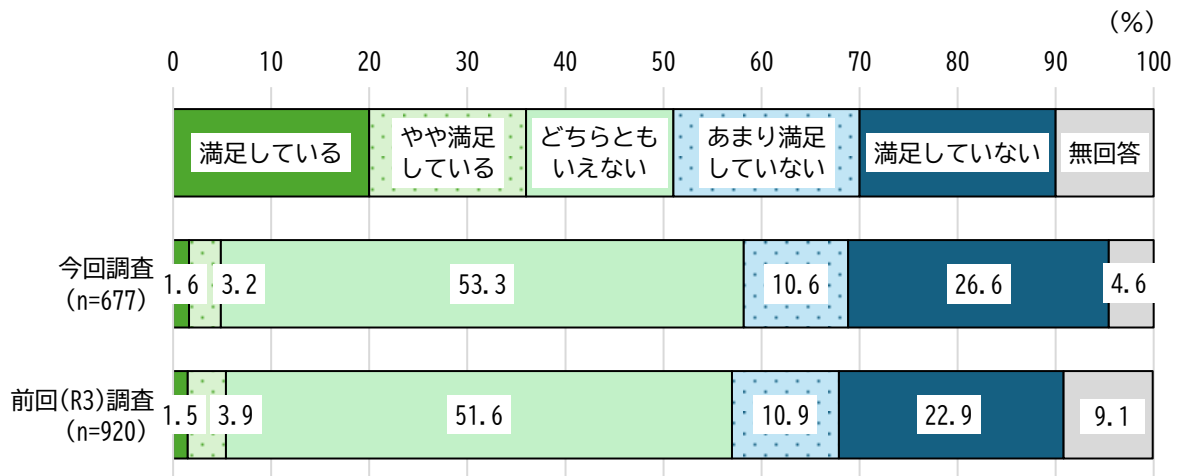


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市のタクシーの満足度について、全ての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。白岡市のタクシーに満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、30歳代（28.3%）が最も多く、一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、40歳代（43.6%）、50歳代（40.5%）の順に多い。

【のりあい交通】

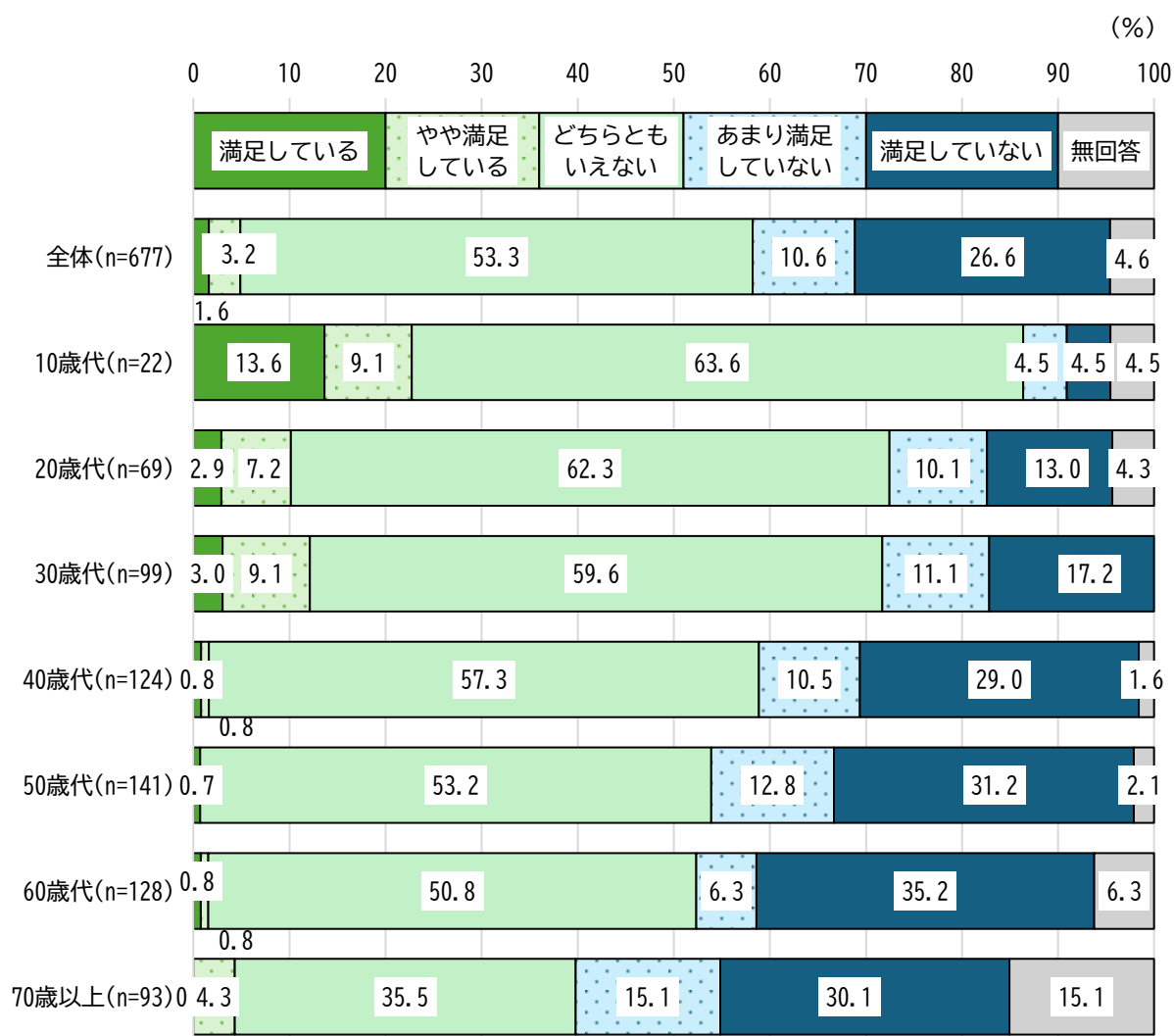
《全体》



白岡市ののりあい交通の満足度について、「どちらともいえない」が53.3%で最も多くなっている。白岡市ののりあい交通に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、4.8%となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は37.2%となっており、否定的な回答割合が多くなっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

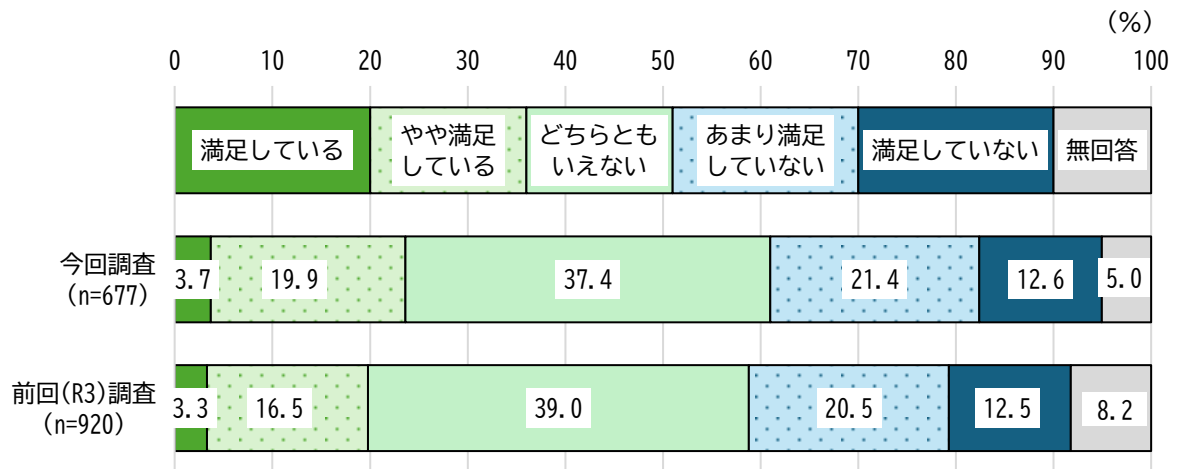


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市ののりあい交通の満足度について、全ての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。白岡市ののりあい交通に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（22.7%）が最も多くなっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、70歳以上（45.2%）、50歳代（44.0%）、60歳代（41.5%）の順に多い。

【公共交通全体】

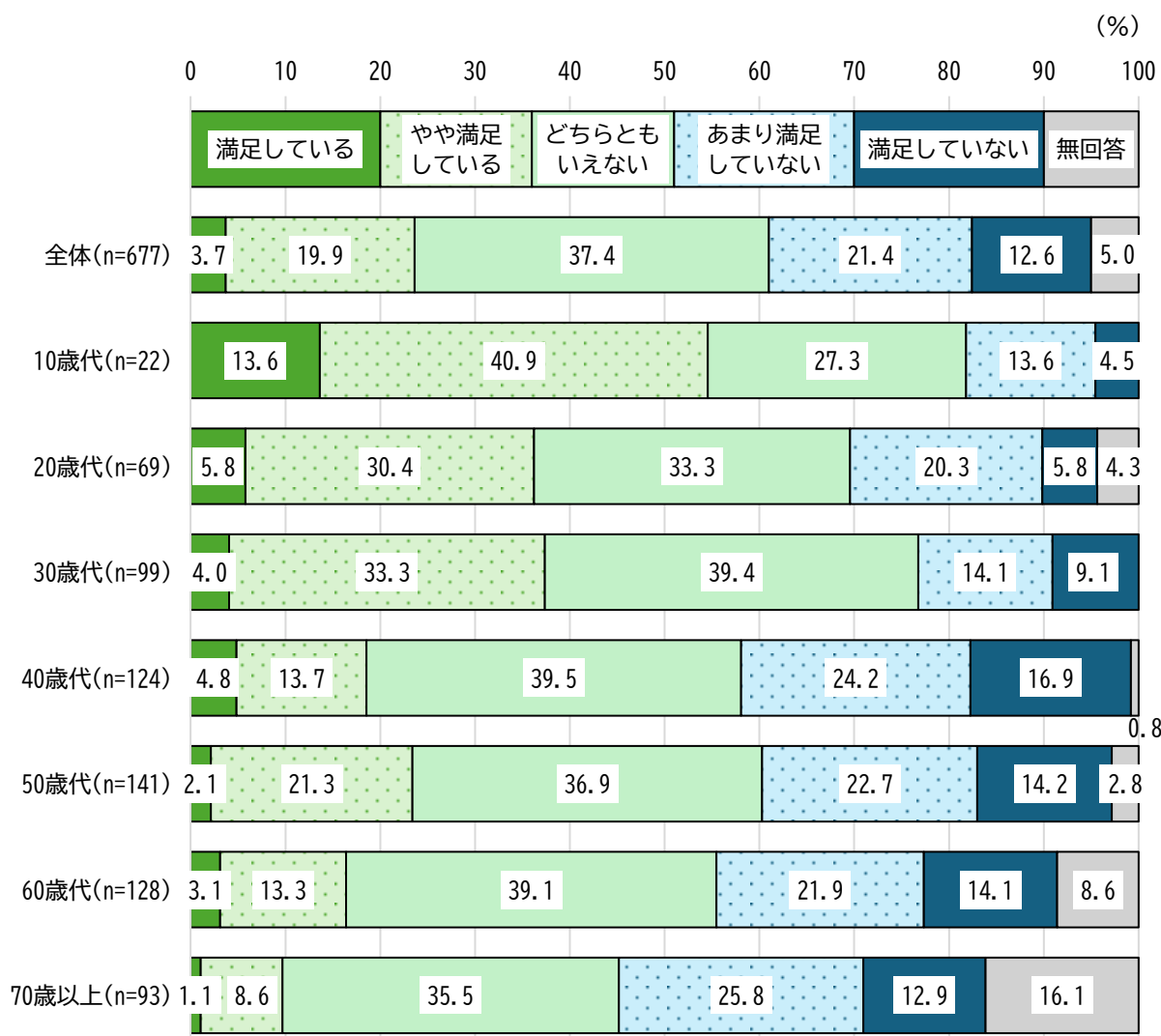
《全体》



白岡市の公共交通全体に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、23.6%となっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は34.0%となっており、否定的な回答割合が多くなっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》

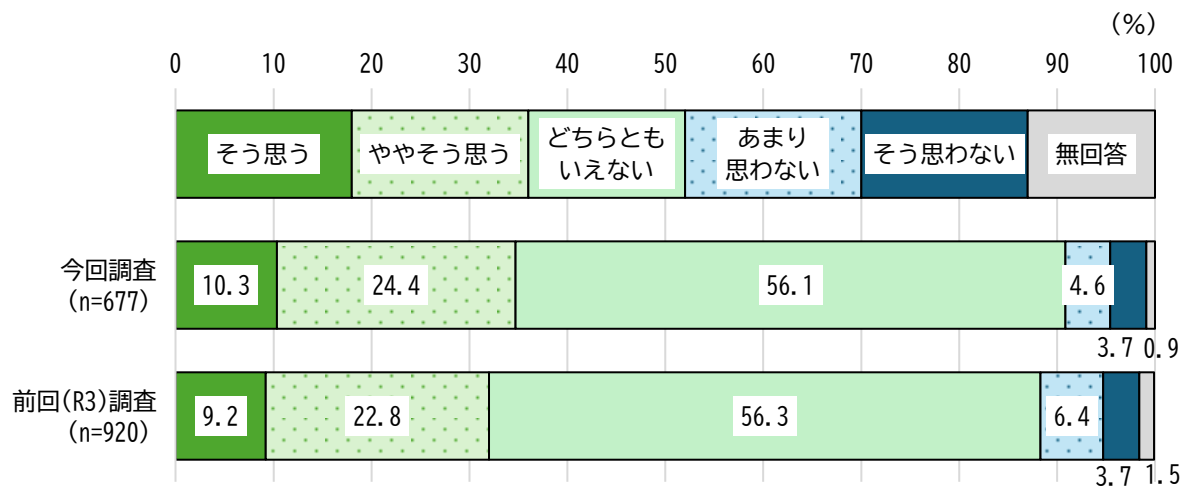


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市の公共交通全体に満足している（「満足している」と「やや満足している」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（54.5%）が最も多く、比較的若い年代で多くなっている。一方、満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）と回答した市民の割合は、40歳代（41.1%）が最も多く、比較的高い年代で多くなっている。

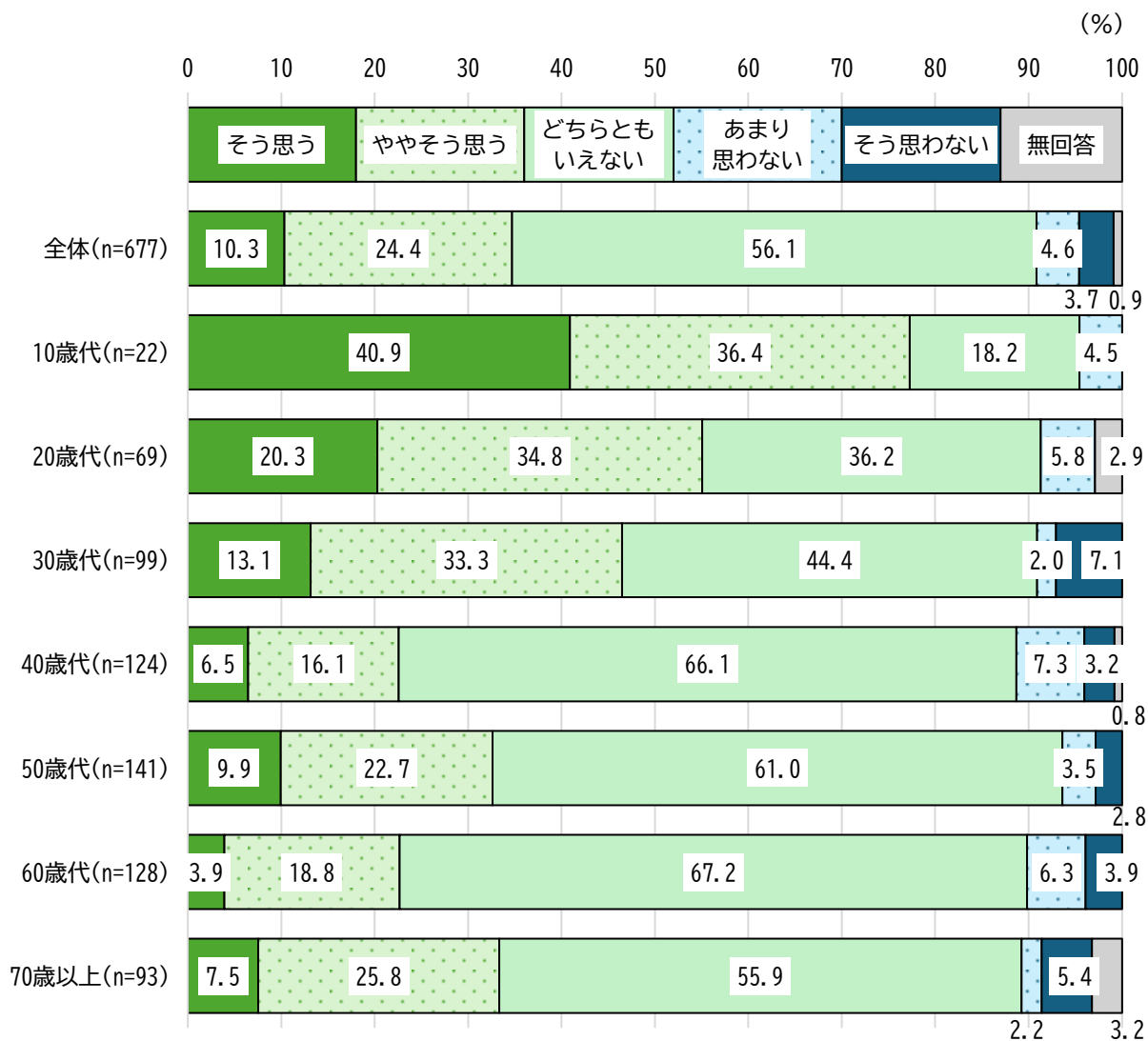
問 35 あなたは、白岡市は、人権が尊重されていると思いますか（1つに○）。

《全体》



白岡市における人権尊重について、「どちらともいえない」が56.1%で最も多くなっている。白岡市では人権が尊重されている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、34.7%であり、前回調査（32.0%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》

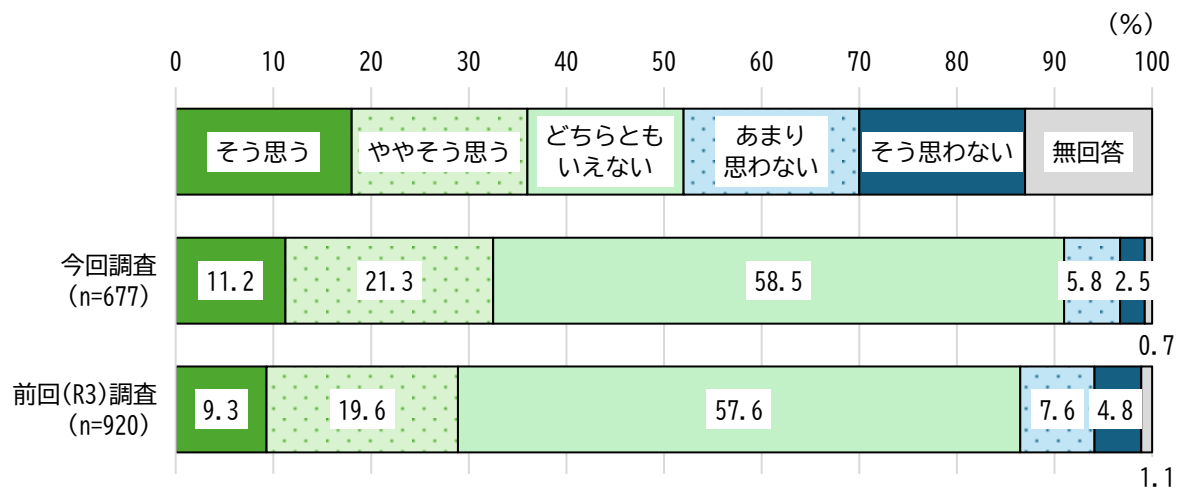


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市における人権尊重について、40歳代以上は「どちらともいえない」が6割を超えて最も多くなっている。白岡市では人権が尊重されている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（77.3%）が最も多く、比較的若い年代で多くなっている。

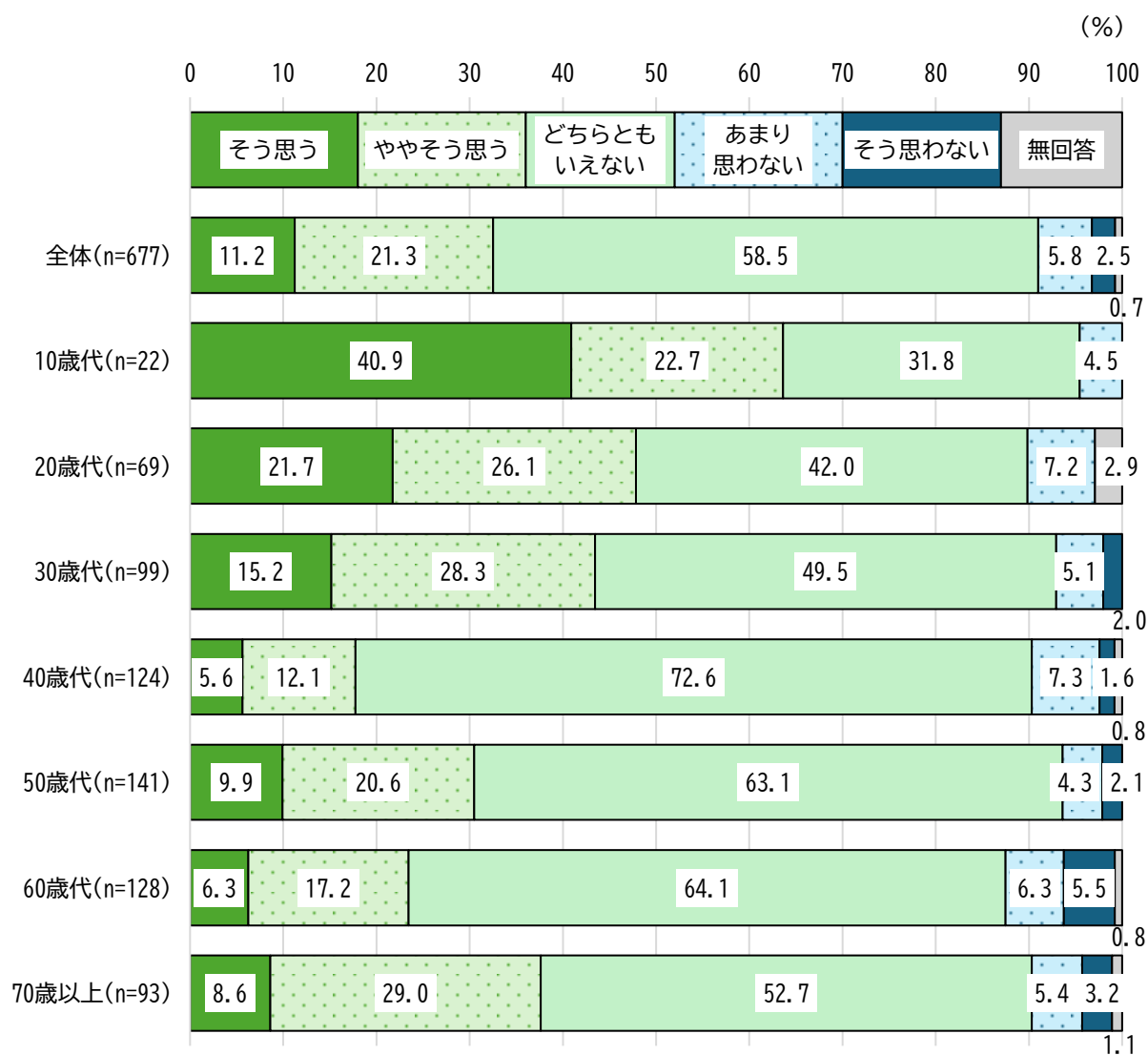
問 36 あなたは、白岡市は、男女が平等であると思いますか（1つに○）。

《全体》



白岡市の男女平等について、「どちらともいえない」が58.5%と最も多くなっている。白岡市は男女平等である（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、32.5%であり、前回調査（28.9%）と比べ、同程度となっている。

《年代別》

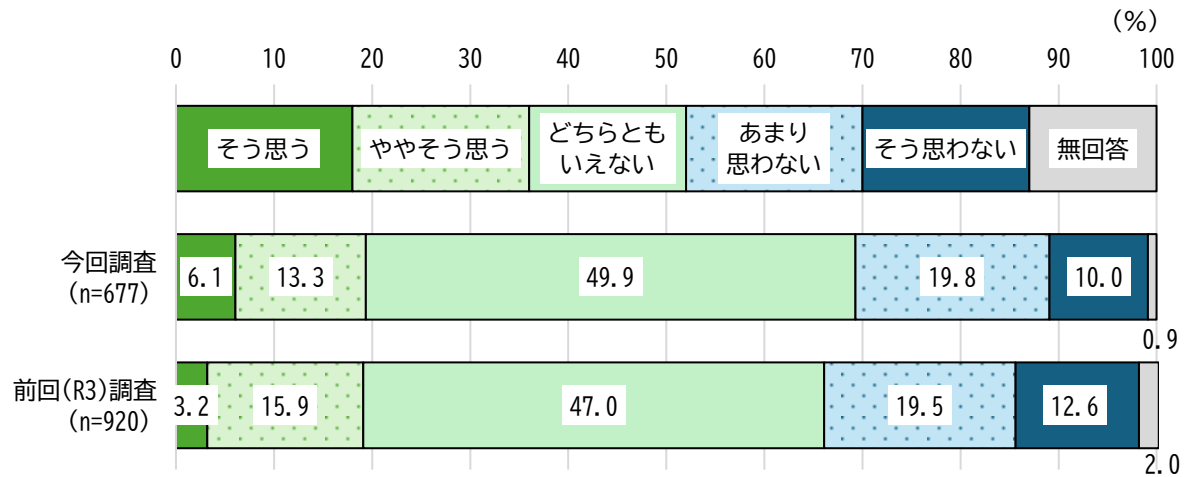


(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市の男女平等について、40歳代から60歳代では、「どちらともいえない」が6割を超えている。白岡市は男女平等である（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（63.6%）が最も多く、比較的若い年代で多い傾向がみられる。

問 37 あなたは、白岡市は、市政に対する意見を伝える手段や機会が確保されていると感じますか（1つに○）。

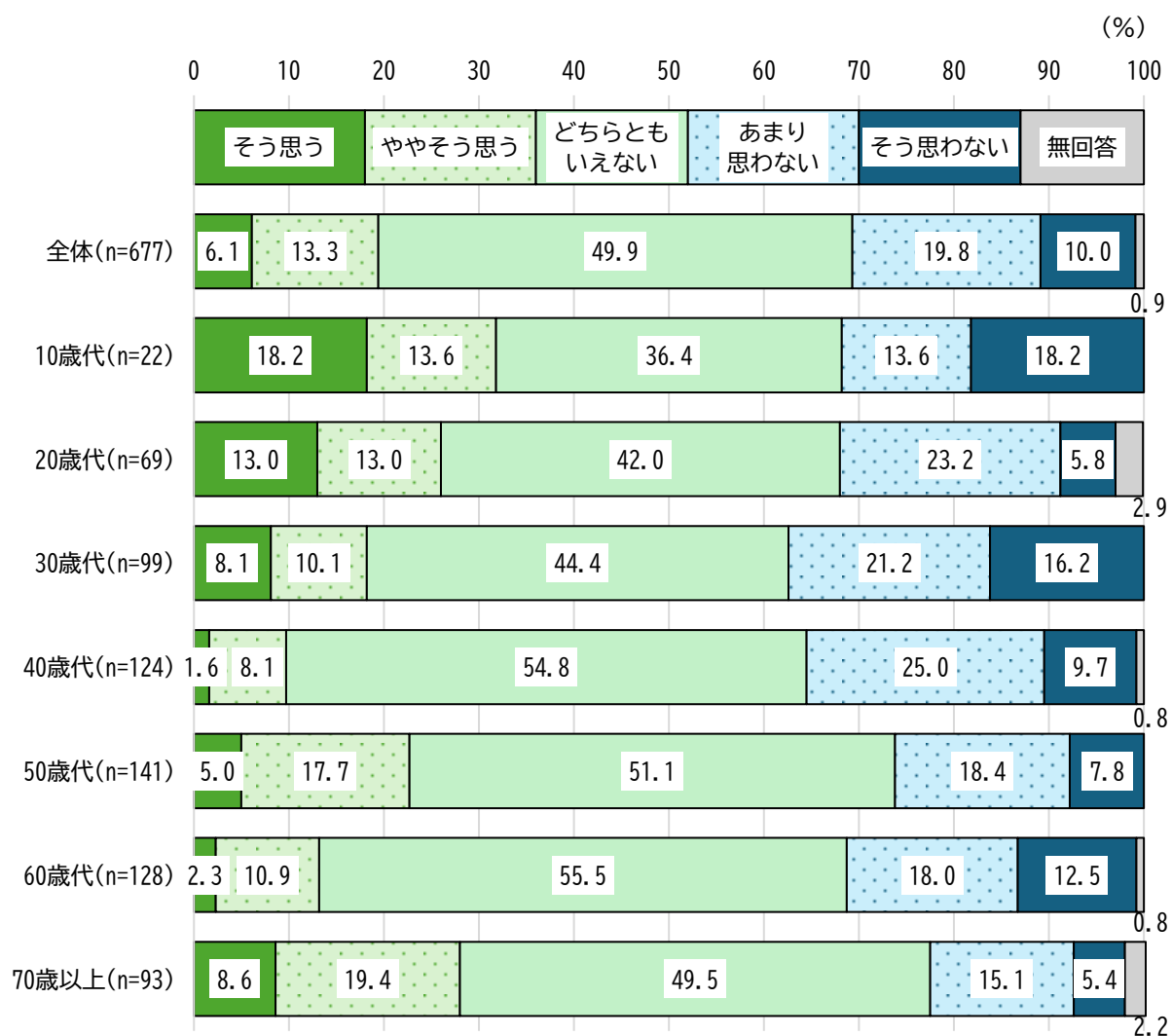
《全体》



白岡市政に対する意見機会の確保について、「どちらともいえない」が49.9%と最も多くなっている。市政に対する意見を伝える手段や機会が確保されている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、19.4%となっている。一方、手段や機会が確保されていない（「あまり思わない」と「そう思わない」の合計）の割合は29.8%となっており、否定的な回答の割合が多くなっている。

前回調査と比べ、大きな回答傾向の違いはみられない。

《年代別》



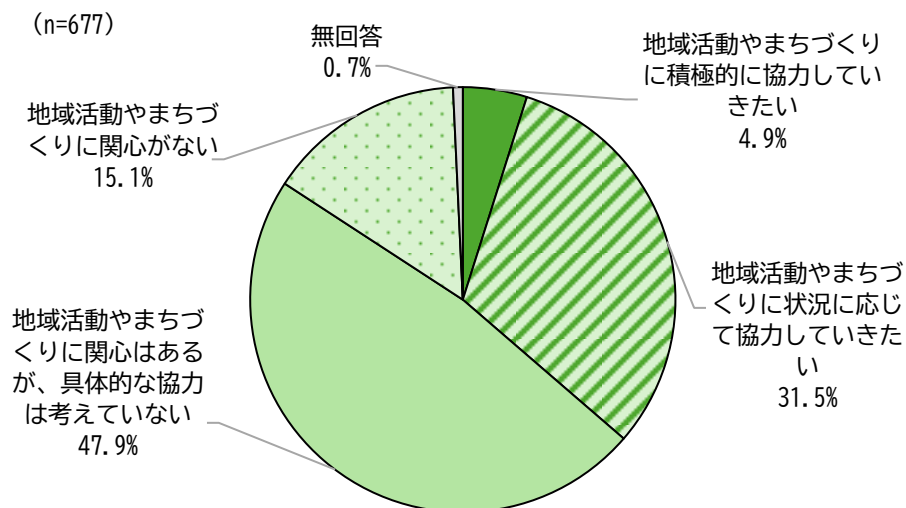
(注) 0.0%は非表示とする。

白岡市は、市政に対する意見を伝える手段や機会が確保されている（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（31.8%）、70歳以上（28.0%）の順に多くなっており、一方、40歳代（9.7%）、60歳代（13.2%）の順に少なくなっている。手段や機会が確保されていない（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）という割合は、全ての年代で2割を超えている。

8. 市民との協働のまちづくりについて

問 38 あなたは、地域活動やまちづくりに関わっていきたいと思いますか（1つに○）。

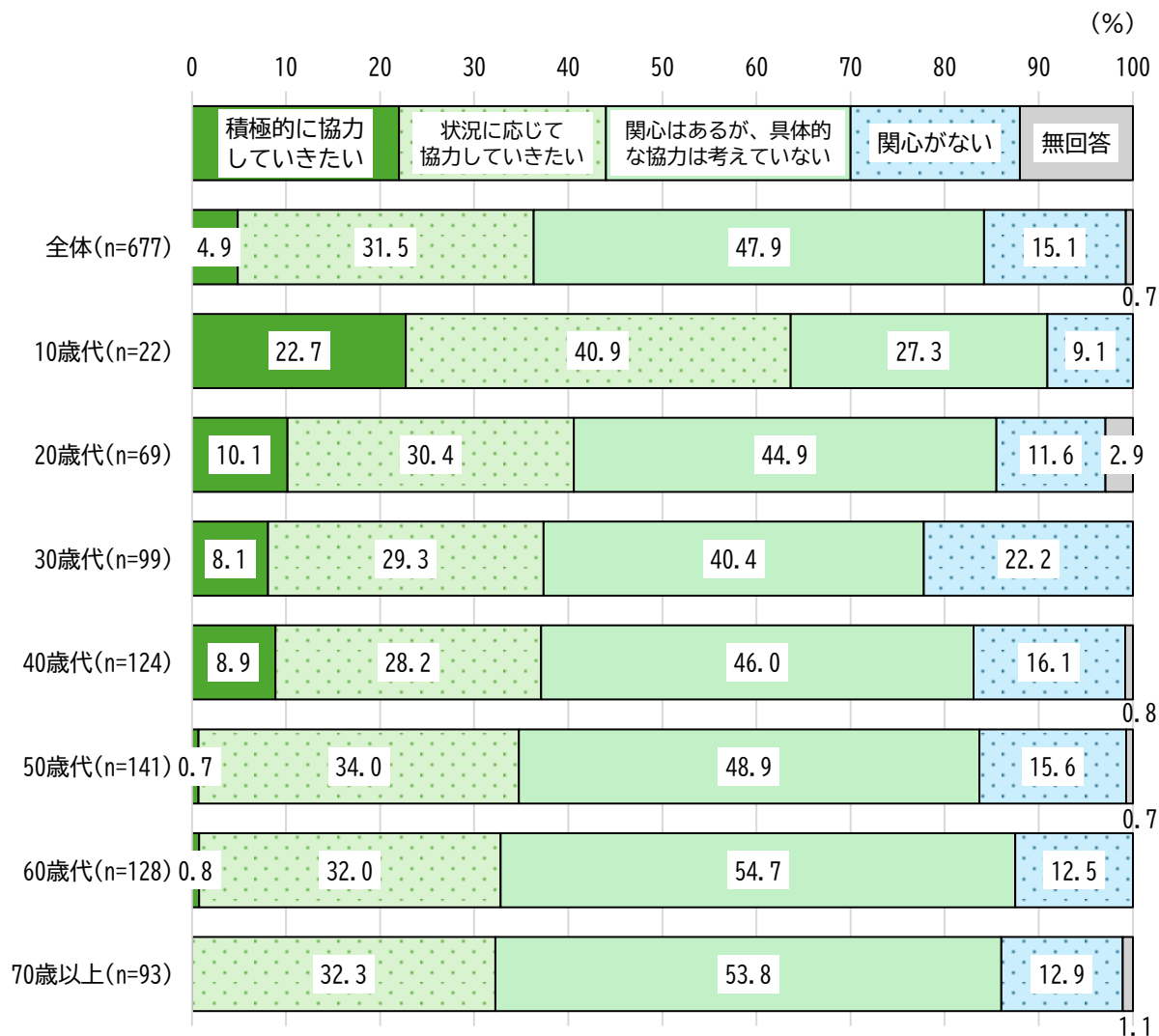
《全体》



地域活動やまちづくりへの関わりについて、「関心はあるが、具体的な協力は考えていない」（47.9%）が約半数で最も多くなっている。

一方、「積極的に協力していきたい」と回答した市民の割合は4.9%で、「状況に応じて協力していきたい」（31.5%）と合わせると、約4割が地域活動やまちづくりに関わりたいと回答している。

《年代別》



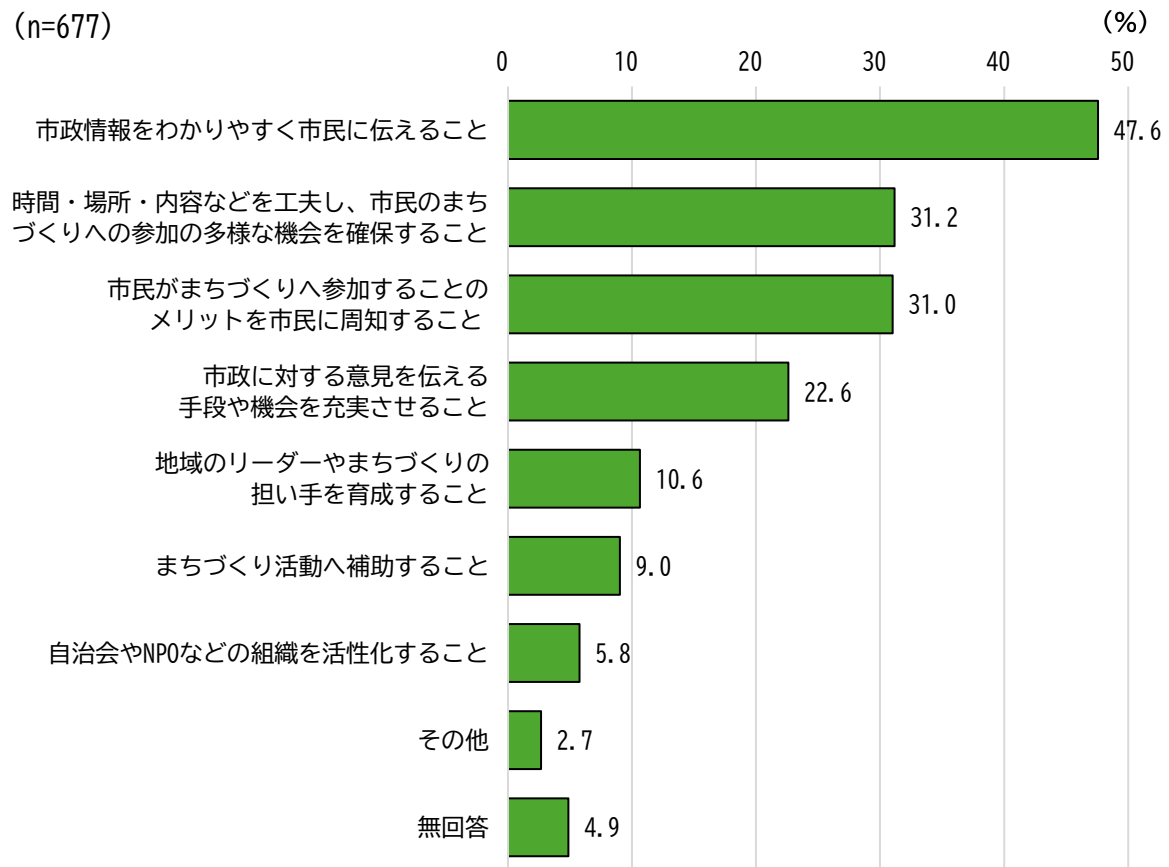
(注) 0.0%は非表示とする。

地域活動やまちづくりに関わりたい（「積極的に協力していきたい」と「状況に応じて協力していきたい」の合計）と回答した市民の割合は、10歳代（63.6%）が最も多く、年代が上がるにつれて減少する傾向がみられる。10歳代を除く全ての年代で、「関心はあるが、具体的な協力は考えていない」が最も多くなっている。

問 39 市民と行政による協働のまちづくりを進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか（2つまでに○）。

《全体》

(n=677)



市民と行政による協働のまちづくりを進めるために必要なことについて、「市政情報をわかりやすく市民に伝えること」が47.6%と最も多くなっている。次いで、「時間・場所・内容などを工夫し、市民のまちづくりへの参加の多様な機会を確保すること」（31.2%）、「市民がまちづくりへ参加することのメリットを市民に周知すること」（31.0%）となっている。

《年代別》

(%)

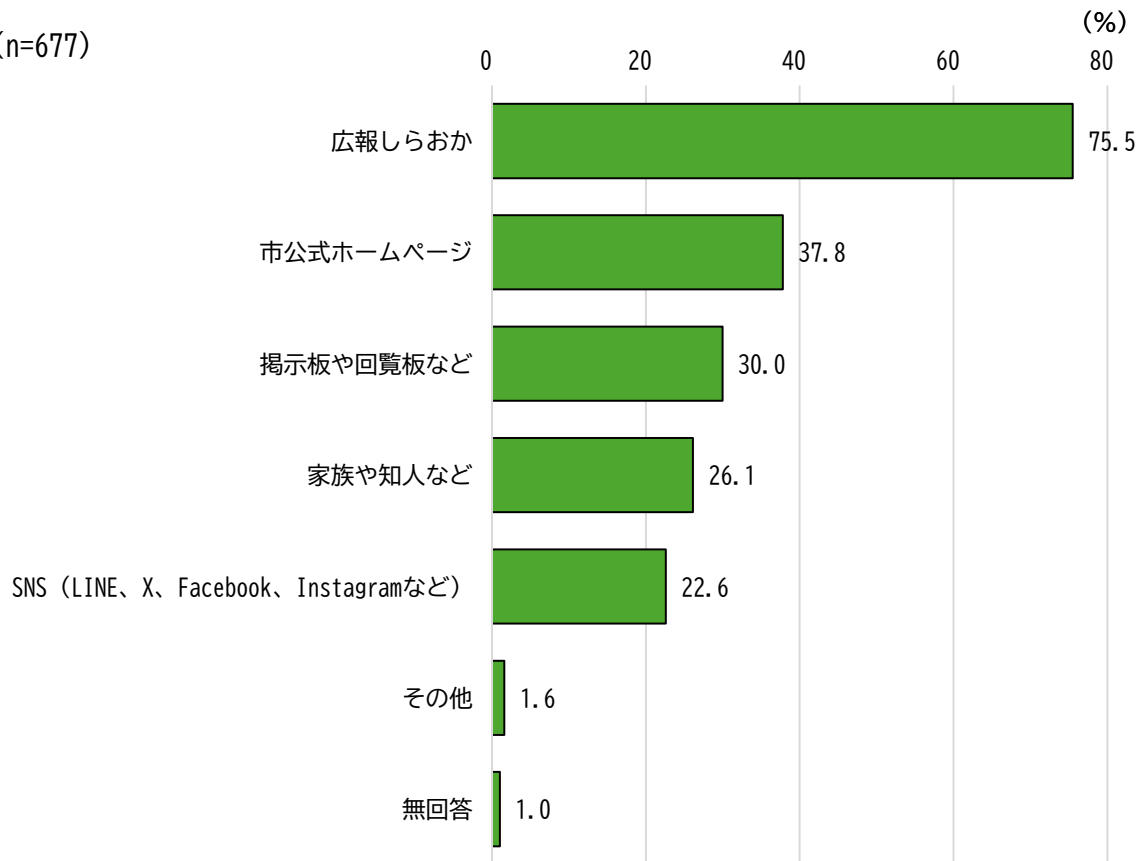
	市民に情報をわかりやすく伝えること	時間を確保し、参加の機会を多様な機会を	時間・場所・内容などを	市民がまちづくりへ参加することのメリットを市民に周知すること	市政に対する意見を伝える手段や機会を充実させること	地域のリーダーやまちづくりの担い手を育成すること	まちづくり活動へ補助すること	自治会やNPOなどの組織を活性化すること	その他	無回答
全体(n=677)	47.6	31.2	31.0	22.6	10.6	9.0	5.8	2.7	4.9	
10歳代(n=22)	59.1	36.4	18.2	31.8	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0	
20歳代(n=69)	47.8	24.6	53.6	23.2	4.3	7.2	2.9	0.0	5.8	
30歳代(n=99)	47.5	25.3	36.4	19.2	5.1	12.1	5.1	1.0	9.1	
40歳代(n=124)	41.1	39.5	32.3	26.6	8.1	6.5	5.6	4.8	4.0	
50歳代(n=141)	50.4	33.3	25.5	24.8	10.6	9.9	7.1	2.8	4.3	
60歳代(n=128)	44.5	33.6	27.3	21.1	18.0	8.6	5.5	3.1	3.1	
70歳以上(n=93)	53.8	22.6	23.7	17.2	16.1	10.8	7.5	2.2	5.4	

市民と行政による協働のまちづくりを進めるために必要なことについて、全ての年代で「市政情報をわかりやすく市民に伝えること」が4割を超えている。20歳代では、「市民がまちづくりへ参加することのメリットを市民に周知すること」(53.6%)が最も多くなっている。

問 40 あなたは、白岡市に関する情報をどのように入手していますか（当てはまるもの全てに○）。

《全体》

(n=677)



白岡市に関する情報の入手方法について、「広報しらおか」が 75.5%で最も多くなっている。次いで、「市公式ホームページ」(37.8%)、「掲示板や回覧板など」(30.0%)、「家族や知人など」(26.1%)となっている。

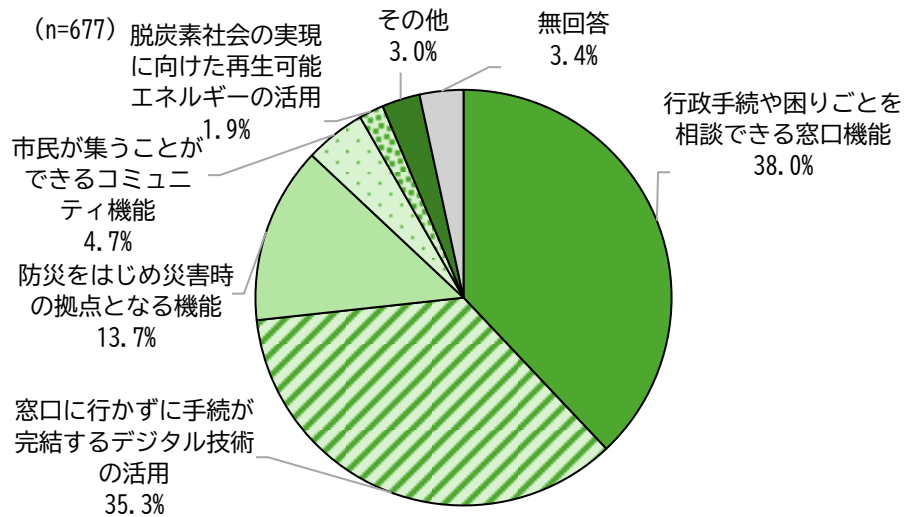
《年代別》

	(%)								
	広報しらか おか	市公式ホ ームペー ジ	掲 示 板 や 回 覧 板 な ど	家 族 や 知 人 な ど	ど I n s t a g r a m な	X、 F a c e b o o k、	S N S (L I N E、	そ の 他	無 回 答
全体(n=677)	75.5	37.8	30.0	26.1			22.6	1.6	1.0
10歳代(n=22)	45.5	4.5	31.8	68.2			13.6	0.0	0.0
20歳代(n=69)	53.6	29.0	27.5	30.4			31.9	1.4	2.9
30歳代(n=99)	65.7	38.4	29.3	25.3			29.3	2.0	0.0
40歳代(n=124)	71.0	50.0	25.0	29.8			30.6	3.2	1.6
50歳代(n=141)	80.9	47.5	29.1	25.5			20.6	0.7	1.4
60歳代(n=128)	86.7	35.9	29.7	18.0			20.3	0.8	0.0
70歳以上(n=93)	91.4	23.7	40.9	21.5			6.5	2.2	1.1

白岡市に関する情報の入手方法について、10歳代では「家族や知人など」(68.2%)が最も多いが、その他の年代では、「広報しらかおか」が半数以上を占め最も多くなっている。20歳代から40歳代では、「SNS」の割合が約3割で他の年代と比べ多い。

問 41 市では、今後、市役所庁舎の復旧・復興を進めていく予定ですが、あなたが最も市役所に求める機能は何ですか。(1つに○)。

《全体》



今後、市役所に求める機能については、「行政手続や困りごとを相談できる窓口機能」(38.0%)が最も多く、次いで、「窓口に行かずに手続きが完結するデジタル技術の活用」(35.3%)となっている。

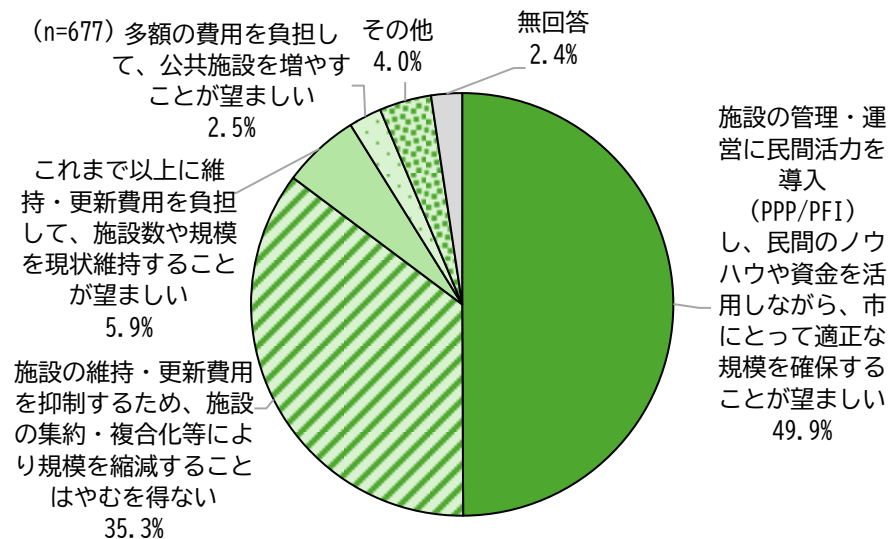
《年代別》

	能を行政相談できる窓口機能	技術が完結するデジタル技術の活用	防の拠災点をはじめ機能	能きる市民が集うことができるコミュニティ機能	ル向脱炭素社会の現に	その他	無回答
全体(n=677)	38.0	35.3	13.7	4.7	1.9	3.0	3.4
10歳代(n=22)	22.7	45.5	9.1	22.7	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=69)	20.3	58.0	8.7	2.9	1.4	2.9	5.8
30歳代(n=99)	25.3	49.5	12.1	5.1	1.0	5.1	2.0
40歳代(n=124)	33.9	40.3	12.9	3.2	1.6	4.0	4.0
50歳代(n=141)	44.0	35.5	9.9	3.5	2.1	2.1	2.8
60歳代(n=128)	48.4	20.3	19.5	1.6	2.3	3.9	3.9
70歳以上(n=93)	49.5	15.1	19.4	9.7	3.2	0.0	3.2

今後、市役所に求める機能について、10歳代から40歳代の若い年代を中心に「窓口に行かずに
 手続きが完結するデジタル技術の活用」が多くなっており、50歳代以上では「行政相談できる窓口機能」の割合が多くなっている。また、10歳代では、「市民が集うことができる
 コミュニティ機能」(22.7%)も他の年代と比べ多くなっている。

問 42 市の公共施設（公民館、コミュニティセンター、教育施設など）の多くは老朽化が進んでおり、今後は、多額の維持・更新費用が必要になることが見込まれています。このような中、今後の公共施設のあり方について、あなたの考えに最も近いのは次のうちどれですか（1つに○）。

《全体》



今後の公共施設のあり方について、「施設の管理・運営に民間活力を導入（PPP/PFI）し、民間のノウハウや資金を活用しながら、市にとって適正な規模を確保することが望ましい」（49.9%）が最も多く、次いで、「施設の維持・更新費用を抑制するため、施設の集約・複合化等により規模を縮減することはやむを得ない」（35.3%）となっている。

9. 市の取組に対する満足度・重要度について

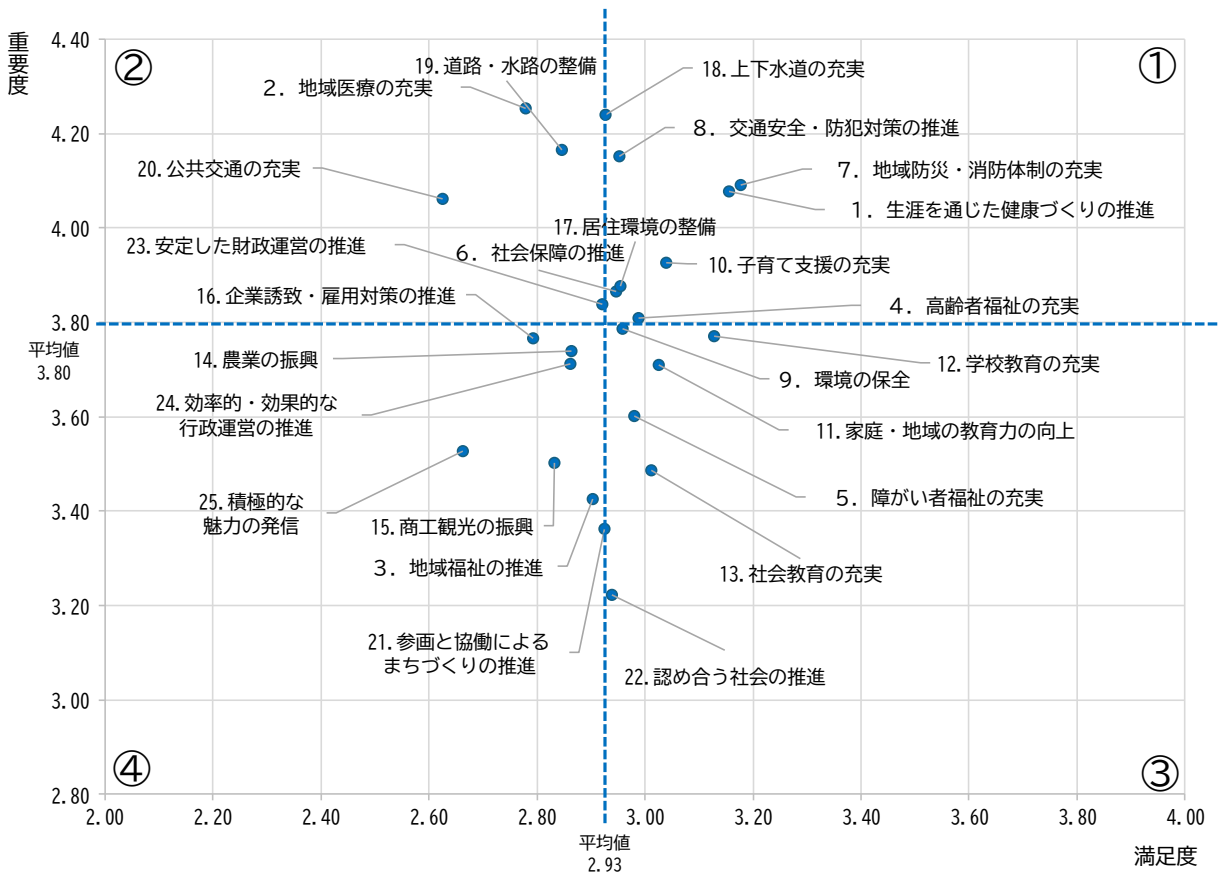
問 43 あなたの市の取組に対する現在の“満足度”及び今後の“重要度”についてお聞きします。次の項目の全てにお答えください（それぞれ1つに○）。

項目	満足度	重要度
1. 生涯を通じた健康づくりの推進	3.15	4.08
2. 地域医療の充実	2.78	4.25
3. 地域福祉の推進	2.90	3.43
4. 高齢者福祉の充実	2.99	3.81
5. 障がい者福祉の充実	2.98	3.60
6. 社会保障の推進	2.95	3.87
7. 地域防災・消防体制の充実	3.18	4.09
8. 交通安全・防犯対策の推進	2.95	4.15
9. 環境の保全	2.96	3.79
10. 子育て支援の充実	3.04	3.93
11. 家庭・地域の教育力の向上	3.03	3.71
12. 学校教育の充実	3.13	3.77
13. 社会教育の充実	3.01	3.49
14. 農業の振興	2.86	3.74
15. 商工観光の振興	2.83	3.50
16. 企業誘致・雇用対策の推進	2.79	3.77
17. 居住環境の整備	2.95	3.88
18. 上下水道の充実	2.93	4.24
19. 道路・水路の整備	2.85	4.16
20. 公共交通の充実	2.63	4.06
21. 参画と協働によるまちづくりの推進	2.92	3.36
22. 認め合う社会の推進	2.94	3.22
23. 安定した財政運営の推進	2.92	3.84
24. 効率的・効果的な行政運営の推進	2.86	3.71
25. 積極的な魅力の発信	2.66	3.53
平均値	2.93	3.80

市の取組に対する「満足度」は、「7. 地域防災・消防体制の充実」(3.18)が最も高く、次いで、「1. 生涯を通じた健康づくりの推進」(3.15)、「12. 学校教育の充実」(3.13)となっている。

市の取組に対する「重要度」は、「2. 地域医療の充実」(4.25)が最も高く、次いで「18. 上下水道の充実」(4.24)、「19. 道路・水路の整備」(4.16)、「8. 交通安全・防犯対策の推進」(4.15)となっている。

【満足度・重要度の相関関係】



市の取組に対する満足度・重要度は、「満足度平均」が2.93であり、「重要度平均」が3.80となっている。

【①重要度高・満足度高の領域】

重要度が高く、満足度が高い施策は、「1. 生涯を通じた健康づくりの推進」、「7. 地域防災・消防体制の充実」などが挙げられる。

【②重要度高・満足度低の領域】

重要度が高く、満足度が低い施策は、「20. 公共交通の充実」、「2. 地域医療の充実」などが挙げられる。

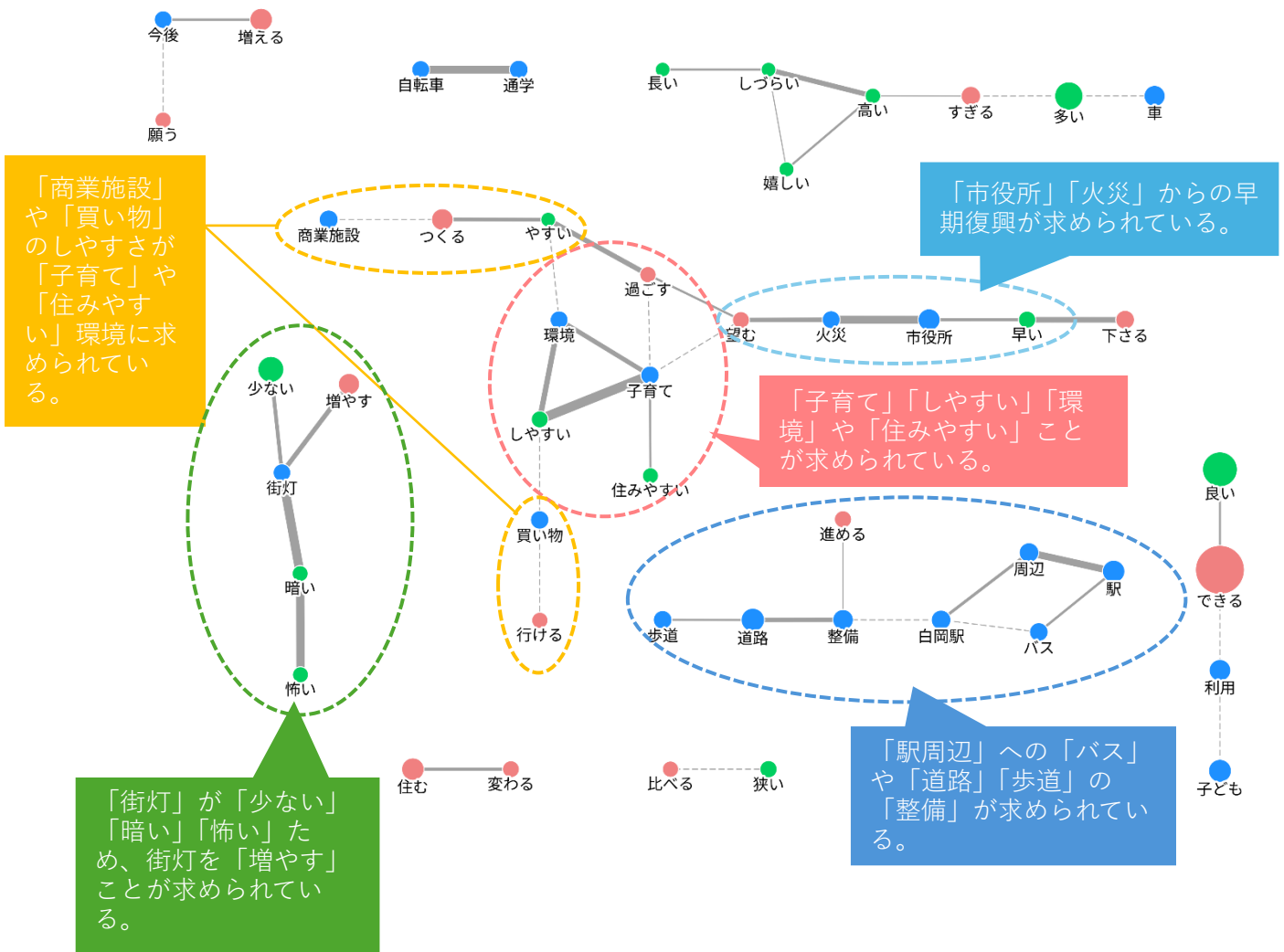
【③重要度低・満足度高の領域】

重要度が低く、満足度が高い施策は、「12. 学校教育の充実」、「11. 家庭・地域の教育力の向上」、「5. 障がい者福祉の充実」などが挙げられる。

【④重要度低・満足度低の領域】

重要度が低く、満足度が低い施策は、「25. 積極的な魅力の発信」、「15. 商工観光の振興」などが挙げられる。

【共起キーワード】



【主な意見】第6次総合振興計画の政策分野ごと、概ね原文のとおり。

〈健康・医療・福祉〉24件

- ・白岡市として、周りにアピールできるもの、大きな公園、スポーツ施設を、体育館、道場、芸術や趣味活動ができる施設を作り、スポーツを通じて、健康と豊かな環境がつけられることで、白岡市の発展があると思われます。
- ・1歳児がいますが、かかれる病院がなく困っています。現在ある病院は常に予約でいっぱい、発熱など急な受診ができる状態ではなく、かかりつけ医を作りたくても作れない状況です。
- ・白岡市に住み始めてから白岡中央病院にかかることがありましたが、建物の古さにビックリしました。地域医療の要である総合病院なので、新しくしてほしいと思いました。
- ・もう少し、夜間や休日の医療に力を入れて欲しい。子供や年寄りを抱えていると、本当に一番大事な点だろうと思う。
- ・自然が豊かで、静かで良い町ですが、自分達がもう少し年をとった時に、介護や働けなくなった時の生活にとっても不安です。

- ・高齢者が1人で暮らしている家が多いので、色々参加できる対策がほしい。
- ・白岡市の老人福祉センターの活用、活動も文化面、健康面でも幅を広げて充実させてほしい。
- ・高齢者の終活対応して欲しい。一人暮らしの老人が、今後の身の始末を行政が費用をもらって管理できないか？そうすれば、高齢者は安心して白岡に住める。
- ・障害者に対するこころみが、なきすぎます。障害者にも色々あるのですから、別々にまたさまざまな事を考えていって下さい。

〈自然環境・生活安全〉 62 件

- ・防災無線放送がほとんど聞こえない。
- ・災害を想定して市全体で避難訓練を年に1度でも行って欲しい。集会所や市役所を避難場所として実際に歩いて向かえるか？必要な持参品を考えられる。
- ・街灯が暗くて、夜歩くのが怖い。防犯カメラを何ヶ所か設置してほしい。
- ・街中の街灯を増やして欲しいです。私の家は、比較的駅から近いですが、それでも灯りが少なく、高校からの帰り道等、不安を感じる時も多かったです。同様に、小・中学校の周りも灯りが少なく（全くなく？）、小学校の時からずっと怖い思いをしています。なので、街灯が増えて、安心して夜も歩ける（帰れる）白岡市になったら良いなと感じます。
- ・これからも治安が良いまちであることを願っています。
- ・子ども達のために歩道をもっと増やして下さい。
- ・歩道の確保、整備をお願いします。また常にどこかで何かを燃やしている。洗濯物が煙臭い。風が強いときは灰が飛んでくる。
- ・カラスや野生動物によるゴミ被害が度々ある。荒らされないようにちゃんとしたゴミ置き場にするべき。
- ・ゴミの回収が他の市と比べて少ないのが不便です。プラの概念がなく、ほとんどが燃えるゴミで出せるのも驚きです。
- ・田園風景が広がり、自然豊かなところが白岡市の魅力だと思うので、今後も残して欲しいです。自然豊かな道をサイクリングすることが気分転換になっています。今後、白岡市ならではの地域イベントの開催が増え、地域がより活性化することを願っています。

〈子育て・教育・文化〉 33 件

- ・少子化が進む中、子育て世代が住みやすい環境を整える事で、東京で働く人の住居となると思う。今やらないと、20年後、30年後に厳しい状況となると考えます。子供の教育に、予算を振り切って持ってくる事で、現役世代に魅力のある街と感じてもらえると思いますので、行政の皆様には、全てに満足を取れる政策ではなく、注力すべき部分に絞った活動をお願い致します。市民としても、お力になりたいと思っております。

- ・子育て世代が増えているのに、一向に保育関係・子育て世代の負担を軽減してくれない。待機児童は埼玉でワースト1。物価高騰で働きに行きたくても行けず生活は苦しいです。早く、保育環境を整えてほしい、切実に。
- ・とにかく保育所、預け先がない。保育園に入れなかったため仕事を辞めざるを得ない。白岡市を存続させるためにはとにかく子育て世代への支援は必須だと考える。参考にできる自治体は多いはず。
- ・保育園と学童を充実させてほしい。保育園の空きがなく、仕事復帰できない。小学生が放課後に過ごせる場所も増やしてほしい。
- ・市内中学校の自転車通学について進めて欲しいです。近年の猛暑酷暑で通学が大変そうです。タブレット学習を取り入れているのに、鞆の重さは変わらずとても重く、あの暑さの中歩いていて熱中症にならないか心配です。
- ・中学校の制服を所得制限なしで無償化して欲しいです。
- ・図書館は、とても開放的で落ち着いていて、行きたくなる場所です。近くの県に引っ越しますが、居心地が良くて大きくて綺麗な図書館は白岡以外周辺には無いかなと思うので、これからも利用させてもらいます。
- ・もう少し老年期の大学等、学びが多数あればいいと考えます。
- ・大山小学校の跡地、校舎を有効に活用してほしい。例えば、カルチャー教室、体操教室など。

〈産業・雇用〉67件

- ・残った田んぼ、現在使用していない場所を何とかしたい。
- ・自然豊かであるが、梨畑もどんどんなくなって行ってさみしい。住み始めた頃は、おいしい梨があることが嬉しかったけれど、今では値段も高く入手しづらい。白岡市は、もう梨の町ではなくなってきているのでは？復活してほしい。
- ・大山地区での農業拡大を成功させるために農家さんの公務員化や農業高校からの就職が出来るような改革をして頂きたい。
- ・花火や地元のお祭りなど色々な事業を開催していただき、ありがとうございます。駅前周りの都市開発、飲食店の充実がありますと嬉しいです。
- ・駅前に魅力がない。駅前に商業施設・飲食店があれば、もっと魅力ある町になると考えます。
- ・広い土地を倉庫や工場の誘致に使うのではなく、道の駅や飲食店（カフェなど）など、近隣や県外等からも人が訪れてくれる施設に充てるなども検討して欲しい。駅前のさびれた感の改善。
- ・商業施設等について、スーパーマーケットなどは充実しているが、それ以外の施設がほとんどないのが不満です。近隣の自治体で複合商業施設がないのは白岡市だけです。食料品以外の買い物は車で時間をかけて行かなくてはならないです。複合商業施設の誘致を積極的に行うことを強く希望します。あわせて、コストコやイケア等、近隣自治体にはない商業施設の誘致ができれば、周辺からも来訪が増え、にぎわいのあるまちになると思います。
- ・駅前商店街の活性化を望みます。

- ・駅前開発や商業施設の誘致にも力を入れて頂きたいです！
- ・もっと買い物ができる場所（ショッピングモールなど）が増えれば、住みやすくなり、人口も増えていくと思う。
- ・白岡の長所である「適度に田舎&高速道の利便性」を活用して、従来型企業の誘致プラス「IT系等開発企業」の誘致に注力されたい。
- ・白岡市内でサービス系職業除き倉庫系の職業がなく、市外に出るしかない。もっと市内での雇用を確保して欲しい。

〈都市基盤・住環境・公共交通〉 68 件

- ・ずっと住んでいたい気持ちはありますが、土地が値上がりし、建売だとしても買える人を選ぶと思います。市で住んでいない家を管理し、安く売り出したりしてくれれば、今後若い人やシングルの方も続けて住めるのではないのでしょうか。
- ・大規模な開発を行うのではなく、地域の人たちに寄り添うようなかたちで小規模な開発を進めていけば、少しずつ住みやすい良い市になっていくのではないかと思います。（ここで言う小規模な開発とは、空き家の活用を進めたり、公園の緑地の整備をしたり、公園のベンチの数を増やしたりするなどの少しの時間や資金でできる開発のことです。）様々な人が過ごしやすい白岡市であってほしいと願っています。
- ・道路が狭いところが多いため、少し道幅を広げてもらえると助かります。
- ・道路整備を着実に進めて頂けるとありがたいです。
- ・道路の停止線・中央線・横断歩道など、見えにくいくらい消えているので、整備をお願いしたい。道路標識、古い物は新しく、見やすいものにして欲しい。
- ・白岡には整備された歩道が少ないため、歩道を確保した道路の整備をお願いしたいです。
- ・けんちゃんバスが無くなり路線バスを走らせてほしい。
- ・高齢者のドライバーや自転車の方が多いので、免許返納できるよう、公共交通の充実が必要。

〈協働・人権〉 14 件

- ・市民が団結して参加、行動できる目標とかイベントがあってもよいのではと思われる。例えば、「ギネス」に挑戦するとかどうだろう。少しぐらい不便があっても笑顔があふれる地域になってもらいたい。
- ・市民の意見をもっと言える場所を教えて欲しい。
- ・大学の英文科の子どもが地域の外国人と交流を持てたらと広報を読みましたが、見つかりませんでした。そんな機会があったら良いなと思いました。

〈運営方針〉 43 件

- ・他の市町村が無償化しているからといって白岡市も安易にそれに倣うのではなく、どこから財源をえて、どこに使うかをしっかりと考えてほしいと思います（保険料、給食費など）。

- ・ 市政情報の充実した発信とデジタル化の促進(分かりやすい) で窓口機能の充実があればいい。
- ・ 高齢者のための行政手続き等の支所的なものを置いてほしい。
- ・ 手続き(住民票など)をネットから全て出来る様にして下さい。
- ・ 行政サービスにおける効率性・透明性の向上を目的として、ブロックチェーン技術の活用を推進すべき。
- ・ 公平・透明なまちづくりをお願いします。他の街にない、白岡独自のサービスの作成をお願いします。
- ・ 白岡市の魅力をネットを使うなどして発信し、人口流入を増やす。近隣の市にはないような建物を駅の近くに建てて白岡を訪れる人を増やし、経済を回す。
- ・ 決して不便ではないが、何か特徴があるというわけでもないというのが現状かと思います。都心部の真似はしなくていいと思いますが、白岡市の強みを何か出していけると良いと思います。

〈その他〉 15 件

- ・ 市庁舎火災の後の復興を早く望みます。
- ・ 静か、自然が多い、交通の便が良い、外国人が少ない等埼玉県内では安心して子育てができる事がブランドになっているのが白岡の魅力だと思います。